フリーソフトウェア大賞選考委員会が厳選した定番103本を付属ディスクに一挙収録

秀作 フリーソフトウェア 100選

●ネットワーカーマガジン編集部責任編集●

定番ツールから傑作ゲームまで
第一回フリーソフトウェア大賞で選ばれた秀作フリーソフトウェアの全貌
（諸般の事情により一部収録されていないものもあります）

推薦の言葉――石田　晴久　フリーソフトウェアはパソコン通信システム上で配布されている。そこで、パソコン通信に入っていない人にとっては、本書のようにフロッピーディスク付きの本が出版されることもありがたいことであろう。この書籍がきっかけとなって、他の人々が質のよいフリーソフトウェアを競って開発してくれるようになり、ユーザーがそれを尊重して、常に感謝しながら使ってくれるようになることを願っている。

5インチ ユーザー版

5インチディスク7枚
3.5インチディスク2枚付き

本書に付属のフロッピーディスクは5インチ7枚、3.5インチ2枚の構成になっています。このうち、5インチ4枚はPC-9801用、3枚はPC-9801、IBM PC（DOS/V）用、3.5インチ2枚はMacintosh用のフォーマットになっています。自分のパソコンでどれだけのソフトウェアが利用できるかを、書籍の本文にある対応機種欄をご覧になって確認した上でご購入ください。

アスキー出版局

9784756105356

1913055058003

ISBN4-7561-0535-1

C3055 P5800E

付属ディスクへの収録フリーソフトウェア一覧

★この表での対応機種は、大雑把な分類になっています。細かい対応機種や動作条件（OSのバージョンなど）については、各フリーソフトウェアのアーカイブに収録されているドキュメント（または、本文の「動作条件」の項目）をご覧ください。

【対応機種】
98＝PC-9801シリーズ、98N＝98ノート、J31＝J-3100シリーズ、DOS＝MS-DOS汎用、IBM＝IBM PC、PS/55＝IBM PS/55シリーズ、DOS/V＝DOS/Vマシン、AX＝AXマシン、Mac＝Macintosh、Win＝Windows対応、FMR＝FMRシリーズ
※付属ディスクには、MS-DOSのシステムおよびMacintoshのシステムは含まれていませんので、別途必要になります。

フリーソフトウェア名	対応機種	フリーソフトウェア名	対応機種
5TAKU	98	MOREENV	DOS
ADDDEV/DELDEV	DOS	MS	DOS
ANGELCOM	98, J31, AX, PS/55他	NinjaTerm	Mac
ASLEdit+	Mac	NOTEDISK	98N
ASLTalk	Mac	NSCTRL	98N
B-Plus	98	NSweep	98
BASE	98	OSAKA	DOS
BATCP	DOS	PACKBACK	DOS
BATUTY	DOS	PC98JAN	98
BDIFF/BUPDATE	DOS	PCM	98
BPL	98, J31, IBM	PRT	98
CHKCOM	DOS（一部98）	QKI	DOS
CNVPACK2	98	QKN	98
DIET	DOS	Quick-VAN	98, J31, IBM
Disinfectant	Mac	RayII	98
Disk Reboot	98	SE3	98, 98N, J31, DOS/V
DM	98	Space Destroyer	98
DOSHIGH	98	SPEAK	98, IBM, PS/55
EasyTERM	98	SSe	98
exexe	DOS	suna	98
Expanded fin	DOS	System Switcher	Mac
Fback	DOS	TADL	98, Mac
FD	98, IBM, PS/55	tEDIT	DOS
FILMTN	98, J31, IBM, DOS/V	Tf	98
fo&sy	98	The GOLF倶楽部	98
FP-CHESS	98	Transit	98, IBM
FRENV	DOS	TRTEXT	98
GETSAIL	98	TURBO FreeWay	98
Gomtalk7	Mac	TWINS	98
HGLOG	DOS	uuex/uudx	DOS
history	DOS	VMAP	DOS
HSB	98	WTERM	98, J31, DOS/V
ish	DOS	XLD4HS	98
jgawk	DOS	xscript	98
J-Mac98	98	XTR	DOS
JSHOT	J31	YooEdit	Mac
JukeBox	98	ZMA	98, J31, IBM
KI-Shell	98, J31, AX	いけいけ！ 武装少女	98
KV	98, J31, IBM	柿木将棋	98, FMR
led	DOS	蟹味噌	98
LHA	DOS	株価管理	98
LHMTN	98, J31, IBM, DOS/V	「株価管理」用ポイントアンドフィギュア	98
LHQ	DOS	クアトロ	98
LV	98, J31	競馬中継	98
LZEXE	IBM（LZJPACによる改修版：DOS）	サニー・ワン	98
MAG	98	タッチ・タイピング練習ソフト	98
maj	DOS	富国強兵	98
MARU98	98	ぽろりす☆	98, J31, FMR
Max Files	Mac	美砂	Win
MenuOne	DOS	未沙ちゃんローダー／未沙ちゃんびゅーあー	98
MIEL	98	理想の女性	98
MIMPI	98		

定価5,800円（本体5,631円）

●5インチユーザー版

フリーソフトウェア大賞選考委員会が厳選した定番103本を付属ディスクに一挙収録

秀作フリーソフトウェア100選

5インチ ユーザー版

ASCII

フリーソフトウェア大賞選考委員会が厳選した定番103本を付属ディスクに一挙収録

秀作

●ネットワーカーマガジン編集部責任編集●

フリーソフトウェア

100選

アスキー出版局

フリーソフトウェアの意義

無料で使えて、人にコピーをあげるのも自由というフリーソフトウェアは、パソコンユーザーにとっては実にありがたい存在である。フロッピーディスクにして数枚と大きくなっている最近の市販ソフトウェアに比べると、一般にフリーソフトウェアの規模は小さいが、それだけにこじんまりとまとまっていて、かゆいところに手が届くような配慮がなされている。それに、多くの人が使った上で寄せた注文を取り入れてどんどん改良していく作者が多いから、使い勝手はなかなかよい。市販ソフトとしては入手できない機能を実現したものが多いのも面白いところである。

さて、こうしたフリーソフトウェアはパソコン通信システム上で配布されている。これは当然、パソコン通信システムに加入していない人でないと入手できない。そこで、パソコン通信に入っていない人にとっては、本書のようにフロッピーディスク付きの本が出版されることもありがたいことであろう。もちろん、本となると無料というわけにはいかないが、パソコン通信でもアクセス費用や電話代がかかるのだから、もちろん無料ではない。無料なのは、したがって、フリーソフトウェアの「原価」である。われわれはこの事実に対して、フリーソフトウェアの作者・提供者に心からの敬意を払わなければならない。私が関係者の協力のもとに、Free Software Prize 1992という企画を推し進め、まず約100点の優秀作品を選び、その中からLHAの作者である吉崎氏をはじめ、約20人の方々に、ささやかな賞をさしあげたのは、その人達に感謝の念を表わすためであった。

これがきっかけとなって、他の人々が質のよいフリーソフトウェアを競って開発してくれるようになり、ユーザーがそれを尊重して、常に感謝しながら使ってくれるようになることを願っている。

東京大学大型計算機センター教授
Free Software Prize 1992選考委員会委員長
石田　晴久

FREE SOFTWARE PRIZE 1992 (第1回フリーソフトウェア大賞)について

パソコン通信人口を100万人にまでした大きな要因のひとつとして、フリーソフトウェアの存在は無視できないものがある。その作者の功績を讃える意図で、催されたのがFREE SOFTWARE PRIZE 1992である。

石田 晴久東京大学教授を委員長に、PC-VAN、NIFTY-Serve、アスキーネット、日経MIX、マスターネット、エーアイ出版、アスキー出版局他の代表で構成される「フリーソフトウェア大賞実行委員会」が主催および運営にあたり、優秀なフリーソフトウェアを表彰し、作者の労をねぎらった。

なお、選考には、別掲のように、各BBSのフリーソフトウェア関連SIGやフォーラムのSIGOP、SYSOP、コンピュータ関係のジャーナリストを委員とする選考委員会があたり、5月13日に最終選考会が行なわれた。この時点で、優秀なフリーソフトウェアとして選ばれた114本の中から、FSP大賞、選考委員会特別賞、各部門賞、各BBS特別賞などが選定された。そして、以下に示すように、大賞以下各賞が決定され、6月20日に東京・京王プラザホテルで表彰式、記念講演などが行なわれた。

本書では、この最終選考会で選ばれた114本をP.26以降で紹介している。そして、そのうちから、作者の承諾が得られた102本と選外が1本(「株価管理」用ポイントアンドフィギュアの本体である株価管理)の計103本を付属ディスクに収録した。

各賞は、以下のように決定した。なお、フロンティア賞は、これまでのフリーソフトウェア全体を総括する意味で、市場を開拓した草分け的なソフトウェアに贈られたもので、この部門は今回限りの設定。

●大賞	LHA
●選考委員会特別賞	ish
●通信部門賞	WTERM
同次席	EasyTERM
●ユーティリティ部門賞	BDIFF
	DIET
	FD
	LV
	xscript
●アミューズメント賞	SuperDepth
●音楽部門賞	MIMPI
●グラフィック部門賞	該当作品無し
●社会部門賞	BASE
●非DOS部門賞	GomTalk7
同次席	Disinfectant
●送受信インターフェイス賞	BPL
	Quick-VAN
	TransIt
●フロンティア賞	history
	KI-Shell
	DM
	SIM
	NinjaTerm
	PRT
	JSHOT
●ネットワーク別特別賞	
PC-VAN賞	HGLOG
NIFTY-Serve賞	led
アスキーネット賞	xscript
日経MIX賞	TADL
マスターネット賞	J-Mac98

FREE SOFTWARE PRIZE 1992選考委員会

●委員長

石田　晴久(東京大学大型計算機センター教授)

●委員

赤塚　正(日経MIX mac.pros会議議長)
大河原　亨(フリーライター)
クロード・チアリ(PC-VAN NEC98 byチアリ SIGOP)
小松　毅史(フリーライター)
佐々木　進(日経MIX soft会議議長)
高千穂　遙(SF作家)
三木　和彦(NIFTY-Serve FGAL SYSOP)
谷田部　武男(マスターネット オンラインソフトウェアフォーラム SYSOP)
山田　祥平(フリーライター)

フリーソフトウェア大賞のトロフィーを受け取るLHAの作者の吉崎　栄泰氏

各賞の受賞者が勢揃いしての授賞式の模様

FREE SOFTWARE PRIZE 1992を記念しての講演会も行なわれた

秀作フリーソフトウェア100選●目次

フリーソフトウェアの意義/石田 晴久……1
FREE SOFTWARE PRIZE 1992について……2
付属ディスクの利用法……4
フリーソフトウェアとは何か？……18
パソコン通信でのフリーソフトウェア獲得術……20
フリーソフトウェア大賞実行委員会選定の
フリーソフトウェア100選の紹介……25

●$fontx
●5TAKU
●ADDDEV/DELDEV
●ANGELCOM
●ASLEdit+
●ASLTalk
●B-Plus
●BASE
●BATCP
●BATUTY
●BDIFF/BUPDATE
●BPL
●CHKCOM
●CNVPACK2
●DIET
●Disinfectant
●Disk Reboot
●DM
●DOSHIGH
●EasyTERM
●exexe
●Expanded fin
●Fback
●FD
●FILMTN
●fo&sy
●FP-CHESS
●FRENV
●GETSAIL
●GomTalk7
●Hextris
●HGLOG
●history
●HSB
●ish
●Jgawk
●J-Mac98
●JSHOT
●JukeBox
●KI-Shell
●KTYPE
●KV
●led
●LHA
●LHMTN
●LHQ
●LV
●LZEXE
●MAG
●maJ
●MARU98
●MaxFiles
●MenuOne
●MIEL
●MIMPI
●MOREENV
●MS
●NinJaTerm
●NOTEDISK
●NSCTRL
●NSweep
●OSAKA
●PACKBACK
●PC98JAN
●PCM
●PRT
●QKI
●QKN
●Quick-VAN
●RayII
●SE3
●SIM
●Space Destroyer
●SPEAK
●SSe,
●suna
●Super Depth
●SystemSwitcher
●TADL
●tEDIT
●Tf
●The GOLF倶楽部
●TransIt
●TRTEXT
●TURBO Freeway
●TWINS
●uuex/uudx
●VEDAMENU
●VMAP
●WTERM
●XLD4HS
●xscript
●XTR
●YooEdit
●ZMA
●アストロウォーズII
●いけいけ! 武装少女
●似非キース
●柿木将棋
●蟹味噌
●株価管理
●「株価管理」用ポイントアンドフィギュア
●クアトロ
●競馬中継
●サニー・ワン
●書見台
●タッチ・タイピング練習ソフト
●富国強兵
●ぽろりす☆
●鮪ペイントシステム
●美砂
●未沙ちゃんローダー／未沙ちゃんびゅーあー
●理想の女性
●XALXの紋章98
●探偵今里美砂事件簿#1

■本書付属のディスクを利用するには、MS-DOSやお使いになっているマシンに関する最低限の知識が必要です。初心者の方は、必ず入門書を読み、MS-DOSやお使いになっているマシンについての基礎知識を修得したうえで利用してください。
■本書の付属ディスクにはMS-DOSおよびMacintoshのシステムは付属していませんので、別途必要になります。
■本書付属のディスクを利用する前に、必ず「付属ディスクの利用法」(p.4～)、「フリーソフトウェアとは何か？」(p.18～) をお読みください。

商標

・MS-DOSは米国 Microsoft 社の登録商標です。

付属ディスクの利用法

付属ディスクの構成について

本書は付属ディスクによって、5インチユーザー版と3.5インチユーザー版の2種類があります。自分の利用しているマシンで使えるほうをお買い求めください。

本書に付属のディスクをご利用いただく前に、必ず、以下の説明をお読みください。なお、本書付属のディスクを利用するには、MS–DOSやお使いになっているマシンに関する最低限の知識が必要ですので、初心者の方は、必ず入門書を読み、MS–DOSやお使いになっているマシンについての基礎知識を修得したうえで、以下の説明を読んでください。

・5インチユーザー版について

5インチユーザー版をお買い上げの方は1〜7の番号がついているディスクが5インチで、8と9の番号がついている2枚のディスクは3.5インチになっています。

1〜3（2HDフォーマット：1.2Mバイト、1セクタの容量は1024バイトで1トラック8セクタ）にはPC–9801用のプログラム。4（2HCフォーマット：容量1.2Mバイト、1セクタの容量は512バイトで1トラック15セクタ）にはPC–9801用のプログラムとJ–3100用のプログラム。5〜7（2HCフォーマット：容量1.2Mバイト、1セクタ容量512バイトで1トラック15セクタ）にはMS–DOS汎用のプログラムや各機種用のプログラムやデータ、IBM PCおよび互換機やDOS/V用などのプログラム類が収録されています。8と9のディスクには、Macintosh用のプログラムが収録されています。 各々、各対象マシンで読み取れるように、別々のフォーマットになっています。

Macintoshは、フロッピーディスクの大半が3.5インチになっていますので、8と9のディスクには、あえてこのサイズのものを付属させました。これは、現在Macintosh以外のマシンを使っている方で将来Macintoshを購入したい方、あるいはMacintoshとそれ以外のマシンを持っている方への便宜も考えてのことです。

・3.5インチユーザー版について

3.5インチユーザー版をお買い上げの方は1〜11の番号がついている3.5インチディスク計11枚が付属しています。

1〜3（2HDフォーマット：1.2Mバイト、1セクタの容量は1024バイトで1トラック8セクタ）にはPC–9801用のプログラム。4（2HCフォーマット：容量1.2Mバイト、1セクタの容量は512バイトで1トラック15セクタ）にはPC–9801用のプログラムとJ–3100用のプログラム。5〜9（2DDフォーマット：容量720Kバイト、1セクタ容量512バイトで1トラック9セクタ）にはMS–DOS汎用のプログラムや各機種用のプログラムやデータ、IBM PCおよび互換機やDOS/V用などのプログラム類を収録してあります。10と11のディスクには、Macintosh用のプログラムが収録されています。

付属ディスクのバックアップ

初めに、万が一の場合に備えて、本書付属のオリジナルディスク（以下、単に「付属ディスク」と呼びます）をバックアップしておきましょう。

付属のオリジナルディスクを、DISKCOPY コマンドで他のディスクにまるごとコピーする、あるいは付属のオリジナルディスクのファイルを COPY コマンドで他のドライブ（の任意のディレクトリ）にコピーするだけでバックアップ可能です。

では、フロッピーディスク同士でまるごとコピーをする場合について説明します。

A ドライブにオリジナルディスクを入れて、B ドライブにフォーマット済みのディスクを入れた場合には、以下のようにします（網がかかっている部分を入力してください。↵はリターンキーの入力を表わします：以下同様）。

```
A>diskcopy a: b:↵
```

なお、DISKCOPY コマンドを使用してコピーする際には、バックアップをとるためのディスクを、オリジナルディスクと同じフォーマットで初期化をしておく必要があります。

5 インチユーザー版では、1〜3 の番号がついているディスクは 2HD で、4〜7 の番号がついているディスクは 2HC でフォーマットされています。

3.5 インチユーザー版では、1〜3 の番号がついているディスクは 2HD で、4 の番号がついているディスクは 2HC で、5〜9 の番号がついているディスクは 2DD でフォーマットされています。

それぞれバックアップをとるオリジナルディスクと同じフォーマットで初期化を済ませたうえで、作業を進めるようにしてください。

※なお、それぞれの種類のフォーマットの方法についてわからない場合には、必ず MS-DOS に付属のマニュアルか MS-DOS の入門書をお読みください。

ノート型パソコンなどでフロッピーディスクドライブが 1 台しかない場合には、フロッピーディスクにバックアップする前に付属ディスクの内容をいったん RAM ドライブ（またはハードディスク）にコピーしておき、フロッピーディスクを入れ替えてコピーしなおしてください。

たとえば、フロッピーディスクドライブが A ドライブ、RAM ドライブが B ドライブとなっている場合、付属オリジナルディスクをバックアップ用のディスク（フォーマット済みのもの）にバックアップするための手順は次のとおりです（ここ以降の手順の説明は、ご自分の環境に合わせてドライブ番号を読みかえてください）。

注意　RAM ドライブに大切なファイルがある場合には、必ずそのバックアップをとったうえで、作業を進めてください。

①B ドライブ（RAM ドライブ）に作業用ディレクトリ（ここでは、仮に TMP という名前にしておきます）を作る。

```
A>mkdir b:¥tmp↵
```

②付属ディスクを A ドライブに入れ、その内容を作業用ディレクトリにコピーする。

```
A>copy a:*.* b:¥tmp↵
```

③Aドライブから付属ディスクを取り出してバックアップディスクに入れ替え、Bドライブの作業用ディレクトリの内容をバックアップディスクにコピーする。

```
A>copy b:¥tmp¥*.* a:↵
```

④作業用ディレクトリを削除する。

```
A>del b:¥tmp¥*.*↵
A>rmdir b:¥tmp↵
```

なお、このときバックアップディスクおよびRAMドライブには、空き容量が約1.2Mバイト以上必要です。

ハードディスクを利用していて、そこにバックアップをとる場合には、ハードディスクに専用のディレクトリを作った上で、そこにオリジナルディスクの内容をCOPYコマンドを使ってコピーしてください。以下の例は、本体のフロッピーディスクドライブにオリジナルディスクを入れて、そこにあるすべてのファイルをBドライブに設定してあるハードディスクのTMPというディレクトリにコピーする例です。

```
A>copy a:¥*.* b:¥tmp↵
```

付属ディスクの内容

本書の付属ディスクには、**表1**のようなファイルが入っています（利用したいフリーソフトウェアが入っているディスクを本文の収録ディスク表示マークで確認したうえで、ご利用ください）。

ディスクへのプログラムの収録方法について

通常、1つのフリーソフトウェアは、コマンド本体のほか、マニュアル（ドキュメント）やデータファイルなど、いくつかのファイルから構成されています。したがって、そのままでは（複数のファイルを送らなくてはならないので）パソコン通信等で配布するのに手間がかかりますし、必要なマニュアルやデータファイルが散逸してしまう恐れもあります。そこで、フリーソフトウェアの大部分は、関連するすべてのファイルを「アーカイバ」と呼ばれるプログラムで1つのファイル――「アーカイブ（書庫）ファイル」または単に「アーカイブ」――にまとめたうえで配布する習慣になっています。

アーカイバにもいろいろな種類がありますが、現在日本国内ではLHAというアーカイバが主流となっており、ほとんどのフリーソフトウェアは、このアーカイバで1つのファイルにまとめて配布されます（LHAについてはp.40に紹介があります）。

LHAで作成されたアーカイブファイルは、拡張子が“LZH”となっています。**表1**でお分かりのように、本書の付属ディスクに収録されているフリーソフトウェアも、Macintosh用のものと自己展開方式になっているものの一部を除き、すべてLHAによるアーカイブファイルの形式になっています。したがって、Macintosh用以外のフリーソフトウェアを利用する際には、何はともあれLHAコマンドが使える状態にしなければなりません。

表1　付属ディスクの収録ファイル一覧

ソフトウェア名称	アーカイブファイル名	収録ディスクNo.		内容＊	対応機種
		5	3.5		
5TAKU	5tk112.lzh	1	1		98
ADDDEV/DELDEV	add254ex.lzh	5	5		DOS
ANGELCOM	angelcom.lzh	5	5		98,J31,AX,PS/55
ASLEdit＋	ASLEdit＋1.0/a30.sea	8	10		Mac
ASLTalk	ASLTalk2.0	8	10		Mac
	ASLTalk2.0	8	10	MacintoshⅡ用	Mac
	ASLTalk.Doc (Teach Text)	8	10	ドキュメント(TeachText)	Mac
B-Plus	bp011.lzh	1	1		98
BASE	basen155.exe	1	1		98
BATCP	batcp124.lzh	5	5		DOS
BATUTY	bu106.lzh	5	5		DOS
BDIFF/BUPDATE	bdiffasc.lzh	5	5		DOS
BPL	bpl3epc.lzh	1	1		98
	bpl3ej.lzh	5	5		J31,IBM
CHKCOM	chkcm16a.lzh	5	5		DOS(一部98)
	ckcm16as.lzh	5	5	ソースファイル	DOS(一部98)
CNVPACK2	cnvpack2.lzh	1	1		98
DIET	diet145s.lzh	5	5		DOS
Disinfectant	disinfectant29.sea	8	10		Mac
Disk Reboot	dskb120.lzh	1	1		98
DM	dm87beta.lzh	1	1		98
DOSHIGH	doshst11.lzh	1	1		98
EasyTERM	et203a.lzh	1	1		98
	etems.lzh	1	1	EMSメモリ確保用	98
	etopn05.lzh	1	1	起動画面	98
exexe	exexe302.lzh	5	5		DOS
Expanded fin	efin110e.lzh	5	5		DOS
	efin100m.lzh	5	5	ドキュメント	
Fback	fback111.lzh	5	5		DOS
FD	fd98_232.lzh	1	1		98
	fdpc_240.lzh	5	5		IBM
	fd55_240.lzh	5	5		PS/55
	fdcstdoc.lzh	5	5	IBM & PS/55用FDCUSTドキュメント	
FILMTN	fmt98227.lzh	1	1		98
	fmtv106.lzh	5	6		DOS/V
	fmtj3227.lzh	4	4		J31
	fmtpc108.lzh	5	6		IBM
fo&sy	fo&sy21.lzh	1	1		98
FP-CHESS	fpchess.lzh	1	1		98
FRENV	frenv123.lzh	5	5		DOS
GETSAIL	gs122.lzh	1	1		98
	ocean2a.lzh	1	1	海洋編イメージファイル	98
	goldfish.lzh	1	1	金魚編イメージファイル	98
Gomtalk7	GomTalk7 v1.2.1	8	10		Mac
HGLOG	hglog432.lzh	5	6		DOS
history	h448xp4.lzh	5	6		DOS
HSB	hsb26n.lzh	1	1		98
ish	ish203.lzh	5	6		DOS
jgawk	jga29exe.lzh	6	7		DOS
	jga29src.lzh	6	7	ソースファイル	DOS

ソフトウェア名称	アーカイブファイル名	収録ディスクNo.		内容＊	対応機種
		5	3.5		
J-Mac98	jmac98.lzh	1	1		98
JSHOT	jshot321.lzh	4	4		J31
JukeBox	juke231.lzh	2	2		98
KI-Shell	ksh172c.lzh	1	1		98
	ksh172ca.lzh	5	6		AX
	ksh172cj.lzh	4	4		J31
KV	kv98x321.lzh	2	2		98
	kvpcx106.lzh	6	6		IBM,DOS/V
	kvssx131.lzh	4	4		J31
led	led115c.lzh	6	7		DOS
	lednif24.lzh	6	7	NIFTY-Serve用スクリプトファイル	DOS
LHA	lha213.exe	6	6		DOS
LHMTN	lhmtn.lzh	2	2		98
	lhmtn.lzh	5	6	3.5インチ版では、ディレクトリDOSVに収録	DOS/V
	lhmtn.lzh	4	4		J31
	lhmtn.lzh	6	6	3.5インチ版では、ディレクトリIBMPCに収録	IBM
LHQ	lhq211.lzh	6	6		DOS
LV	lv_33.lzh	2	2		98
	lvj_28fb.lzh	4	4		J31
LZEXE	lzex91.lzh	6	7		IBM PC
	lzjpac.lzh	6	7	日本語化セット	DOS
	lze91doc.lzh	6	7	日本語ドキュメント	DOS
MAG	mag115.lzh	1	1		98
maj	maj20set.lzh	6	6		DOS
MARU98	maru9893.com	2	2		98
Max Files	MaxFiles1.1	8	10		Mac
MenuOne	menu129.exe	6	7		DOS
MIEL	miel244a.lzh	2	2		98
MIMPI	mimpi35b.lzh	2	2		98
MOREENV	menv301.lZh	6	6		DOS
MS	ms314.lzh	6	8		DOS
Ninja Term	Ninja Term	9	11		Mac
NOTEDISK	ntdsk16.lzh	2	2		98N
NSCTRL	nsctrl.lzh	2	2		98N
NSweep	nswep203.lzh	2	2		98
OSAKA	osaka.lzh	6	7		DOS
PACKBACK	pb227.lzh	6	8		DOS
PC98JAN	pc98j091.lzh	2	2		98
PCM	pcm101.lzh	2	2		98
PRT	prt432d.lzh	2	2		98
QK!	qk102.lzh	6	8		DOS
QKN	qkn010f.lzh	2	2		98
Quick-VAN	qv110.exe	6	8		98,J31,IBM
Ray Ⅱ	ray_ii.lzh	2	2		98
SE3	se32298.exe	2	2		98 (カラー)
	se32298n.exe	2	2		98 (モノクロ)
	se322jzs.exe	4	4		J31 (カラー)
	se322j31.exe	4	4		J31 (モノクロ)
	se323dvc.exe	6	8		DOS/V (カラー)
	se323dvm.exe	6	8		DOS/V (モノクロ)
	se322man.exe	6	8	マニュアル	
Space Destroyer	spad064.lzh	3	3		98

ソフトウェア名称	アーカイブファイル名	収録ディスクNo.		内容＊	対応機種
		5	3.5		
SPEAK	speak14.lzh	7	8		98,IBM,PS/55
SSe	sse03.lzh	2	2		98
suna	suna.lzh	2	2		98
System Switcher	System Switcher 1.1	8	10		Mac
TADL	tadl023b.lzh	2	2		98
	TADL103.sea	9	11		Mac
tEDIT	tedit25d.lzh	6	8		DOS
Tf	tf330.exe	3	3		98
The GOLF倶楽部	golf.lzh	3	3		98
Translt	trs98.lzh	2	2		98
	trsibm1.lzh	7	8	Com1用	IBM
	trsibm2.lzh	7	8	Com2用	IBM
TRTEXT	trt431n9.lzh	3	3		98
	trteng.lzh	7	8	英語基本辞書	
TURBO FreeWay	tfway115.lzh	2	2		98
TWINS	twins110.lzh	3	3		98
uuex	uuex_141.lzh	7	8		DOS
uudx	uudx_v26.lzh	7	8		DOS
VMAP	vmap201.lzh	7	8		DOS
WTERM	wtpc872b.lzh	3	3		98
	wtj3122b.lzh	4	4		J31
	wtibmj11.lzh	7	8		DOS/V
	wtdoc403.lzh	7	8	ドキュメント	
XLD4HS	xld4hs2g.lzh	3	3		98
xscript	x150ide1.lzh	3	3		98
	x150ids1.lzh	3	3	ソースファイル	98
XTR	xtr150d.lzh	7	9		DOS
YooEdit	YoED0952AP	9	11	アプリケーション版	Mac
	YoED0952DA	9	11	DA版	Mac
ZMA	zma.lzh	7	9		98, J31, IBM
いけいけ! 武装少女	mai_chan.lzh	3	3		98
柿木将棋	k134.exe	3	3		98
蟹味噌	kani110.lzh	3	3		98
株価管理	kabu210.exe	3	3		98
「株価管理」用ポイントアンドフィギュア	anal103.lzh	3	3		98
クアトロ	qua.lzh	4	4		98
競馬中継	keichu10.lzh	4	4		98
サニー・ワン	sunny100.lzh	4	4		98
タッチ・タイピング練習ソフト	tt30.lzh	7	9		98
富国強兵	wandp103.lzh	4	4		98
ぽろりす☆	poro156a.lzh	7	9		98,J31,FMR
美砂	misaw3.lzh	7	9		Win
未沙ちゃんローダー/未沙ちゃんぴゅーあー	msa98203.lzh	4	4		98
	msv98251.lzh	4	4	ぴゅーあーのバージョンアップ	98
理想の女性	aite2.lzh	4	4		98

＊この欄は，特にコメントの必要のあるアーカイブファイル（ドキュメントが本体のアーカイブと別のアーカイブになっている等）について記載しました．特に記載していないものは，一つのアーカイブにすべて入っています．

対応機種欄

98=PC-9801シリーズ、98N＝98ノートシリーズ、MS-DOS＝MS-DOS汎用（一部制限のあるものもあるので、詳しくは動作条件および各ソフトウェアのアーカイブに含まれているドキュメントファイルを参照のこと）、J31＝J-3100シリーズ、IBM＝IBM PC、AX＝AXマシン、PS/55＝IBM PS/55シリーズ、DOS/V＝DOS/V対応、Win＝MS-Windows対応、Mac＝Macintosh

LHA コマンドの利用方法

LHA コマンド自体もアーカイブファイルの形で付属ディスクに収録されていますが、LHA のアーカイブの中身を取り出そうというときに、LHA コマンド自体がなければそれを取り出すことはできません。しかし、ご心配なく。LHA 自身は自己展開型のアーカイブで収録してあります。**5 インチユーザー版、3.5 インチユーザー版ともに 6 番のディスクに入っている LHA213.EXE** を自分が作業しようとするドライブ（ここの例では A ドライブになっています）にコピーします。そして、以下のように拡張子の前の部分（.EXE の前の文字）を入力してリターンキーを押してください。

```
A>lha213↵
```

すると、図1のようなメッセージが表示されます。

図 1　LHA213.EXE の自動展開時のメッセージ

```
LHA's SFX 2.13L (c) Yoshi, 1991

<LHA ver.2.13>                                                    91/07/20
--------------------------------------------------------------------------
  本バージョンは、LHA の正式公開バージョンです。ただし、今後も改良は進
めていく予定ですので、何か気が付かれた点や要望などありましたら、ご連絡
頂ければ幸いです。

<改竄版への対応>
  LHA の改良のためのユーザー諸氏による変更は否定するものではありません
が、無意味なバージョン番号の変更や有害ルーチンの埋め込みなどは断じて排
除しなければなりません。もしあなたが旧版の LHA もしくは LH をお持ちでし
たら、自己解凍を開始する前に LHA t LHA213.EXE を実行してみてください。
さらに旧版の LHA.exe を LHA_old.exe とリネームして LHA213.EXE を自己解
凍後、LHA_old t LHA.exe を実行してみてください。't' コマンドの詳細につ
いては LHA.DOC をご覧下さい。

<英語版の復元法>
  英語版の実行ファイル LHA_E.exe は次のように作成します。
      A>bupdate lha_e.bdf ;lha.exe
--------------------------------------------------------------------------
                                NIFTY-Serve  SDI00506    吉崎　栄泰
                                ASCII-pcs    pcs02846    Yoshi
                                PC-VAN       FEM12376    吉崎　栄泰
--------------------------------------------------------------------------
解凍を始めますか？！[Y/N]
```

ここで Y のキーを入力すると。展開作業が始まり、以下のファイルが得られます。

```
LHA      EXE   34445  91-07-20   2:13
LHA      DOC   27059  91-07-20   2:13
HISTORY  DOC    6861  91-07-20   2:13
LHA_E    BDF    8583  91-07-20   2:13
```

これで、LHA コマンドが手に入りました。

ここでのLHA.EXEがコマンド本体であり、LHA.DOCはマニュアルです。LHA.EXEをパスの引いてあるディレクトリに入れておくことにより、以後、LHAコマンドを利用できるようになります（**パスの引き方については、MS-DOSに付属のマニュアルかMS-DOSの入門書をご覧ください**）。なお、ドキュメントファイルも、使い方が分からなくなったときにいつでも読むことができるように、適当なディレクトリに保存しておきましょう。

その他のフリーソフトウェアの展開方法

LHA以外のフリーソフトウェア（Macintosh用のソフトウェアは除く）は、このLHAコマンドを使って展開します。ソフトによっては、アーカイブファイルを展開すると10以上のファイルができる場合もありますので、まずそのソフト用のディレクトリを作成して、展開したファイルをそこに入れることにしておくと、ファイルの整理が楽ですので、この方法をとってください（**ディレクトリの作り方については、MS-DOSに付属のマニュアルかMS-DOSの入門書をご覧ください**）。特に、本書に付属のディスクの場合、収録ソフトウェアの数が多いので、そのソフトウェアの説明が書かれたドキュメントファイルに同じ名前のものがある可能性が高いため（実際、ソフトウェアの本体のファイル名は違うのにドキュメントファイルにはREADME.DOCやREAD.MEという同一名のものがいくつかあります）、そのソフトウェア専用のディレクトリを作ってから作業を進めてください。

LHAコマンドでのアーカイブファイルの展開は、次の書式で行ないます。

```
lha x アーカイブファイル名 （展開先）↵
```

ここで、**展開先**は、ドライブ名やディレクトリ名が指定できますが、ディレクトリ名の最後に必ず“¥”を付けておかなければなりません。**展開先**の指定を省略すると、カレントディレクトリ（現在作業をしているディレクトリ）が展開先になります。

たとえば、「Aドライブのアーカイブファイル DIET145S.LZH をBドライブのディレクトリ DIET に展開する」という場合には、

```
A>lha x a:¥diet145s.lzh b:¥diet¥↵
```

と入力します。これで、ディレクトリ DIET には次のファイルができるはずです。

```
DIET144  DOC    33320  92-01-22    1:44
DIETTECH DOC    26356  92-01-22    1:44
DIETAPI  DOC     7220  92-01-22    1:44
UPDATE   DOC     6206  92-01-22    1:44
DIET     EXE    26447  92-03-10    1:45
DIET145D DOC     8541  92-03-10    1:45
README   DOC     1570  92-06-08
```

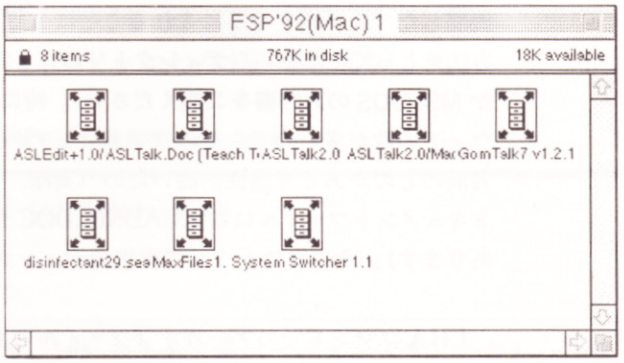
なお、一部のソフト（拡張子が“COM”や“EXE”になっているもの）はLHAと同じく自己展開型のアーカイブファイルになっています。上記のようにしても展開できますが、LHA213.EXEの場合と同様の方法で展開することもできます。

Macintosh 用プログラム

Macintosh の場合にも、他のマシンと同様に、まず付属のオリジナルディスクのバックアップをとってから以下の作業を進めてください。

Macintosh 用のプログラムは CompactPro（Bill Goodman 氏作）の AutoExtractor（自己展開型のアーカイブ）になっています。フロッピーディスクをドライブに入れると自動的にウィンドウが開きます（図2）。

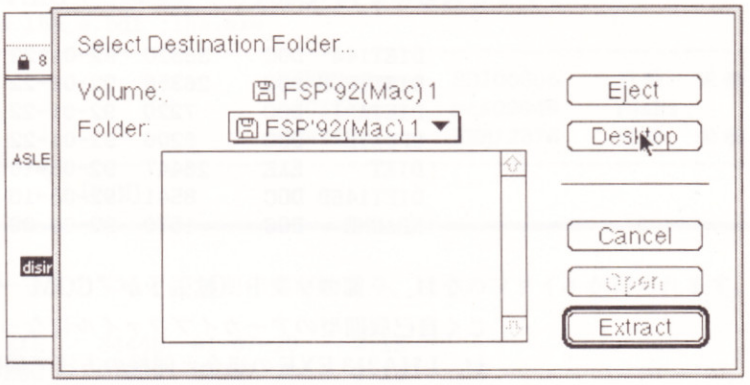
図2　ディスクを入れるとウィンドウが開く



そのディスクに入っているファイルがすべて表示されますので、展開したいファイルを選んでマウスでダブルクリックしてください。

すると、展開先のフォルダを選ぶためのダイアログが現われます（図3）。そのままでは展開先が付属フロッピーディスクになりますので、ここで [Desktop] をクリックして Desktop を表示させドライブを変更します。

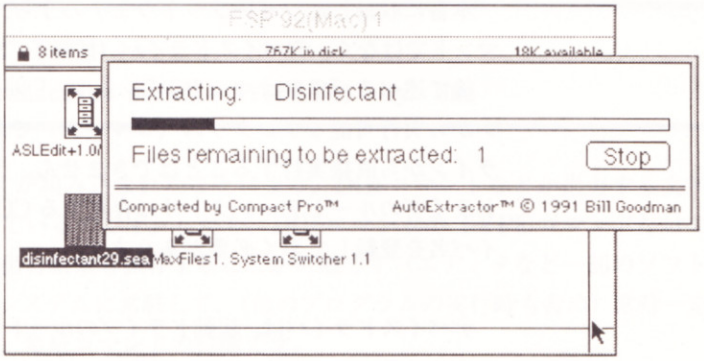
図3　展開先を選択するためのダイアログ



展開先にするドライブの Desktop をダブルクリックするとフォルダが表示されます。さらに下の階層のフォルダにしたいときにはそのフォルダをダブルクリックをします。

展開したいフォルダにたどりついたら、[Extract]をクリックしてください。指定したフォルダにファイルの展開を始めます。(図4)

図4　CompactProのAutoExtractorの指定画面



フリーソフトウェアたちは何をしてくれる?

本書の付属ディスクに収録したプログラムには、いったいどんな働きがあるのでしょうか。それらは、便宜的に次のような種類に分けることができるかもしれません。

コマンド(実行可能なプログラム)
デバイスドライバ
常駐コマンド
シェル
ツール(ユーティリティ)

これ以外にも、通信ソフトやパソコン通信のファイル転送プロトコル対応ツール、特定用途に絞ったソフトウェア(「ANGELCOM」「TheGOLF倶楽部」「株価管理」等)、そしてゲームも入っていますが、これらはプログラムとして見た場合には、以上のどれかの分類に入るはずです。

さて、以下にそれらのプログラムの使い方の一例を、ごく簡単に触れておきたいと思います。

詳しくは、各々のプログラムのアーカイブに含まれている、そのソフトウェアの説明が書かれたドキュメントファイル(拡張子"DOC"を持ったファイルやREAD.MEといった名前のファイル)をよく読んでから利用するようにしてください。自分のマシンあるいは環境で使えるかどうかも、このファイルをよく読んでから判断してください(フリーソフトウェアの作者はすべての機種を持って開発しているわけではないので、対応機種に関しては、完全ということが難しいことは、あらかじめご了承ください)。

●コマンド(実行可能なプログラム)

BUPDATE.EXEのように拡張子が"COM"または"EXE"となっているファイルは、実行可能なプログラム(コマンド)です。したがって、このファイルをパスの引いてある

ディレクトリにコピーしておけば、以後、そのコマンドを自由に利用できるようになります。

●デバイスドライバ

「デバイスドライバ」は、起動時にシステムに組み込まれて、常時一定の働きをするプログラムです。

本書に収録したフリーソフトウェアのうち、NOTEDISKなどいくつか、実行可能なコマンドではなく、デバイスドライバ（拡張子“SYS”）の形式になっているものがあります。

後で述べる「常駐コマンド」「シェル」「ツール」が、すべてMS-DOSのコマンドラインから実行可能なプログラム（コマンド）であるのに対し、デバイスドライバはコマンドラインから直接実行することはできません。デバイスドライバを利用するためには、起動ドライブのルートディレクトリに存在するCONFIG.SYS中に、次のようにデバイスドライバ名を登録しておく必要があります。

デバイスドライバは、起動ドライブのルートディレクトリに存在するCONFIG.SYS中に

```
device＝デバイスドライバファイルのパス名
```

という形で登録しておくことにより、次回以降の起動時にメモリに組み込まれるようになります。

たとえばNOTEDISK.SYSを利用するためには、CONFIG.SYSに次の行を追加しておきます。

```
device＝notedisk.sys
```

これで、次回以降の起動時にデバイスドライバNOTEDISK.SYSがメモリに組み込まれるようになります。

●常駐コマンド

「常駐コマンド」も、デバイスドライバと同様、システムに常駐することで一定の働きをするものです。デバイスドライバとの違いは、デバイスドライバがCONFIG.SYSへの登録を必要とするのに対し、常駐コマンドの場合は、一般のコマンドとまったく同様にコマンドラインから実行することができる点にあります。

たとえば、本書にはxscriptというプログラムが収録されています。これはPC-9801用ですから、PC-9801を起動して、MS-DOSのプロンプトが出ている状態で、このxscriptを組み込んでみましょう。組み込むには、図5のように、このプログラムを実行してやればよいのです。

このようにしてxscriptがPC-9801のシステムに組み込まれると、どういうことが起きるでしょう。

まず、DIRコマンドやTYPEコマンドなどいくつかMS-DOSのコマンドを使ってみましょう。それらの動作はいつもとなんら変わらないはずです。

ここで、CTRLキーを押した状態で上向きのカーソルキー（↑）を押してみてください。画面のそれぞれの行の右端に青い下向き矢印が表示されます。この状態で、上向きカーソ

ルキーやROLL DOWNキーを押すと、画面からスクロールしてしまったはずのDIRコマンドやTYPEコマンドの出力が遡って表示されるではありませんか（実験がすんだら、ESCキーを押して元の状態に戻しておいてください）。

図5　xscriptを実行したところ

```
A>xscript

Install the transcript service (Ver 1.4)  by  Oka
```

実は、xscriptが組み込まれたことにより、DIRコマンドなどが出力する文字を保存できる状態になっているのです。しかも、DIRコマンドやTYPEコマンドだけでなく、他のプログラムの出力結果も保存することが可能です（エディタなど一部のソフトを除く）。

このように、システムに常駐して、（他のプログラムの実行時も含め）常時一定の働きをしてくれるのが、常駐コマンドの特徴です。

常駐コマンドの多くは、いったんシステムに常駐したものを取り除く機能も持っています。xscriptの場合は、再度、

```
A>xscript ↵
```

と入力することで、システムから取り除くことができます。

デバイスドライバと常駐コマンドは、システムへの組み込み方が違うだけで、どちらもシステムに常駐して働く「常駐プログラム」という点では共通しており、ほとんどのデバイスドライバは常駐コマンドとしても実現可能です。常駐コマンドのほうが何かと取り扱いに便利なので、最近のフリーソフトウェアでは、常駐プログラムはほとんど常駐コマンドの形で実現されています。

xscript以外にも、本書にはいくつかユニークな常駐コマンドが収録されています。

●シェル

さて、次に「シェル」ですが、これはもともと「殻」という意味を持った言葉です。コンピュータの世界でいうシェルは、システムの外側に見える部分のこと、つまり、ユーザーが直接操作する部分のことです。“システムに常駐して働くコマンド”という意味では、シェルも常駐コマンドの一種です。

本書には、代表的なシェルとしてhistoryが収録してありますので、ここでは、historyを例にシェルの働きを見てみましょう。historyも、xscriptのようにコマンドラインから実行してやることで、システムに組み込むことができます（図6）。

図6　historyを実行したところ

```
A>history -ko -r^l

HISTORY.COM (Ver 4.48x)  (C) 1986,87,88  by T.Oka
          Hit  CTRL-]  to show help menu.
```

historyは、コマンドラインでのユーザーの文字入力の操作をより使いやすくする、いくつかの働きを持っています。たとえば、コマンドラインから文字を入力してみます。ここで、入力した文字列に間違いがあったことに気がついたとします。このときhistoryが組み込まれていれば、ちょうどコマンドラインが“1行しかないエディタ”であるかのように、入力した文字列を自由に修正できるのです（図7）。

図7　コマンドラインの入力を修正

```
A>fornat b: /s……“format”のつもりが“fornat”なのに気づいた
A>fornat b: /……左カーソルキー（←）でカーソルを“n”の位置へ
A>formnat b:/s……“m”を要求する
A>format b:/s……DELキーで不要になった“n”を消した
```

カーソルキーやDELキーなどだけでなく、慣れてきたら、CTRL–S（CTRLキーを押しながらSキーを押す）やCTRL–Dなどのようなダイヤモンドキーの操作にすると、より使いやすくなります。もちろん、間違いを直した後でリターン（↵）キーを叩けば、普通どおりにコマンドを実行することができます。

historyには、ほかにもコマンドの「ヒストリー機能」や「別名（エイリアス）機能」、それから「ファイル名の補完機能」など、便利な働きがいくつもあります。

ヒストリー機能は、過去にコマンドラインから入力した文字列を呼び出して再利用できる、という機能です。CTRL–Wで過去に入力したコマンドを順番に呼び出していくことができます。行き過ぎたらCTRL–Eで戻ることができます（図8）。

図8　historyの履歴機能を使っているところ

```
A>……コマンド待ち状態
    （ここでCTRL-Wを押した）
A>mkdir b:¥bin /……1つ前に実行したコマンドラインが出てきた
    （ここでCTRL-Wを押した）
A>mkdir b:¥usr……2つ前に実行したコマンドラインが出てきた
    （ここでCTRL-Wを押した）
A>format b:/s……3つ前に実行したコマンドラインが出てきた
```

このようにして、また実行したいコマンドが出てきたら、リターンキーを押してやれば、それを実行できるのです。また、このとき図8の例のように左右のカーソルキーなどを使って、過去のコマンドラインを修正してから実行することもできるのです。

説明が少し長くなりましたが、一見すると組み込まれているのかどうかがわからない変わり者プログラムのhistoryによって、コマンドラインの操作性が格段に向上することがおわかりいただけたと思います。

一方、同じシェルでもFDのほうは、まったく違った要素を持ったプログラムです。FD

のようなプログラムは、「ビジュアルシェル」と呼ばれています。ディレクトリ内のファイル名をキーボードから入力する代わりに、画面に表示されたファイルを選択してコピーなどを行なうことができます。詳しくは、FDのアーカイブに付属のドキュメントをお読みください。

●ツール（ユーティリティ）

さて、最後は、「ツール」または「ユーティリティ」(以下ツール）ですが、これは、一般的なアプリケーションと同じように、コマンドラインから起動して一定の仕事を行ない、終了してコマンドラインに戻る――というタイプのプログラムです。

アプリケーションとの違いは、アプリケーションが日本語文書の編集、印刷など大がかりな仕事を行なうのに対して、ツールは原則としてたった1つの仕事しかしない、というところにあります。

本書には、LHA、ishをはじめとして、多彩なツール群を収録してあります。

「デバイスドライバ」「常駐コマンド」「シェル」「ツール（ユーティリティ)」は、いずれも普段使われているアプリケーションとは趣の異なるプログラムです。特に、「デバイスドライバ」「常駐コマンド」「シェル」は、システム環境に組み込んで使うという特殊なプログラムなのです。

これら、本書の付属ディスクに収録されたフリーソフトウェア群が、どのような形でPC-9801やJ-3100、IBM PC、DOS/Vマシン、Macintosh等々の環境をより快適に、使いやすいものにしてくれるかについて、おわかりいただけたでしょうか。

フリーソフトウェアとは何か？

フリーソフトウェアと著作権

本書のタイトルは「秀作フリーソフトウェア100選」です。この「フリーソフトウェア」というのは、ショップなどで売られている一般のソフトウェアパッケージとは異なる扱いをする必要があるものです。

フリーソフトウェアは、パソコン通信などに「アップロード」（通信回線を経由して登録すること）されている基本的に配布自由のソフトウェアです。配布自由とは、あるパソコン通信から「ダウンロード」（通信回線を経由して入手すること）して、他のネットワークに転載したり、友人にあげたりすることのできるソフトウェアです。したがって、本書の付属ディスクに収録した各フリーソフトウェアは、配布することができます。

法律的には、1992年9月現在の日本の著作権法では、著作権はプログラムを作った時点で自動的に発生し、財産権的な側面としての著作権と著作者人格権が認められ、著作者人格権は放棄できません。**フリーソフトウェアは、著作権は留保しつつ、配布・流通は自由としたプログラム**ということになります。

配布条件、形式には注意してください

ただし、注意しなければならないのは、配布・流通が自由であるのは、あくまで基本であって、プログラムによって配布の条件などを決めている場合もあることです。プログラムに付属しているドキュメントファイル（拡張子“DOC”を持ったファイルやREAD.MEといった名前のファイル）をよく読み、それに従うようにしなければなりません。また、本書の付属ディスクには収録されていませんが、「試しに使ってみるのは自由だが、継続して使用する場合は所定の料金を送付しなければならない」というソフトウェア（シェアウェアと呼ばれます）もあります。料金送付などの使用規定に従わない場合には、著作権の侵害になります。

そこで、本書の付属ディスクに収録されているプログラムの扱いについては、次のような点に注意してください。

- **使用や配布にあたってはプログラムのドキュメントファイルの指示に従ってください。**
- **配布する場合には、アーカイブファイル（拡張子“LZH”<自己展開型のアーカイブファイルも含む>、またはMacintosh用の場合にはCompactProのAutoExtractor）のまま行なってください。**

さて、フリーソフトウェアは、サポートなどの点でも一般のソフトウェアパッケージの場合と異なります。

単行本というメディアの性格上、**本書では、付属ディスクに収録したプログラムのバージョンアップには対応できません。また、郵送でのバージョンアップサービスも、一切行ないません。**

できるだけ、次の「パソコン通信でのフリーソフトウェア獲得術」の章を読んでパソコ

ン通信を始め、パソコン通信を通じてのサポートを受けるようにしてください。

また、本書の付属ディスクに収録したプログラムは、いずれも多くのユーザーによって使用されてきた安定したプログラムではありますが、これを使用したことによって生じた障害については保障できませんので、あらかじめご了承ください。

最後は少々硬い話になってしまいましたが、実際の使用にあたってはそれほど気にすることはないはずです。どうか、付属ディスクに収録したすばらしいフリーソフトウェア群をお楽しみください。

パソコン通信でのフリーソフトウェア獲得術

最新のフリーソフトウェアを使いたいならパソコン通信です

前章でも説明したように、本書の付属ディスクに収録されているフリーソフトウェアは、もともとパソコン通信上で配布されているものです。

もちろん、パソコン通信に限らずとも、友達からディスクをもらう、回覧の形で郵送する、などの手段で手に入れることができます。また、最近ではパソコン雑誌の付録ディスクにフリーソフトウェアが入ってくることも多くなりました。

それでも、フリーソフトウェアを手に入れるには、やはりパソコン通信を使うのが最も有利な方法です。そして、パソコン通信での配布には、フリーソフトウェアを作る側のメリットも大きいのです。

作者にもよりますが、一般にフリーソフトウェアのバージョンアップは、市販ソフトのそれと比べて早いといえます。これは、パソコン通信という双方向メディアと密接に関係しています。つまり、ソフトの作者とユーザーの間の距離が市販ソフトよりもずっと近いのです。

ユーザーはプログラムの不具合（バグ）を見つけたり、プログラムについての要望などがあれば、電子メールを使って作者に知らせることができます。手紙より速く、電話より確実に情報が伝えられます。

バグを取り除くことができたり、新しい機能が付いたりしてソフトがバージョンアップしたら、作者はパソコン通信のフリーソフトウェアの登録場所（ライブラリ）にそれを登録（アップロード）するだけです。各ユーザーがそれを自分のパソコンに引き出します（ダウンロード）。

前のバージョンを回収したり、ユーザー１人１人に新しいバージョンを送らなくてもよいのです。このことが、パソコン通信上でのフリーソフトウェアのバージョンアップが盛んな理由です。

市販ソフトはもちろんのこと、同じフリーソフトウェアでも、ディスクで配布するときには、とてもこうはいきません。ある程度大きなバージョンアップが行なわれた段階ごとに配布するしかないでしょう。

つまり、フリーソフトウェアの最新バージョンを使いたいなら、パソコン通信で手に入れるしかないのです。

本書の付属ディスクには、WTERM、EasyTERM、NinjaTerm という優秀な通信ソフトも収録されています。これらのソフトを使えば、本書で紹介したもの以外にもたくさんある優れたフリーソフトウェアをいちはやく使えるようになります。**これを機会に、すぐにでもパソコン通信を始めることをお勧めします。**

パソコン通信に必要な機器

パソコン通信を始めるにあたって必要な機器の中で、いちばん高いのは

パソコン本体

ですが、本書を買った人ならすでに持っているはずです。

次に必要なのは

電話回線

です。プッシュ回線でもダイアル回線でもよいのですが、電話機と電話線の接続が、簡単に着脱可能な「モジュラージャック」という方式になっていなければなりません。違う場合はNTTに頼んで工事してもらいましょう。

本格的にパソコン通信をしている人は、最終的にはもう1本パソコン通信専用の回線を引いてしまうようですが、最初からそうする必要はないでしょう。

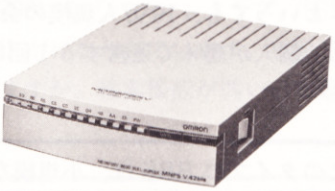
さて、パソコンと電話回線をつなぐのが“モデム”という機器です。これは、パソコンの通信ポート（RS-232C）を介して接続します。

現在では通信速度が2400bps、MNP4（または5）サポートのモデムが一般的です（**写真1**）。ほとんどのパソコン通信サービスに接続することができますし、値段も4万円程度と手頃なので、最初に買うならばこのクラスのモデムにしましょう。

また、かなり高価になりますが、より高速な通信（9600bps～19200bps程度）を行なうことができるモデムも存在します（**写真2**）。ただし、接続先のパソコン通信サービスがそのモデムに対応している必要があります。

写真1　2400bps、MNP5モデム

写真2　高速モデム



パソコン通信に必要なソフト

パソコン通信に必要なソフトは、まず

通信ソフト

です。これは、パソコン通信に必要なほとんどの処理をしてくれるソフトです。通信ソフトも他のジャンルのソフトと同様、市販品もあれば、本書付属のディスクに収録されている

WTERM、EasyTERM、NinjaTermのような優秀なフリーソフトウェアもあります。

フリーソフトウェアをダウンロードするには、このほかに

ish コマンドや uudx コマンド
各種プロトコル対応プログラム

が必要です。

通常、パソコン通信で読み書きしている電子メールなどのデータはテキストデータで、実行ファイルなどのバイナリデータはそのままでは扱えません。ところが、フリーソフトウェアとして配布される実行ファイル（拡張子“EXE”や“COM”のファイル）やアーカイブファイル（複数のファイルがまとめられたもの。拡張子“LZH”など）は、バイナリデータからなるバイナリファイルなのです。

バイナリファイルをパソコン通信でやり取りするためには、2つの方法があります。

1つは、バイナリファイルをいったんテキストファイルに変換してしまう方法です。テキストファイルならば、ほとんどのパソコン通信サービスで受け渡しが容易です。テキストファイルを受け取ったら、元のバイナリファイルに変換してやればよいのです。このテキスト–バイナリの変換に使われるのが ish や uudx というフリーソフトウェアです。

もう1つは、パソコン通信サービスが特別にバイナリファイルを受け渡しする手段を用意する方法です。これが XMODEM、YMODEM など「プロトコル」と呼ばれるものです。

プロトコルを使ってファイルの受け渡しをするときには、それぞれのプロトコルに対応したソフトが必要となります。XMODEM というプロトコルならば、わざわざ専用のソフトを用意しなくても、たいていの通信ソフトに初めから備わっています。ただし、このプロトコルは効率が悪いため、最近では他のもっと効率的なプロトコルが普及しつつあります。大手のパソコン通信サービスでは、Quick–VAN、B Plus Protocol、ZMODEM、Kermit などの高機能なプロトコルをサポートしており、それぞれのプロトコルに対応したフリーソフトウェアも用意されています。

パソコン通信サービスにもいろいろある

パソコン通信サービス（主なサービスである電子掲示板の略称から「BBS」とも呼ばれる）といっても、10万人規模の会員を抱え、一度に何百人もアクセスできる大手の BBS から、個人が趣味で運営する1回線の BBS まで、その形態はさまざまです。

（1）個人運営の BBS

このタイプの BBS は、小規模なサークルや人情味豊かな小さな町のイメージに近いものがあります。会員同士のコミュニケーションを大切にしているところが多いので、単にフリーソフトウェアを手に入れるためだけに入るのは問題です。

また、自分の使っているフリーソフトウェアの作者がその BBS の会員でないときには（小さな BBS ならたいていそのはずです）、転載という形で配布されてくるのを待つしかありません。

しかし、個人のボランティアで運営されているようなものなので、入会金や使用料は無料なことが多く、有料だとしてもわずかな金額です。コミュニケーションも楽しみたい人なら、1つくらいは自分の故郷のような BBS を持つとよいでしょう。

(2) 大手のBBS

ビジネスライクに欲しいものだけを手に入れるのだという人は、大手のBBSに加入すべきです。大手のBBSはいわば都会ですから、こちらから積極的にアプローチしなければ誰もあなたのことを気にしません。

フリーソフトウェアの作者も、大手のBBSのどれかに入っていることが多いので、作者が直接アップロードしたフリーソフトウェアを手に入れることができます。作者がそのBBSにいなくとも、複数のBBSの会員であるユーザーが転載してくれることが多いのです。

一方、入会金や使用料はもちろん有料です。特に使用料が時間に比例して加算されるBBSでは、フリーソフトウェアを数多くダウンロードしていると、電話料金とBBS使用料の請求金額に泣くはめになるので注意してください。

フリーソフトウェアはどこで手に入る?

それでは、大手のパソコン通信サービスで、MS-DOSマシンの情報やフリーソフトウェアが集まっている場所を紹介しましょう。

● NIFTY-Serve

MS-DOSマシン用のフリーソフトウェアは「ソフトウェアギャラリー」(FGAL)に蓄積されています。PC-9801シリーズ向けのソフトは「NEC-PCフォーラム」(FNEC)に、また、ノートF/AなどPC-286/386シリーズ向けのソフトは「エプソンユーザーズフォーラム」(FEPSON)に、IBM PCおよび互換機向けやJ-3100用のフリーウェアは「IBM Professionals Folum」(FIBMPRO)に、Macintosh用のプログラムは「Macintosh Programming Forum」(FMACPRO)や「MACUS-JAPAN」(FMACUS)に集められています。フリーソフトウェアに関する疑問点などがあれば、これらのフォーラムで尋ねてみるとよいでしょう。

● PC-VAN

「NEC98 by チアリ」(NEC98)や「パソコンクラブ」(SPASOCOM)などのSIGで、活発な書き込みやアップロードが行なわれています。登録されているソフトウェアの数を合計すると膨大なものになりますが、検索機能が弱いのが難点です。

●日経MIX

フリーソフトウェアは、listingsやlong2に多数アップロードされています。マシンや分野、ベンダー別の会議が充実しており、パソコン関連の情報に強いBBSです。ノート型パソコン関係については、ラップトップ専用会議であるlaptopでホットなやり取りが交わされています。

●アスキーネット

フリーソフトウェアはpoolというメニューに集中的に登録・管理されています。poolは目的とするフリーソフトウェアの検索や、まとめてのダウンロードが容易にできるように工夫されています。MS-DOSマシン用ソフトやPC-9801および互換機用ソフトはpool

msdos、IBM PC および互換機、そして J-3100 や DOS/V マシン用ソフトは pool ibm、Macintosh 用ソフトは pool mac に登録されています。

また、pool に登録されているソフトに関する照会やサポートの場として salon.pool が設けられています。

MS-DOS マシンや各機種に関する情報は comp.msdos、comp.pc98、comp.ibm、comp.j3100、comp.apple などで取り交わされています。

また、フリーソフトウェアのテストなどのため、junk.test にノートを開く作者もいます。

各ネットワークの問い合わせ先の電話番号は、次のとおりです。

NIFTY-Serve	03-3221-7363
PC-VAN	03-3454-6909
日経 MIX	03-3380-6011
アスキーネット	03-3486-9661

フリーソフトウェア大賞 実行委員会選定の フリーソフトウェア100選の紹介

本章では、FREE SOFTWARE PRIZE 1992の「フリーソフトウェア大賞実行委員会」によって最終ノミネートされた114本の作者名、内容、登録先等を紹介します（「登録先」は、1992年8月時点でのものです）。

先ず、本章での紹介は、1ページで3本のソフトウェアを紹介する形式になっています。

次に、「内容」の部分は基本的に概要の紹介です。ここでの紹介だけでは、そのフリーソフトウェアを使いこなすことはできません。詳しい使用方法については、各アーカイブに含まれている（あるいは別のアーカイブにある）、そのソフトウェアについての説明が書かれたドキュメントファイル（拡張子〝DOC〟を持ったファイルやREAD.MEといった名前のファイル）をよく読んでから利用するようにしてください（アーカイブを展開したうえで、MS-DOSのタイプコマンドあるいはエディタソフトやワープロソフト等で読んでください）。ドキュメントファイルが本体のアーカイブと別のアーカイブになっている場合については、p.7〜9にある「付属ディスクに収録されているフリーソフトウェア一覧」の表をご覧ください。

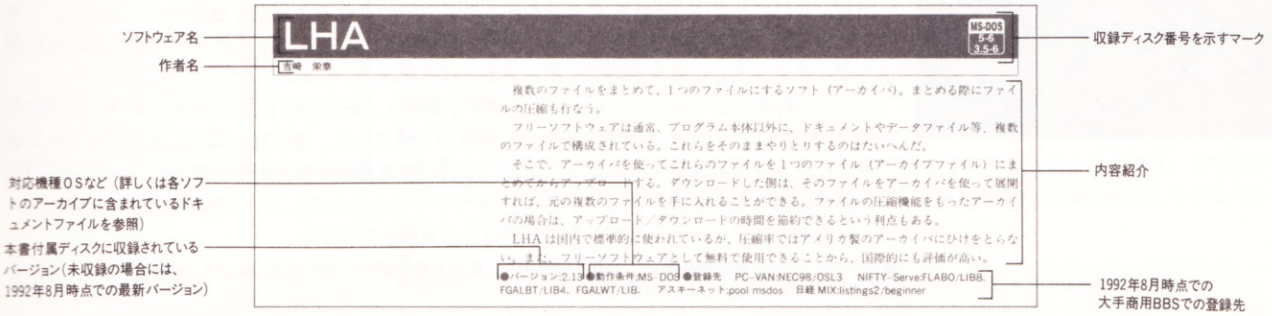
各ソフトウェアの「バージョン」については、本書の付属ディスクに収録されているものについては、収録されているバージョンになっています。ものによっては、本書に収録するための特別のバージョンのものもありますので、登録先にそのバージョンが登録されていない（あるいは登録されない）場合もあります。

「動作環境」の項目では、スペースの都合もあり、完全には紹介できていないケースもあります。自分のマシンあるいは動作環境で使えるかどうかは、各アーカイブに含まれている（あるいは別のアーカイブにある）、そのソフトウェアについての説明が書かれたドキュメントファイルをよく読んでから利用するようにしてください（なお、フリーソフトウェアの作者はすべての機種を持って開発しているわけではないので、対応機種に関しては、完全ということが難しいことは、あらかじめご了承ください）。

「未収録のマーク」（下の凡例を参照のこと）のついているものは、諸般の事情で本書の付属ディスクへの収録ができなかったものです。なお、**XALXの紋章98**と**探偵今里未砂事件簿#1**の2本については、事情によりソフトウェア名と作者名の紹介のみにとどめさせていただきました。

なお、**株価管理**については、FREE SOFTWARE PRIZE 1992で最終ノミネートされたものではありませんが、**「株価管理」用ポイントアンドフィギュア**が、本来は**株価管理**の定義ファイルに登録して、**株価管理**のオプションメニューから起動することを想定して作られたアドインソフトであるため、選外ですがあえて収録させていただきました（**「株価管理」用ポイントアンドフィギュア**は単独での使用も可能です）。

以下に凡例を示しますので、それに従ってお読みください。



収録ディスク番号を示すマークの見方

上半分は、以下に示す対応機種の略号です。

98＝PC-9801シリーズ、98N＝98ノートシリーズ、MS-DOS＝MS-DOS汎用（一部制限のあるものもあるので、詳しくは動作条件および各ソフトウェアのアーカイブに含まれているドキュメントファイルを参照のこと）、J-3100＝J-3100シリーズ、IBM＝I BM PC、AX＝AXマシン、PS/55＝IBM PS/55シリーズ、DOS/V＝DOS/V対応、WINDOWS＝MS-Windows対応、MAC＝Macintosh

① 98 5-1 3.5-2

下の部分は、上が5インチユーザー版の何番のディスクに入っているかと3.5インチユーザー版の何番のディスクに入っているかを示します。

つまり、左の①では、PC-9801シリーズ対応のソフトウェアのアーカイブが、5インチユーザー版では1番のディスクに、3.5インチユーザー版では2番のディスクに入っていることを示します。

なお、これらのマークが右の②−Aのように & でつながれている場合には、一つのプログラムでその両方に対応していることを表わします（この場合、当然ですが下半分の収録ディスク番号は5インチユーザー版、3.5インチユーザー版ともに同一です）。

次に、& でつながれていない場合には、別々のプログラムが対応機種ごとに必要になります。右の②−Bでは、PC-9801用のソフトウェアのアーカイブが、5インチユーザー版では1番のディスクに、3.5インチユーザー版では2番のディスクに、IBM用のソフトウェアのアーカイブが5インチユーザー版では3番のディスクに、3.5インチユーザー版では4番のディスクに入っていることを表わしています。どのソフトウェアがどのように対応しているかは、p.7〜9の「付属ディスクへの収録フリーソフトウェア一覧」の「内容」の欄をご覧ください。

②−A 98 5-7 3.5-8 & IBM 5-7 3.5-8

②−B 98 5-1 3.5-2 IBM 5-3 3.5-4

以下のマークは、本書の付属ディスクには収録されていないことを表わします。

未

1992

$fontx

未

Lepton（小山　隆史）

DOS/V 標準の$font.sys と互換性のあるフォントドライバ。

$font.sys では、フォントを保持する拡張メモリを得るために、int 15h という BIOS コールを利用している。そのため、XMS ドライバより前に組み込むか、XMS ドライバ側で int 15h 用の領域を空けておかなくてはならなかった。$fontx は、フォントを XMS に保持することができるので、int 15h に関する面倒な設定は必要ない。

フォントパターンの保持に使われるメモリは、DOS/V 標準のフォントで 240K バイト。$fontx 自身の常駐サイズも 1～2K バイトとたいへんコンパクトに収まっている。

付属のツールを使って DOS/V や PC-9801 のシステムフォントから$fontx 用のフォントファイルを作成することができる。これら複数のフォントを切り替えて使うことも可能だ。

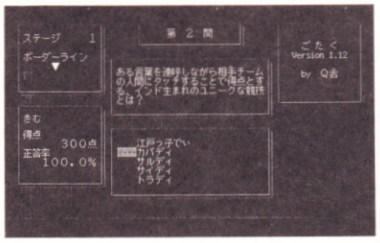
このほか、XMS ドライバが使えない 8086 マシン用に、フォントを EMS に保持する$fonte、メインメモリに保持する$fontm が用意されている。

●バージョン:2.2 ●動作条件:DOS/V
●登録先　NIFTY-Serve:FIBMPRO/LIB6　アスキーネット:pool ibm　日経 MIX:vacs/library

5TAKU

98 5-1 3.5-1

Q 舎



五者択一形式のクイズゲーム。

出題は「歴史・政経・地理」「文学・書籍」「音楽」「映画・TV」「科学・技術・工学」「スポーツ」「動物・植物」「流行・文化・雑学」の計 8 つのジャンルから行なわれる。

問題に対して、5 つの選択肢が表示されるので、そのうちのどれかを選ぶという方式だ。1 ステージにつき 8 問が出題され、全 16 ステージが用意されている。各ステージごとに定められたボーダーラインより正解数が低いとゲームオーバーだ。

スコアは得点（早く答えると高い）と正答率で争われ、それぞれ上位 15 位までがランキングされる。「チャンス」コーナーがある面では、得点が 2 倍になる、選択肢が減る、ボーダーラインが下がる、ジャンルを選択できるようになる、などの特典を得ることができる。

最初に起動したときは、「プレーヤーデータファイルを作るか」という問いに「y」と答え、メニュー選択で「プレーヤー登録」を選んで自分の名前を登録する。

●バージョン:1.12 ●動作条件:PC-9801（JIS 第一、第二水準が必要）、MS-DOS Ver.2.11 以降
●登録先　NIFTY-Serve:FGALAM/LIB4

ADDDEV/DELDEV

MS-DOS 5-5 3.5-5

rusu[原作]、-off-[改変]、S_HAY[改変]

デバイスドライバの登録と解放を行なう常駐ソフトとツール。

MS-DOS 付属の ADDDRV/DELDRV コマンドのように、MS-DOS のコマンドラインでデバイスドライバの登録と解放が行なえる。たとえば、複数の日本語入力 FP やマウスドライバをいちいちリセットすることなく切り替えることができるわけだ。メーカー純正の ADDDRV/DELDRV と比べ、複数常駐させることができるなど、いろいろ便利な点がある。

ADDDEV は、デバイスドライバの登録を行なう常駐ソフトで、ADDDRV コマンドと違って直接コマンドラインで（「+」に続けて）デバイスドライバ名を指定できる。もちろん、ADDDRV コマンドのようにファイルからデバイスドライバの設定を読み込んで組み込むことも可能だ。

DELDEV は、ADDDEV で組み込まれたデバイスドライバを解放するツール。複数のデバイスドライバが常駐している場合は、直前に実行された ADDDEV コマンドで組み込まれたデバイスドライバが解放の対象となる。

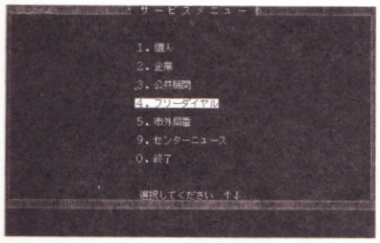
●バージョン:2.54 ●動作条件:MS-DOS（Ver.3.10 以降）●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3
NIFTY-Serve:FGALST/LIB8　アスキーネット:pool msdos　日経 MIX:long3/4soft

1992

ANGELCOM

98 5-5 3.5-5 & J3100 5-5 3.5-5 & AX 5-5 3.5-5 & PS/55 5-5 3.5-5

日本電信電話株式会社



NTTの電話番号検索サービス（エンジェルライン）用の専用通信ソフト。

104番の有料化に伴い、パソコンやキャプテン端末を使ってNTTの番号情報センター（0190-104104）に接続し、全国の電話番号を調べることができるようになった。

パソコンを使ってセンターにアクセスする場合、普通の通信ソフトを使うことも可能だが、検索する相手の名前や地域の入力や、検索されなかったときの修正などはけっこう面倒だ。

このANGELCOMは、電話番号検索サービスの使い勝手をよくするための電話番号検索専用の通信ソフトで、名前や地域の入力をANGELCOMに対して行なうと、それをセンターに対して適当な形式に変換して送信してくれる。もちろん、項目の修正も簡単にできる。

日本語表示可能なMS-DOSマシンのほとんどで動作するが、付属のINSTALLというツールで、使用パソコンの機種やモデムに対するコマンドを環境ファイルに設定しておく必要がある。

●バージョン:1.0 ●動作条件:PC-9801、J-3100、AX、PS/55他、MS-DOS Ver.2.11以降
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL1　NIFTY-Serve:FGALTM/LIB6　アスキーネット:pool msdos
日経MIX:long2/pds3

ASLEdit+

MAC 5-8 3.5-10

Hiroo Yamada（山田　浩大）

YooEditと評判を二分する日本語対応のスクリーンエディタ。デスクアクセサリ版とアプリケーション版がある。System7.0に対応しており、32ビットクリーンだ。

一度に32個までのファイルを編集でき、メモリの許す限り巨大なファイルを扱える。さらに、System7.0の仮想メモリ機能を使えば、99Mバイトまでのテキストが編集可能。

最大の特徴は検索／置換機能にある。通常の検索のほかに、正規表現が使えるgrep検索、複数ファイルを一度に検索できるマルチファイル検索を備えており、他のエディタと比べて柔軟な検索／置換が可能になっている。このほかにも、テキストブロックをまとめて左右に4桁ずつ移動する機能や、文字入力やカット&ペーストのアンドゥ機能などさまざまな機能を備えている。

9ポイント及び12ポイントの等幅フォント（ASLフォント）が組み込まれており、デフォルトフォントとして扱われ、フォント幅が固定であることを前提に書かれたMS-DOSのテキストを読むときに重宝する。他のフォントに切り替えることも可能である。

●バージョン:1.0/a30 ●動作条件:Macintosh
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL13　NIFTY-Serve:FMACPRO/LIB2　日経MIX:listings2/mac88

ASLTalk

MAC 5-8 3.5-10

Hiroo Yamada（山田　浩大）

デスクアクセサリ（DA）タイプの通信ソフト。MultiFinderを利用しなくても、他のアプリケーションを使っている最中にいつでもパソコン通信することができる。

機能的にはたいへんシンプルで、オートログイン用の簡単なマクロは持っているものの、ファイル転送プロトコルを利用したバイナリファイル転送の機能はない。もっとも、各プロトコル対応のデスクアクセサリを併用すれば転送は可能。

表示されるウィンドウサイズは固定されており、あらかじめClassicなどの9インチ画面用のものと、MacIIシリーズ用の13インチ画面用のものが用意されている。

また、表示用に専用のフォント（ASLフォント）をFont/DA Moverで組み込む必要がある。これは、すべてのフォント幅が等しい固定ピッチのフォントで、1バイト文字は2バイト文字の半分の幅で表示される。通信以外にも、フォント幅が固定であることを前提に書かれているMS-DOSのテキストを読むときなどに重宝する。

●バージョン:2.0 ●動作条件:Macintosh
●登録先　NIFTY-Serve:FMACPRO/LIB5　アスキーネット:pool mac　日経MIX:listings.mix/mix/mac

B-Plus

98 5-1 3.5-1

吉崎　栄泰

ファイル転送プロトコル B Plus 対応のファイル転送ツール。

B Plus は、NIFTY-Serve で採用されているファイル転送プロトコルで、古典的なプロトコルの XMODEM に比べ、おおよそ倍の効率でダウンロードができる。データライブラリ以外にも会議室のメッセージの一括ダウンロード等、NIFTY-Serve の他のサービスでも利用できる。

しかし、通信ソフト自体に B Plus によるファイル転送機能を持つものは少ない。そこで、この B-Plus や、次ページに紹介する BPL といった B Plus 対応のファイル転送ツールを、通信ソフトの中から起動することになる。

起動には、通信ソフトの「MS-DOS のコマンドを実行する」機能を利用する。もっとも、WTERM や EasyTERM といったフリーソフトウェアの通信ソフトは、こうしたファイル転送ツールを自動的に起動する機能をもっているので、これらの通信ソフトのユーザーならば手で入力して起動することはほとんどないだろう。

●バージョン:0.11 ●動作条件:PC-9801、MS-DOS Ver.3.10 以降●登録先　NIFTY-Serve:FLABO/LIB2

BASE

98 5-1 3.5-1

無量寺点字出版所

点字データを作成／編集する点字エディタ。スクリーンエディタでテキストを編集するような感覚で点字データを作成できる。当然、検索や置換、キーボードマクロなども備わっている。

編集画面は、点字を直接表示するだけでなく、墨字（通常の文字のこと）に変換して表示することも可能で、編集中にこうした表示を切り替えることができる。画面下のガイドラインには、カーソル行の内容がもう一方の表示方法で表示される。

入力方式は、点字タイプで使われている 6 点入力と、英数かな／ローマ字をそのまま入力するフルキー入力が用意されており、こちらも編集中に切り替えることが可能。

BASE を使って点訳された点字データは、点字プリンタに出力して点字本にする方法以外にも、「AOK」や「音次郎」のような音声装置を利用して読むことや、ピンディスプレイを使って直接データを読むことができる。BASE 自身も音声装置やピンディスプレイに対応している。

●バージョン:1.55 ●動作条件:PC-9801、PC-9801LT、FMR ●登録先　NIFTY-Serve:FEYE/LIB4

BATCP

MS-DOS 5-5 3.5-5

Paci（清水　洋平）

バッチファイル（拡張子 BAT）を通常の実行ファイル（拡張子が COM、EXE）に変換するツール（バッチコンパイラ）。

バッチファイルは、コマンドとよく使うオプションを 1 行にまとめて書いておくという使い方しかしていない人が多いかもしれないが、じつは if や goto などの制御構造をもった手軽な「言語」だ。MS-DOS に付いてくるこの言語を使わない手はない。

しかし、バッチファイルにはいくつか欠点がある。ディスクから 1 行ごとに内容を読み込むので遅い、バッチファイルのなかからそのまま他のバッチファイルを呼び出せない、制御構造が構造化されていないので見にくい、最初の「echo off」が見えてしまう、画面出力が標準出力ではない…などなど。

BATCP を使ってバッチファイルを COM ファイルにすれば、これらの欠点はすべて解消、改善される。しかし、なによりの利点は、ドキュメントに書いてあるように、「わたしはプログラムができるんだぞ」と自慢できるようになることかもしれない。

●バージョン:1.24 ●動作条件:MS-DOS（Ver.3.10 以降）
●登録先　NIFTY-Serve:FLABO/LIB2、FGALST/LIB5　アスキーネット:pool msdos　日経 MIX:long2/pds4

BATUTY

MS-DOS 5-5 3.5-5

Paci（清水　洋平）

BATUTY（BU）は、バッチファイル中で使うと便利な機能を集めたツール。

バッチファイルはifやgotoなどの制御構造が使える手軽な「言語」だが、キー入力や基本的な関数など、いくつか欠けている機能がある。

BUを使えば、これ1つでキー入力、ディスクやメモリの容量、四則計算、乱数の発生、文字列の変換、I/Oポートに対する入出力などが可能になる。

出力結果は画面に表示するだけでなく、環境変数に代入することもできるので、BUを活用することによってより「言語」らしいバッチが作れるわけだ。

BUの機能を使ったバッチファイルは、当然BUがないマシンでは動かない。しかし、同じ作者によるBATCPでは、バッチファイルをCOMファイルに変換する際、COMファイル内にBUを組み込む機能がある。これを使えば、BUがないマシンでもそのままCOMファイルになったバッチが動く。

●バージョン:1.06 ●動作条件:MS-DOS
●登録先　NIFTY-Serve:FLABO/LIB2、FGALST/LIB5　アスキーネット:pool msdos　日経MIX:long3/1soft

BDIFF/BUPDATE

MS-DOS 5-5 3.5-5

T.Tanaka

2つのファイルの差分を作成したり、差分ファイルを使ってファイルの更新を行なうツール。

フリーソフトウェアのバージョンアップは、その性格上かなり頻繁に行なわれることが多い。ソフトが巨大な場合は、バージョンアップのたびにすべてのファイルをまるごとアップロード／ダウンロードしていたのでは電話代がかさんでしまう。そこで、旧バージョンからの変更点を抜き出した差分ファイルを作成し、そのファイルを使って旧バージョンを新バージョンに更新する。この方法は、やりとりするファイルのサイズが小さくてすむという利点がある。

BDIFFは2つのファイルの違いを抜き出し、BDFという拡張子をもつ差分ファイルを作成する。作者はこれをBBSにアップロードする。この差分ファイルをダウンロードしたユーザーは、BUPDATEを使って旧バージョンを新バージョンに更新する。もちろん、このためにはユーザーは旧バージョンをもっている必要がある。

●バージョン:1.26 ●動作条件:MS-DOS
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FLABO/LIB8、FGALBT/LIB6、FGALWT/LIB6
アスキーネット:pool msdos　日経MIX:long2/pds2

BPL

98 5-1 3.5-1　J3100 5-5 3.5-5 & IBM 5-5 3.5-5

フィンローダ

ファイル転送プロトコルB Plus対応のファイル転送ツール。

B Plusは、NIFTY-Serveで採用されているファイル転送プロトコルで、CompuServeでも使われている。NIFTY-Serveが同じく採用しているXMODEMに比べ、約2倍の速度でダウンロードすることができる。データライブラリのほか、バイナリメールや会議室のメッセージの一括ダウンロードなどでも利用できる。ただし、NIFTY-Serve独自のプロトコルのため、B Plusによるファイル転送機能を内部に備えた通信ソフトは少ない。そこで、このB-Plusや前に紹介したBPなどのB Plus対応のファイル転送ツールが必要になる。

起動は通信ソフトのMS-DOSコマンド実行機能を使う。WTERMやEasyTERMといったフリーソフトウェアの通信ソフトは、こうしたファイル転送ツールを自動的に起動する機能をもっているものもあるので、これらの通信ソフトのユーザーならば、いちいち入力しなくても自動的にダウンロードが始まる。

●バージョン:3E ●動作条件:PC-9801、J-3100、FMR、他
●登録先　NIFTY-Serve:FGALTM/LIB8、FIBMPRO/LIB2、FFMPRO/LIB3　日経MIX:long2/pds

CHKCOM

MS-DOS 5-5 3.5-5

Sey Nakajima

変更が加えられたファイルや新規作成／削除されたファイルを見つけだして報告するツール。ウイルスに感染したファイルを発見する手助けとなる。

ウイルスは、実行ファイルやシステムファイル（msdos.sys や io.sys）に寄生するものが多い。この場合、元々のファイルサイズと比べてウイルスの分だけサイズが増加する。また、サイズを増やさないようなウイルスでも、ファイルの内容は変化している。

CHKCOM は、ディスク中の各ファイルについて、更新日時とサイズ、CRC を記録したファイルを作っておく。あとは、それをもとにして新たに追加されたファイルや削除されたファイル、変更されたファイルを見つけだして報告する。

また、予約セクタやパーティションセクタを保存／検査／復活する CHKRSV と CHKPT98、ハードディスクから起動する前に、そのパーティションセクタ／予約セクタ／システムファイルを検査するフロッピーを作る CHKIPL98 というツールが付属する。

●バージョン:1.6A ●動作条件:MS-DOS
●登録先　NIFTY-Serve:FGALBT/LIB6　アスキーネット:pool msdos　日経 MIX:long2/pds5

CNVPACK2

98 5-1 3.5-1

Sasa（笹原　敏明）

ワープロ専用機の文書ファイルを MS-DOS のテキストファイルに変換するツール（コンバータ）を集めたもの。PC-9801 シリーズとその互換機上で動作する。

キヤノワード（キヤノン）、OASYS シリーズ（富士通）、Rupo シリーズ（東芝）、ミニ書院シリーズ（シャープ）に計 8 本のコンバータが用意されており、その内訳は、「キヤノワード共通文書用／ CW1MS」「キヤノワード専門文書用／ CW2MS」「OASYS/FROM シリーズ用／ FROMMS/FROMMS2」「OASYS/100 シリーズ用／ OASMS」「OASYS/300A シリーズ用／ OAS3A」「Rupo シリーズ用／ RUPOMS」「ミニ書院シリーズ用／ SINMS」となっている。

これらのコンバータを使えば、ワープロ専用機の文書フロッピーに記録されている文書ファイルを、MS-DOS のテキストファイルに変換することができる。

このほかにコンバータ作成用のディスク解析ツール SECDUMP が付属する。

●バージョン:　●動作条件:PC-9801 ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL2

DIET

MS-DOS 5-5 3.5-5

Teddy Matsumoto（松本　孝）

ファイルを圧縮するツール。アーカイバと違い、複数ファイルをまとめる機能はない。おおむね半分程度のサイズまで圧縮されるので、ノート型パソコンなどディスク容量が限られているマシンでは必需品だ。

DIET を使って実行ファイルを圧縮すると、展開ルーチンが付加された自己展開型の圧縮ファイルが作成されるため、圧縮した状態のまま実行することができる。また、デバイスドライバを自己展開型の圧縮ファイルにすることも可能だ。

テキストファイルを圧縮した場合には、展開ルーチンは付かない。このファイルを利用するには、一度 DIET を使って展開するか、DIET の常駐機能を利用する。

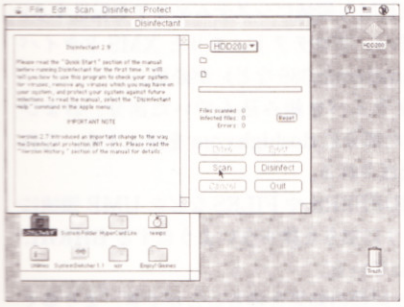
常駐機能は、メモリに DIET を常駐させて圧縮／展開処理を行なうものだ。たとえば、圧縮したテキストファイルをエディタで編集する場合にも、読み込むときに自動的に展開、編集終了後は再び圧縮といったように、ファイルが圧縮されているかどうかを気にせずに扱うことができる。

●バージョン:1.45d ●動作条件:MS-DOS
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FLABO/LIB2　日経 MIX:long3/4soft

Disinfectant

MAC 5-8 3.5-10

John Norstad



コンピュータウイルスの発見／除去ツール。感染の検査／除去を行なうアプリケーションと、感染を防御するINITからなる。かなり早期からBBSを介して無料で配布されており、Macintoshのウイルス撲滅への貢献度はたいへん高い。

アプリケーションでは、ファイルやフォルダ、すべてのディスクに対するウイルスの検査（Scan）、および除去（Disinfect）が行なえる。検査／除去のスピードはかなり速いので、定期的にすべてのディスクに対して検査を行なうとよいだろう。

INITは、アプリケーションの「Protect」メニューで「Install Protection INIT」を選択すると、自動的にシステムフォルダの適当な場所にインストールされる。

Disinfectantは、既知のウイルスに対してしか効果がないのだが、実際には新種のウイルスが発見されるたびに、ほとんどタイムラグなしにバージョンアップされるので問題はない。Macintoshユーザーの必需品のひとつといえるだろう。

●バージョン:2.9 ●動作条件:Macintosh ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL13　NIFTY-Serve:FMACPRO/LIB9
アスキーネット:pool mac　日経MIX:mac.long/4bin

Disk Reboot

98 5-1 3.5-1

Takenori Kato

起動ドライブがハードディスクであっても、フロッピーから起動できるようにするデバイスドライバ。

起動ドライブの設定を「標準」にすると、ハードディスクからの起動には時間がかかり、さらに起動メニューが表示されてしまう。起動ドライブの設定を「ハードディスク」にして、自動起動を設定しておけば起動は速くなるが、今度はフロッピーディスクからの起動ができなくなる。起動させるにはメモリスイッチをSWITCHコマンドなどで書き換えないといけないので面倒だ。

Disk Rebootを利用すると、起動ドライブの設定は「ハードディスク」のまま、フロッピーディスクからの起動も可能になる。具体的には、起動時にCTRLキーを押し続けていればよい。何も押さなければ、ハードディスクが自動起動する。

なお、Disk Rebootの実行にはシステム起動時の割り込みベクタを保存したファイルが必要だ。これを作成するには、付属のKUMITORIというツールを使用する。

●バージョン:1.20 ●動作条件:PC-9801 ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FGALST/LIB8

DM

98 5-1 3.5-1

北村　敏彦

ファイル管理ツール（ファイラ、ビジュアルシェル）。ディレクトリにおけるファイルの並び（ディレクトリエントリ）を自由に配列することができるのが特徴。

ファイルの複写／削除／移動／内容閲覧／編集、ディレクトリの作成／削除／移動など、ほとんどのファイル操作はファンクションキーを押すだけで行なえる。また、一太郎ライクなメニュー操作の選択や、CTRL＋英字キーによる操作も可能だ。

最大の特徴は、ディレクトリエントリを自分の好みによって自由に配列することができること。他のファイラのようにファイル名などでソートするだけでなく、自分でCOMMAND.COMはautoexec.batの前になどと簡単に並べ替えることができる。

ドライブ／ディレクトリの移動先、ファイルのコピー先などの指定は、ツリー表示されたディレクトリから選択する。

また、メモリをわずか2Kバイト程度しか消費しないため、大型のアプリケーションも楽に起動することができる。

●バージョン:8.72V ●動作条件:PC-9801 ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3

DOSHIGH

98 5-1 3.5-1

Mr.No

MS-DOS Ver.5.0で採用されているDOS=HIGH（HMA領域にシステムエリアを転送する）機能をMS-DOS Ver.3.3で可能にするデバイスドライバ。プロテクトメモリとXMSドライバ（MEMORY-PRO386のvems.drvやMELWAREのmelemm.386など）が必要。

config.sys内でDEVICEコマンドによってXMSドライバを組み込んでいた部分、およびSHELLコマンドでCOMMAND.COMを指定していた部分にdoshigh.comを挿入する。これによって約33Kバイトのシステムエリアが HMAに転送される。

デバイスドライバをUMB領域にロードするDH、BUFFERSやFILESなどをUMB領域に確保するABF、メモリの割り当て方法を変更してメモリに空きを作らないようにするBHIGH、メモリマップを表示するDKなどの関連ツールが付属している。

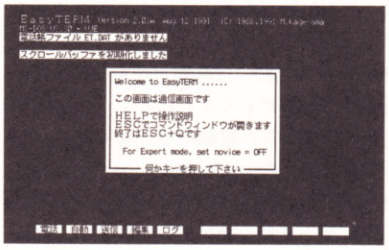
これらを使用すると、MS-DOS Ver.3.3でVer.5.0と同様の効果を得ることができ、より多くのメインメモリをアプリケーションが使うことができる。

●バージョン:0.11 ●動作条件:PC-9801
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FGALST/LIB8　日経MIX:long3/5soft

EasyTERM

98 5-1 3.5-1

Jack（藤山　雅昭）



EasyTERMは、高性能でしかも使いやすい通信ソフト。オートダイヤルやテキストファイルの送受信はもちろん、オートログイン、バックスクロール、外部のプロトコル対応ソフトの自動起動、EMS対応など、機能は市販の通信ソフトにひけをとらない。

さらに、バックグラウンド動作する内蔵エディタを備えているため、オートダイヤルやファイルの送受信と並行して文章を編集することができる。また、オートダイヤルもバックグラウンド動作が可能で、選択した複数の番号に順番にダイヤルすることが可能。操作は、ファンクションキーなどの特殊キーを押すか、ESCキーと内部コマンド（1文字）を入力することで行なうため、メニュー選択方式と比べるとやや難解だが、慣れればこちらのほうが素早く操作できる。

EasyTERMのマクロ（バッチ）は、ローカル変数や再帰呼び出しが使えるなど、本格的なもので、オートログインはもちろん、複雑な自動運転（オートパイロット）を行なうことも可能だ。

●バージョン:2.03a ●動作条件:PC-9801
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL1　NIFTY-Serve:FASCII/LIB6　日経MIX:long3/1soft

exexe

MS-DOS 5-5 3.5-5

Ksoq

exexeは、通常の実行ファイル（拡張子がCOM、EXE、BAT）以外のファイルを実行可能にする常駐ソフト。

exexeを常駐させていると、awkのスクリプトやMAGなどの画像データ、あるいはLHAのアーカイブなど、あらゆるファイルをなんら変更することなくコマンドラインで直接実行することができる。その結果、コマンドラインでのキー入力が大幅に減る。

また、FDなどのビジュアルシェルを使っているときにも威力を発揮する。FDの場合だと、カーソルを合わせて「X」＋RETキーでそのファイルを実行できるからだ。

つまり、コマンドライン派の人にとっても、ビジュアルシェル派の人にとっても、exexeはたいへん便利なソフトなのだ。

exexeの秘密は、常駐するときに参照する拡張子設定ファイル（exexe.cfg）にある。このファイルに、起動するファイルの拡張子と実行するコマンドを書いておけばよい。起動するファイルを探すディレクトリをあらかじめ設定しておくこともできる。

●バージョン:3.02 ●動作条件:MS-DOS ●登録先　アスキーネット:pool msdos　日経MIX:long3/4soft

Expanded fin

MS-DOS 5-5 3.5-5

山田　琢磨、山田　祥平、日下部　陽一

テキストファイルの整形を行なうテキストフォーマッタ fin の発展版。フリーソフトウェアのドキュメントを整形するのによく使われている。

fin は、元のテキストが適当に改行されていても、空白行や行頭の段落判別文字がない限り、前の行の末尾に次の行をつなぎ、段落としての体裁を整える。また、1 行は 72 文字（変更可）で改行が挿入される。さらに、テキストファイル中にコマンドを埋め込むことによって、センタリングなどの細かい整形を行なうことが可能。

整形された出力は、標準出力（通常は画面）か、プリンタポートへ出力される。ファイルに保存する場合には、リダイレクト（>）を使えばよい。

オリジナルの fin は、制御できるプリンタが PC–PR201 シリーズに限られていたが、Expanded fin はエプソン製のプリンタにも対応している。また、ワードラップやジャスティフィケーション、複数フォントの切り替え、縮小印字などの機能が追加されている。

●バージョン:1.10 ●動作条件:MS–DOS ●登録先　アスキーネット:pool msdos

Fback

MS-DOS 5-5 3.5-5

マナベ（真鍋　正志）

消去してしまったファイルを復活／一覧表示するツール。

うっかりミスで大切なファイルを削除してしまうのはよくあることだが、消した直後に Fback を使えばある程度まで復活させることができる。

Fback を–l オプション付きで実行してみると、消去されたファイルのうち、指定したファイル名（ワイルドカード可）に該当するものが DIR コマンドの形式で表示される。なお、ファイル名の先頭 1 文字はシステムが書きこんだ消去マークによって失われているため、「?」で表示される。

実際にファイルを復活させるときには、Fback をオプションなしで（または–s オプションを付けて）実行する。指定したファイル名に該当する消去ファイルが見つかれば「このファイルを復活させますか」と聞いてくるから、「y」を入力すればよい。

通常のファイルだけでなく、サブディレクトリやボリュームラベルを復活させることも可能だ。

●バージョン:1.11 ●動作条件:MS–DOS ●登録先　NIFTY–Serve:FGALST/LIB6　日経 MIX:long2/pds3

FD

98 5-1 3.5-1　IBM 5-5 3.5-5　PS/55 5-5 3.5-5

A.Idei（出射　厚）

ダントツの人気を誇るファイル管理ツール（ファイラ、ビジュアルシェル）。

カーソルキーと SPACE キーでファイルを選択し、ファンクションキーで動作を指定するという方法で、初心者でもファイルに対する処理が簡単に行なえる。慣れてきたら、動作の指定をコマンド（1 文字）で直接指定することも可能だ。

ファイルの内容表示、コピー／移動／削除、ファイル名変更、ファイルの実行などの基本的なものから、ディレクトリの並べ替え、タイムスタンプの修正やディレクトリのツリー表示といったものまで多彩な機能がある。

また、アーカイブファイルに含まれるファイル一覧を表示したり、選択したファイルのアーカイブや展開を行なうことも可能。LHQ などのアーカイブ関連ツールと組み合わせることもできる。

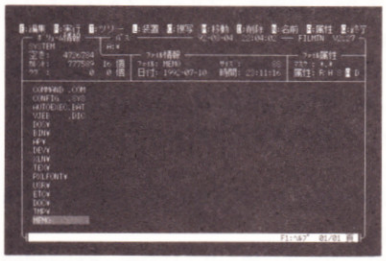
付属の FDCUST2 というツールを使えば、表示色などの画面設定や、使用するエディタなど FD から起動されるコマンドを自由にカスタマイズすることができる。

●バージョン:2.32（PC–9801 版）、2.40（IBM PC 版）、2.40（PS/55 と DOS/V 版）
●動作条件:PC–9801、IBM PC、PS/55
●登録先　PC–VAN:IBMCLUB/OSL1（PS/55 と DOS/V 版）　NIFTY–Serve:FGALBT/LIB6
アスキーネット:pool msdos、pool ibm　日経 MIX:long3/2soft

FILMTN

98 5-1 3.5-1 | IBM 5-5 3.5-6 | J3100 5-4 3.5-4 | DOS/V 5-5 3.5-6

K.Ishida（石田　健仁）



ファイル管理ツール。ディレクトリ単位の移動やコピーが行なえるほか、拡張子別のコマンド実行が可能なのが特徴。LHMTNと組み合わせると威力を発揮する。

カーソルキーとスペースキーでファイルを選択したのち、ファンクションキーで処理を選択する。各種ファイル処理がビジュアルライクに簡単に行なえる。前出のFDのように、動作の指定をコマンド1文字で直接指定することも可能。ファイルの内容表示、コピー、移動、削除、ファイル名変更、ファイルの実行など機能はほとんどFDと同等だ。

RETキー、SHIFT＋RETキーは、ファイルの拡張子別に起動（実行ファイル）、一覧表示（アーカイブファイル）、内容表示（テキストファイル）といった動作をする。付属のツールを使えば、画面設定や使用するエディタなどをカスタマイズすることができる。

●バージョン:2.27（PC-9801版）、2.27（J-3100版）、1.08（IBM PC版）、1.06（DOS/V版）
●動作条件:PC-9801、J-3100、IBM PC、DOS/V、●登録先　PC-VAN:QLD/OSL1、OSL2
NIFTY-Serve:FQLD2/LIB4、LIB5　アスキーネット:pool msdos、pool ibm　日経MIX:long3/4soft

fo&sy

98 5-1 3.5-1

kodakoda（小高　輝真）、lucifer（國井　淳）

fo（小高氏作）とsy（國井氏作）は、どちらもサイズがきっかり1024バイトという、フロッピーのフォーマットに関するツールだ。

ノート型パソコンでは、RAMドライブやフロッピーなどの容量が限られているため、大きなサイズのプログラムは邪魔だ。そこで、DIETやLZEXEのような圧縮ツールを使ったり、ふだん必要ないファイルをアーカイブしてまとめたりと、ディスクの有効利用にユーザーはいろいろ苦労している。ところが、MS-DOS付属のFORMATコマンドは、ハードディスクのフォーマットなどの機能も備えているため、ファイルサイズが約103Kバイト（MS-DOS Ver.3.3Dの場合）とたいへん大きなものになっている。

foはノート型パソコンでふだん必要となる、フロッピーディスクのフォーマット機能だけに絞って、プログラムサイズのコンパクト化に成功している。

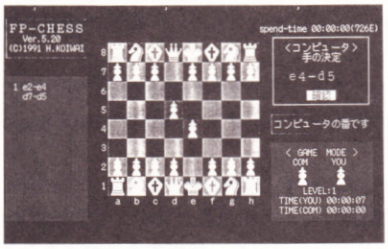
一方のsyは、SYSコマンドのようなシステム転送用のツールで、foと組み合わせてシステムディスクを作成するのに使う。

●バージョン:Rlease 2.0（fo）、2.10（sy）●動作条件:PC-9801●登録先　日経MIX:long3/3soft

FP-CHESS

98 5-1 3.5-1

小岩井　英行



コンピュータと人間が対局するチェスゲーム。ルールはチェスの一般ルールと同じだが、合意、三復同型、50手不変、兵力不足による引き分けはサポートされていない。操作は、マウスとキーボードの両方をサポートしているが、NEC方式のマウスドライバが組み込まれている必要がある。

自分の指し手は動かす駒をクリックして選び、その移動先をクリックすることによって指示する。終点として動けない場所を指示したり、チェックを防がない手、自分からチェックにかかる手を入力するとエラーになる。

自分の手、相手の手とも移動前に確認を求めてくるし、画面左にはそれまでの駒の動きが記録されているので、相手の動きがわからなくなるということはない。

通常のゲームモードのほかにも、詰め将棋のチェス版であるプロブレムをコンピュータに解かせるプロブレムモードがある。人間が設定した4手までのプロブレムを解くことができるが、4手ともなるとかなりの時間がかかるようだ。

●バージョン:5.20●動作条件:PC-9801（16色表示可能機種）
●登録先　PC-VAN:QLD/OSL4　NIFTY-Serve:FGALAM/LIB5　アスキーネット:pool msdos

FRENV

MS-DOS 5-5 3.5-5

Nagai

常駐ソフトなどを組み込む際に生ずるメモリの不連続を防ぐツール。

常駐ソフトやデバイスドライバは、常駐する際に環境変数領域のメモリを解放するものが多い。しかし、これによって得られた空きメモリは常駐しているソフトの間に分散しているため、そのままでは有効利用は難しい。また、バッチ実行時に作業領域として使われるメモリにも同様の問題がある。

FRENVを使うと、MS-DOSのメモリ割り当て方法を変更し、こうした空きメモリを連続した1つの領域にまとめられる。つまり実質的な使用可能メモリが増えるわけだ。また、環境変数領域を使用しないにもかかわらず解放しない常駐ソフトに対して、強制解放させる機能もある。

具体的には、FRENVを/2オプション付きで実行してから常駐ソフトを実行する。その後、FRENVを/Kオプション付きで実行すればよい。バッチ中で常駐させる場合には、最初に/B（または/）オプションを使ってバッチの作業領域を移動させておく。

●バージョン:1.23 ●動作条件:MS-DOS ●登録先　NIFTY-Serve:FLABO/LIB2、FGALST/LIB8

GETSAIL

98 5-1 3.5-1

kawamatasoft

画面に魚が泳ぐスクリーンセーバ。見ているだけでも楽しい。

CRTにずっと同じ画面を表示させていると、画面が変化しても以前の内容がかすかに残ってしまう「焼きつき」の原因となる。これを防ぐのがスクリーンセーバだ。

ユーザーが明示的に起動するか、一定時間キーやマウスボタンの入力がないときに自動的に起動して、画面をたえず変化する画像に切り替える。キー(あるいはマウスボタン)を押せば元の画面に戻る。

GATSAILでは専用のイメージファイルに基づいて、グラフィック画面を使った表示を行なっている。さまざまな金魚が登場するgoldfish.img、魚やクラゲといった海洋生物が登場するoceanic.imgなどのイメージファイルが用意されており、自作のイメージファイルの使用も可能だ。

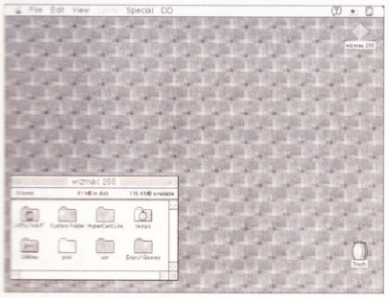
なお、GATSAIL自体には常駐機能はないので、一定時間キー入力がないときに自動的に起動させるためには、KI-Shellなど他の常駐ソフトと組み合わせる必要がある。

●バージョン:1.22 ●動作条件:PC-9801（16色表示可能機種）●登録先　NIFTY-Serve:FGALAM/LIB7

GomTalk7

MAC 5-8 3.5-10

五明　正史



Macintosh用の新OSであるSystem7.0で、日本語を使えるようにするためのパッチ。

System7.0では、ファイルのエイリアスやバルーンヘルプなど、いままでにはないさまざまな機能が実現されている。英語版System7.0は店頭で販売されているパッケージを購入したり、国内のいくつかのBBSからダウンロードして手に入れることができる。

しかし、System7.0の機能をもった日本語システムはまだ登場していない。そこで、これまで使われてきた日本語システム（漢字Talk6.0.7）をSystem7.0上で使えるようにしてしまうのがこのGomTalk7だ。

具体的には、漢字Talk6.0.7をインストールしたディスクに対してSystem7.0を重ねてインストールする。実際のパッチを行なうプログラムは、PreLaunchScriptとLaunchScriptの2本。これらをシステムフォルダ内の適当なフォルダに入れておけば、System7.0で日本語が使えるようになる。

インストールも付属の詳細なインストールマニュアルを読めば簡単にできる。

●バージョン:1.2.1 ●動作条件:Macintosh ●登録先　PC-VAN:MAC/OSL1　NIFTY-Serve:FMACPRO/LIB9
アスキーネット:pool mac　日経MIX:mac.long/3bin

Hextris

未

ヤン（相沢　雅陽）、斎藤　靖、ちりん

六角形で構成されるブロックを積んでいき、横一列に並べることによってブロックを消していくパズルゲーム。

遊び方はテトリスなどの落下型ゲームとほぼ同じで、上から落ちてくるブロックを4、6（あるいはh、k）によって左右に移動させ、5（またはj）で回転、2（またはSPACE）で落下させてブロックを消していく。

しかし、ブロックが六角形で構成されているため、回転によるブロックの向きも6方向ある。なかには回転させることによってかなり形の変わるブロックもあるので、他の落下型ゲームに慣れた人でも、はじめのうちはかなり戸惑うだろう。上位100名までのハイスコアが記録されるので、トップを目指して頑張ってみよう。

また、仕事中にHextrisをしていたら上司が近づいてきた…というときのために、パニック機能がある。これは、他のソフトの画面らしきものをhextris.panというファイルに作っておき、ゲーム中にESCキーを押すとその画面に切り替わるというものだ。

●バージョン:　●動作条件:PC-9801、FMR
●登録先　NIFTY-Serve:FGALAM/LIB4　アスキーネット:pool msdos

HGLOG

MS-DOS 5-5 3.5-6

M.Higashino

PC-VANへアクセスしたときの通信記録（ログファイル）のなかからメッセージを切りだすためのツール。

電子掲示版、SIGやCUGのフォーラム、電子メール、お知らせなどの編集を目的としている。

環境ファイル（hglog.env）に、それぞれのSIGに対するファイル名を指定しておくと、そのファイル名でメッセージが切り出される。また、ボードごとのメッセージリストも同時に作成される。

保存の対象となるボードは、あらかじめ環境ファイルに書いておく。また、実行中に未登録のボードが現われると、保存するファイル名の入力を求め、入力したファイル名は環境ファイルに自動追記する機能がある。

HGLOGの動作中は、メッセージを切り出す様子がカテゴリーごとに色分けされて画面に表示される。SPACEキーでスクロールを止めたり、一定行数ごとに「More」を出すなど、ログ閲覧ツール（ブラウザ）としての機能も備えている。

●バージョン:4.32 ●動作条件:MS-DOS ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3

history

MS-DOS 5-5 3.5-6

Oka（岡　俊行）、Daryl[改変]、他

historyは、MS-DOSの非人間的なコマンドラインの入力環境を一気に改善する常駐ソフトだ。これによって、コマンドラインの編集機能やヒストリー（履歴）機能が使えるようになる。

編集機能は、MS-DOSのコマンドラインをカーソルキーなどを使ってエディタのように編集できるというものだ。もし、打ち間違った文字があったら、そこまでカーソルを動かし、その文字を削除して正しい文字を入力すればいい。ヒストリー機能は、前に実行したコマンドラインの内容を覚えていて、キー操作によって次々にコマンドラインに呼び出してくれるというもの。コマンドラインの編集機能と併せて利用すれば、キーの入力回数を大幅に減らすことができる。

このほかにも、ファイル名の一部を入力するだけで実際のファイル名を表示してくれる補完機能等、数々の便利な機能を実現してくれるhistoryは、MS-DOSユーザーの必需品といえる。

●バージョン:4.48x＋4EMS ●動作条件:MS-DOS
●登録先　NIFTY-Serve:FGALST/LIB7、FLABO/LIB9　アスキーネット:pool msdos　日経MIX:listings.mix/mix

HSB

98 5-1 3.5-1

Masao

MS-DOSが起動している状態から、ハードディスク（あるいはフロッピー）から高速に再起動を行なうデバイスドライバ兼ツール。

リセットボタンを押してから再起動するまでの時間は、SCSI機器などを接続しているとかなりかかるが、HSBを利用すると、メモリや周辺機器の接続などシステム環境のチェックを省いて再起動を行なうため、リセットボタンを押すのに比べてたいへん高速だ。

これ1本でデバイスドライバと通常の実行ファイルを兼ねている。まず、config.sysの先頭でHSBをデバイスドライバとして組み込み、再起動に必要となる各種の環境データを保存する。その後コマンドラインでHSBを実行するか、キー入力（CTRL＋GRPH＋DEL）によって、保存していたデータに基づいて高速な再起動が行なわれる。複数のautoexec.bat/config.sysを切り替えて使ったり、プログラムの暴走によるハングアップからすばやく脱出したい人には必需品だ。

●バージョン:2.6N ●動作条件:PC-9801 ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FGALST/LIB9　アスキーネット:pool msdos　日経MIX:long3/5soft

ish

MS-DOS 5-5 3.5-6

ish（石塚　匡哉）

バイナリファイルをテキストファイルへ変換、またその逆の変換を行なうバイナリ―テキストコンバータ。

BBSの電子掲示板やメールでは、バイナリファイルを直接扱えないことが多い。そこで、バイナリ―テキストコンバータを利用して、テキストファイルに変換（エンコード）して送るという方法をとる。受け取る側は、通信ソフトのログ機能を使って受信したテキストファイルから、元のファイルを復元（デコード）する。

ishは国内で標準的に使われているバイナリ―テキストコンバータで、ノイズなどによるデータの変化（文字化け）があっても復元してしまうエラー訂正機能と、復元の際にishのデータ以外の余計なデータが入っていても復元できるのが特徴。

また、電子掲示板の行数制限などに合わせて、変換の際に複数のテキストファイルに分割することも可能（マルチボリューム）。これを復元する際には、分割されたファイルが順番通りに並べられていなくてもいい。

●バージョン:2.03 ●動作条件:MS-DOS ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FLABO/LIB8、FGALBT/LIB、FFMUSER/LIB1　アスキーネット:pool msdos　日経MIX:listings2/beginner

jgawk

MS-DOS 5-6 3.5-7

Free Software Foundation[原作]、serow（田中　良知）[移植]

主にテキストファイルをさまざまな形に処理するための言語。jgawkは、GNUのawk（gawk）を、serowさんがMS-DOSに移植／日本語化したものだ。

awkは、ファイルや標準入力から読み込んだデータを「スクリプト」と呼ばれる一種のプログラミング言語に従って処理し、標準出力に書き出す。このスクリプトは、ifやwhileといったC言語に似た制御構造をもち、sedなどの他のテキスト処理ツールと比べてより柔軟な処理が可能だ。

ある条件に合った行の一部を出力するとか、書かれた数値を加算するといった簡単な処理ならば「1行野郎」と呼ばれる1行程度の短いスクリプトですむ。

また、その気になれば関数を作って呼び出すなどの凝った処理もできる。入力行の読み込み、欄への分解、変数の初期化などを自動的に行なってくれるため、C言語などを使ってプログラムを作るよりもずっと簡単で、プログラミングの入門用としても優れた言語だといえるだろう。

●バージョン:2.11.1＋2.9 ●動作条件:MS-DOS
●登録先　NIFTY-Serve:FGALAP/LIB7　アスキーネット:pool msdos　日経MIX:long2/pds4

J-Mac98

98 5-1 3.5-1

BANANA Lab.

JUST-PC対応の通信ソフト。JUST-PC回線を持つBBS（マスターネットなど）にアクセスするときに使う。

以前に入力したコマンドを50個まで覚えているヒストリー（履歴）、長いコマンド列にわかりやすい名前をつけられるエイリアス（別名）などの便利な機能を備えている。

しかし、最大の特徴はなんといっても高機能なマクロだ。「AUTO」と呼ばれるこのマクロ言語は、ifやwhileといった制御構造は言うに及ばず、ローカル変数や手続きの再帰呼び出しまで可能など、ほとんどプログラミング言語のレベルに達している。もちろん、オートログインやメッセージの一気読みなどは朝飯前だ。機能が多いだけに、初めからすべてを使いこなすことは不可能に近い。付属のツールを使えば、J-Mac98の前身であるマスターネット専用JUST-PC通信ソフト「チョットちゃん」をシミュレートするマクロが作れるので、最初のうちはこれを使ってアクセスするとよいだろう。

●バージョン:2.30 ●動作条件:PC-9801 ●登録先　マスターネット:テレソフト/OLS

JSHOT

J3100 5-4 3.5-4

haasan（長谷部　恒規）

J-3100シリーズで、日本語/英語のモードを切り換える常駐ソフト。英語モードではIBM PC用のソフトを日本語MS-DOS上で動かすことができる。

J-3100の日本語MS-DOSを使用したまま、IBM PC用のプログラムを実行しようとすると、「表示モードがちがいます」というメッセージが返ってくる。しかし、JSHOTを常駐させていれば、IBM PC用のプログラムの実行時には自動的に英語モードに切り替わるので、そのまま実行することができる。

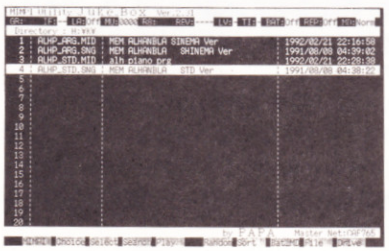
また、SysReqキーを押すことによって、日本語モードと英語モードを即座に切り換えることができる。すでに表示された部分も変化するので、英語モードで使用していて漢字のメッセージが表示されたときなどに、一時的に日本語モードにして内容を確認することが可能だ。独自の機能としては、画面に表示されているテキストをファイルにセーブするスナップショット機能や、日本語モードでIBM PCのプログラムを実行するSIM機能がある。

●バージョン:3.21 ●動作条件:J-3100
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FIBMPRO/LIB8、FQLD2/LIB2　アスキーネット:pool msdos

JukeBox

98 5-2 3.5-2

PAPA



音楽演奏ソフトMIMPIの支援ツール。MIMPI（Ver.3.3以降）が必要。

通常、MIMPIで連続演奏をしたい場合には、バッチファイルを自分で作成しなければならない。また、面倒なパラメータの指定も必要だ。

JukeBoxを使えば、複数曲の連続演奏が簡単にできるだけでなく、ランダム／リピート演奏が可能だ。さらに、MIMPIのパラメータをメニューウィンドウで設定する機能も備えている。

起動すると、カレントディレクトリにある曲のファイル名とタイトルが表示される。↑↓キーでカーソルを移動させ、SPACEキーで曲を選択（複数可）する。曲数が多いときにはスクロールするし、番号やタイトルで検索することも可能だ。f・5（またはRETURN）キーで演奏が開始される。

また、MIMPI連続演奏用のバッチファイルを作成することができる。このバッチは、JukeBoxから呼びすだけでなく、単独で使用することも可能だ。

●バージョン:2.31 ●動作条件:PC-9801 ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL4　NIFTY-Serve:FGALAV/LIB8
アスキーネット:pool msdos　マスターネット:テレソフト/OLS/PC-9801

KI-Shell

98 5-1 3.5-1 | AX 5-5 3.5-6 | J3100 5-4 3.5-4

石野　恵一郎［原作］、広瀬　雄二［改良］、h_tosh（堀田　俊哉）［改良］

MS-DOSの非人間的なコマンドラインの入力環境を一気に改善する常駐ソフト。historyと人気を二分している。

コマンドラインをエディタのように編集できる編集機能、以前に実行したコマンドを呼び出すことができるヒストリー（履歴）機能、長いコマンドラインに名前を付ける別名機能、ファイル名の一部を入力するだけで実際のファイル名を表示してくれる補完機能など、数々の便利な機能を実現してくれる。MS-DOS汎用のhistoryと比べて、各機種別に実行ファイルが用意されているので、よりハードウェアに依存した処理が可能だ。例えば、時計を監視することによるアラーム（目覚し時計）機能やコマンド自動実行機能があり、スクリーンシャッターとしても使える。グラフィック画面表示の制御も可能。改良版では、EMS、UMBを利用するようになっている。

なお、原作者の石野氏は現在サポートは行なっていない。

●バージョン:1.72C（PC-9801、J-3100、AX）●動作条件:PC-9801、J-3100、AX
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3、SPASOCOM/OSL1　NIFTY-Serve:FGALST/LIB7、FFMUSER/LIB4
アスキーネット:pool msdos、pool others　日経MIX:long3/4soft

KTYPE

未

Santa

IBM PC互換のポケットタイプコンピュータHP95LXで漢字を含むファイルを画面に表示するツール。

指定したファイルの内容が、1行当たり30文字（漢字はその半分）で表示される。複数ファイルの指定や、パイプからの入力はサポートしていない。行やページ単位の順／逆スクロール、行マークの設定とそこへのジャンプができるなど、TYPEというよりむしろページャに近い。

また、オプション指定によって仮想的な画面の幅を設定することができる（最大200文字）。この場合は、← →キーで画面が左右にスクロールする。画面の横幅が80文字であることを前提に書かれた文章や表を見るときなどに便利だ。

なお、表示用のフォントとして、2バイト文字についてはJISの16×16ドットフォントが付属している。1バイト文字については、PC-9801の内蔵フォントからフォントファイルを作成するツール（getfnt）を使ってユーザーが作成する。

●バージョン:1.0 ●動作条件:HP95LX ●登録先　日経MIX:long3/4soft

KV

98 5-2 3.5-2 | J3100 5-4 3.5-4 | IBM 5-6 3.5-6

Ken.K（上西　健二）

KVは、画面に一覧表示されたファイル名を選択して、内容の表示や削除、コピーなどを行なう機能と、コマンドラインの編集、ヒストリー機能を兼ね備えた常駐ソフト。

MS-DOSのコマンドラインは、エディタのような挿入、訂正ができない、以前に入力した内容を直前の1回分しか覚えていないなど、いろいろ不便な点があるが、KVを使えばそれを解消することができる。

たとえば、ヒストリー機能というのは、以前に実行したコマンドラインの内容を呼び出して再利用するもの。これとコマンドラインの編集機能とを組み合わせると、コマンドの名前を打ち間違えたとしても、修正するのがずっと容易になる。また、画面に一覧表示されているファイル名をコマンドラインにコピーできるので、ファイル名をいちいちキーボードから打ち込まなくてもすむ。ファイルの内容を表示したり、削除やコピーを行なう機能はKVの内部にコマンドとして備わっており、MS-DOSの同種のコマンドより便利だ。

●バージョン:3.21（PC-9801版）、1.31（J-3100版）、1.06（IBM PC/AT、DOS/V版）
●動作条件:PC-9801、J-3100、IBM PC ●登録先　NIFTY-Serve:FGALBT/LIB6　日経MIX:long3/3soft

led

MS-DOS 5-6 3.5-7

栗田　厚

通信記録（ログファイル）整理の総合環境を提供する汎用ログ管理ツール。

スクリプトファイルに書かれた命令に従って、ログファイルから必要部分を切り出し、データベース化して、自由に閲覧することができる。どのようなホストのログであっても、それに対応したスクリプトを作成すれば処理することが可能だ。

もっとも、NIFTY-Serve のログについてはスクリプト集が配布されており、自分でスクリプトを書く必要はない。これには、会議室やメールごとにログを切り分ける nifty.scr、「知子の情報」で処理できる形に変換する nif2tom.scr、あるキーワードを含む発言を検索表示するスクリプト nngrep.scr などのスクリプトが含まれる。

また、nifty.scr が作成した索引ファイル（発言の表題などが書かれている）を利用して、Vz エディタ上でログファイルの閲覧を行なうためのマクロ（led.def）も用意されている。これを使うと、表題から発言を選んで本文を閲覧することができる。

●バージョン:1.15c ●動作条件:MS-DOS ●登録先　NIFTY-Serve:FGALTM/LIB7　日経 MIX:long2/pds5

LHA

MS-DOS 5-6 3.5-6

吉崎　栄泰

複数のファイルをまとめて、1つのファイルにするソフト（アーカイバ）。まとめる際にファイルの圧縮も行なう。

フリーソフトウェアは通常、プログラム本体以外に、ドキュメントやデータファイル等、複数のファイルで構成されている。これらをそのままやりとりするのはたいへんだ。

そこで、アーカイバを使ってこれらのファイルを1つのファイル（アーカイブファイル）にまとめてからアップロードする。ダウンロードした側は、そのファイルをアーカイバを使って展開すれば、元の複数のファイルを手に入れることができる。ファイルの圧縮機能をもったアーカイバの場合は、アップロード／ダウンロードの時間を節約できるという利点もある。

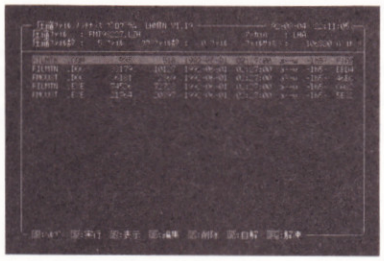
LHA は国内で標準的に使われているが、圧縮率ではアメリカ製のアーカイバにひけをとらない。また、フリーソフトウェアとして無料で使用できることから、国際的にも評価が高い。

●バージョン:2.13 ●動作条件:MS-DOS ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FLABO/LIB8、FGALBT/LIB4、FGALWT/LIB、　アスキーネット:pool msdos　日経 MIX:listings2/beginner

LHMTN

98 5-2 3.5-2　J3100 5-4 3.5-4　IBM 5-6 3.5-6　DOS/V 5-5 3.5-6

K.Ishida（石田　健仁）



アーカイブファイルのメンテナンスを行なうためのツール。アーカイブファイルに対する処理を、ファイル管理ツールのようにビジュアル的に行なうことができる。

LHMTN は、ファイル管理ツールから起動されることを想定して作られており、同じ作者による FILMTN と組み合わせて使うとよい。コマンドラインから単独で起動することもできるが、複数のファイル名やワイルドカードが使えないなどの制限がある。

カーソルキーと SPACE キーでファイルを選択し、ファンクションキーで動作を指定するという方法で、初心者でもアーカイブファイルに対する処理が簡単に行なえる。慣れてきたら、動作の指定をコマンド（1文字）で直接指定することも可能だ。対象となるアーカイバは国内でよく使われている LHarc/LHA、アメリカの BBS でほぼ標準となっている PKZIP などだ。これらのアーカイブファイル内のファイルに対して、展開、削除、内容表示、実行、編集といった処理を行なうことができる。

●バージョン:1.19（PC-9801版、J-3100版）、1.06（IBM PC版）、1.04（DOS/V版）
●動作条件:PC-9801、J-3100、IBM PC、DOS/V ●登録先　PC-VAN:QLD/OSL2　NIFTY-Serve:FQLD2/LIB4、LIB2、LIB5　アスキーネット:pool msdos　日経 MIX:long3/4soft

※LHMTNは3.5インチユーザー版の場合、6番のディスクのそれぞれIBMというディレクトリにIBM PC版、DOSVというディレクトリにDOS/V版が収録されていますので、ご了承ください（これは、LHMTNの場合、IBM PC版とDOS/V版のアーカイブ名が同一であるためです）。

LHQ

MS-DOS 5-6 3.5-6

Qちゃん（晴田　和夫）

アーカイブファイルに対する処理を行なうためのツール。ファイル管理ツールから起動するだけでなく、コマンドラインから単独で起動することもできる。

カーソルキーとSPACEキーでファイルを選択し、ファンクションキーで動作を指定するという方法で、初心者でもアーカイバに関連した処理が簡単に行なえる。慣れてきたら、動作の指定をコマンド（1文字）で直接指定することも可能だ。

大きな特徴として、ディレクトリ内の各ファイルにコメントをつける機能がある。コメントはdirq.datというテキストファイルに保存される。アーカイブにdirq.datが含まれる場合には、それを元にアーカイブ内のファイルに対してもコメントが表示される。

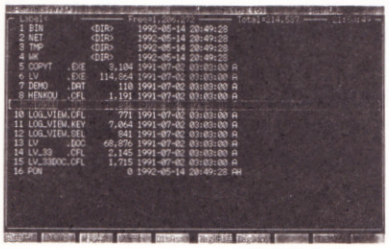
国内標準のLHarc/LHA、アメリカのBBSで標準的に使われているPKZIPなどで作成されたアーカイブファイルを扱える。これらのアーカイブファイル内のファイルに、展開、削除、内容表示、実行、編集などの処理を行なうことが可能。

●バージョン:2.11 ●動作条件:MS-DOS ●登録先　NIFTY-Serve:FGALBT/LIB4　日経MIX:ibm.pc/data

LV

98 5-2 3.5-2　J3100 5-4 3.5-4

KATO



ファイル管理とテキストファイルの閲覧、およびバイナリファイルの編集を行なうツール。

ファイル管理を行なうディレクトリ画面、テキストファイルの閲覧を行なうテキスト画面、バイナリファイルの編集を行なう16進ダンプ画面の3つの画面から構成される。ディレクトリ画面では、ファイル名が一覧表示され、選択したファイルのコピーや実行などが可能。ファイル名とともにテキストの先頭部分を表示させたり、コメントを付けたりすることもできる。

テキスト画面では、スムーズスクロールをサポートしている。行番号表示、文字列の検索、タグの設定とジャンプなどももちろん可能だ。どの画面でも、通常のキーはコマンドラインへの入力となる。そのため、操作はファンクションキーなどの特殊キーや、CTRL（またはGRPH）＋1文字で行なう。こうしたキーの設定や画面表示色は、環境ファイルで自由にカスタマイズすることができる。なお、環境変数にTMPを設定する必要がある。

●バージョン:3.3（PC-9801版）、2.8F（J-3100版）●動作条件:PC-9801、J-3100
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3

LZEXE

IBM 5-6 3.5-7 & MS-DOS 5-6 3.5-7

Fabrice BELLARD

実行ファイルを圧縮するツール。アーカイバとは違って、複数のファイルを1つにまとめる機能はない。ファイルは約半分程度に圧縮されるので、ノートパソコンなどのディスク容量が限られているマシンには便利だ。

LZEXEを使ってEXEファイルを圧縮すると、自己展開型の圧縮ファイルが作成される。これには展開ルーチンが加えられているため、圧縮した状態のまま実行することができる。COMファイルを圧縮することもできるが、それにはまず付属のCOMTOEXEというツールを使っていったんEXEファイルに変換してからLZEXEを使う必要がある。

フランス製のフリーソフトウェアであるため、実行時のメッセージやドキュメントはフランス語で書かれている。また、オリジナルのLZEXEはIBM PCシリーズ専用だ。

しかし、メッセージを日本語化し、PC-9801を含めたMS-DOSマシンで動作できるようにするパッチプログラムが作られている。また、ドキュメントについても日本語訳が作られている。

●バージョン:0.91 ●動作条件:IBM PC、MS-DOS（パッチによる）
●登録先　NIFTY-Serve:FEPSON/LIB6　アスキーネット:pool msdos

MAG

98 5-1 3.5-1

Sam

MAG フォーマットの画像データを画面に表示するローダと、画面に表示された画像から MAG フォーマットの画像データファイルを作成するセーバとしての機能をあわせもつ画像ツール。

MAG フォーマットは、国内の BBS で使われていた画像形式である MAKI フォーマットの上位バージョンで、簡単なアルゴリズムながら MAKI フォーマットよりもファイルが小さくなる(高圧縮率)という特徴をもっている。

また、16 色だけでなく 256 色の画像にも対応しており、640 × 400 ドット以外の大きさの画像ファイルも扱える、ヘッダ部分に作者名とコメントを入れられるなど MAKI フォーマットよりも柔軟性の高いものになっている。なお、MAG は、MAG フォーマットの画像だけでなく、MAKI フォーマットの画像を表示することもできる。

MAG フォーマットの画像を作成するには、MAG フォーマット対応のグラフィックエディタ MPS を使うか、いったん画面に画像を表示させた後、MAG のセーバ機能で取り込む。

●バージョン:1.15 ●動作条件:PC-9801(V30 以上の CPU)
●登録先　PC-VAN:98CLUB/OSL2　NIFTY-Serve:FGALAV/LIB5　日経 MIX:long3/1soft

maj

MS-DOS 5-6 3.5-6

魔女、FQLD

バイナリファイルとテキストファイルの相互変換を行なうツール(バイナリ—テキストコンバータ)。

BBS の電子掲示板やメールでは、バイナリファイルを直接扱えないことが多いので、バイナリ—テキストコンバータを利用して、一度テキストファイルに変換(エンコード)してから書き込むという方法がとられる。受け取る側は、通信ソフトのログ機能でファイルに落としたテキストファイルから、元のバイナリファイルを復元(デコード)する。

MAJ は PC-VAN/NIFTY-Serve の QLD 系の SIG、フォーラムで使われているバイナリ—テキストコンバータ。MAJ でエンコード、MAJ2 でデコードを行なう。

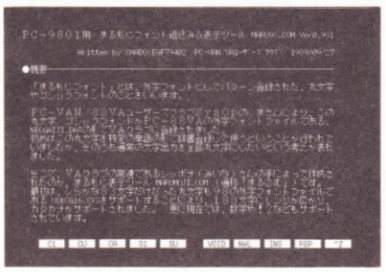
ish と同様にノイズなどによるデータの変化(文字化け)があっても復元してしまうエラー訂正機能をもっている。さらに、変換後のテキストファイルの行の順番がばらばらでもきちんと復元できるため、アップロードの際に行が欠落した場合でも、その部分を後で追加しておけばよい。

●バージョン:1.20 ●動作条件:MS-DOS ●登録先　PC-VAN:QLD/OSL1/2　NIFTY-Serve:FQLD1/LIB1

MARU98

98 5-2 3.5-2

SHADO、くまさん、みいな[原作]



98 のひらがな、カタカナなどのフォントを変更して表示する常駐ソフト。

常駐の際にフォントファイルを読み込んで、利用者定義可能文字(外字)に登録する。常駐中は、ひらがな、カタカナ、数字、一部の記号を、対応する外字にすりかえて表示する。フォントファイルとして、まる文字フォント(maru.fnt)とゴシックフォント(gotic.fnt)などが付属している。

表示が変更されるのは、MS-DOS の文字出力(int 29h)を利用して出力される文字だけだが、MS-DOS の内部コマンドや通常のツール、フリーソフトウェアの通信ソフトなどの表示は、ほとんどこれに該当する。

一方、市販の通信ソフトやエディタなど、画面表示の高速化のために、MS-DOS を介さず直接文字出力を行なっているソフトではまる文字にはならない。

xscript と組み合わせる場合には、MARU98 を後から常駐させてはならない。かなをペーストしたつもりで、ほかの人には見えない外字をペーストしてしまうからだ。

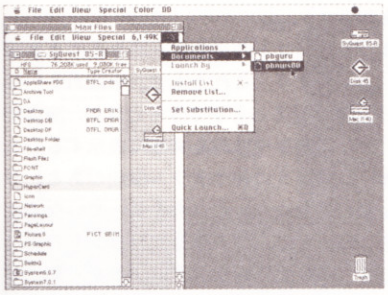
●バージョン:0.931 ●動作条件:PC-9801
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FGALAM/LIB6　アスキーネット:pool msdos

1992

MaxFiles

MAC 5-8 3.5-10

hara（原　啓介）



デスクアクセサリ型のディスクユーティリティ。Finder に近い環境でファイルを扱える。

起動すると、ウィンドウ上部にアップルメニューを含むメニューバーが表示される。その際、左に表示される数字は、現在の空きメモリ容量だ。

メニューバーの下には、Finder で「View by Name」を選んだときのように、ファイル名、ファイルサイズ、更新日時などが一覧表示される。MaxFiles ではこれに加え、ファイルの Type と Creater も表示されるので、いちいち Get Info で調べる必要がない。

ファイルのコピー、移動、削除、実行、リネーム、フォルダの作成など、Finder にいるときとほぼ同じ感覚でファイルを扱うことができる。もちろん、Shutdown や Restart も可能だ。

また、System7.0 並みの高機能なファイル名検索機能を備えており、検索機能の貧弱な System6.0.7 などでファイルを検索するときに重宝する。

●バージョン:1.1 ●動作条件:Macintosh ●登録先　PC-VAN:MAC/OSL1　NIFTY-Serve:FMACPRO/LIB5　アスキーネット:pool mac

MenuOne

MS-DOS 5-6 3.5-7

めでぃあ倶楽部

メニュー操作によって各種バッチファイルを起動するメニューソフト。

1 画面に最大 20 個のメニューが一覧表示される。カーソルキーやテンキーでカーソルバーを移動させ、RETURN キーでそのメニューを実行する。PC-9801 の場合はマウスによる操作も可能だ。

各メニューに対して、簡単に何をするものなのかを説明するヘルプを付けることができ、メニュー一覧の下にカーソル位置のメニューのヘルプが表示される。

メニューの内容を設定するには、メニュー用設定ファイルを編集する必要がある。環境変数 PATH に設定されたディレクトリ中のバッチファイルから、設定ファイルを自動生成する機能があるので利用するとよい。

また、選択ミスを防ぐために、簡単なパスワード機能がある。各パスワードに対して使用可能なメニューを設定できるので、利用者のレベルを管理することができる。

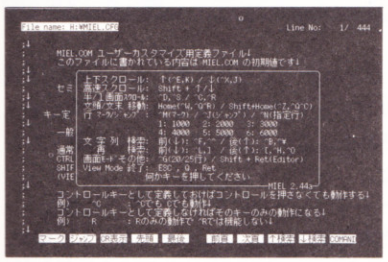
このほかにも、スクリーンセーバやタイマなどの機能も備えている。

●バージョン:2.9 ●動作条件:MS-DOS ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　アスキーネット:pool msdos

MIEL

98 5-2 3.5-2

出射　厚（A.Idei）、Paci（清水　洋平）



テキストファイルの内容を高速に表示するページャ。FD の内蔵ビューアを独立させて、機能を追加したものだ。

コマンドラインでファイル名を 1 つだけ指定して起動すると、すぐにその内容が表示される。複数のファイル名やワイルドカードを使ったときにはファイル選択モードになり、画面にファイル名一覧が表示される。カーソルを動かして内容を表示したいファイルを選択すれば View モードに移る。

ファイル選択モードで特徴的なのは、カーソル位置にあるファイルの先頭部分が表示されることだ。カーソルを動かすと次々にその内容が切り替わっていく。つまり、View モードで表示する前にファイルの内容が確認できるわけだ。また、LHA によるアーカイブファイルの内容を、LHA で展開することなく閲覧することが可能になっている。

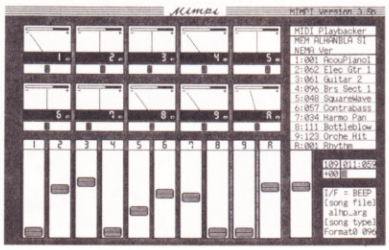
付属の MIELCUST というツールを使えば、キー操作やオプションの既定値を自由にカスタマイズすることができる。

●バージョン:2.44a ●動作条件:PC-9801 ●登録先　NIFTY-Serve:FGALBT/LIB5　アスキーネット:pool msdos

MIMPI

98 5-2 3.5-2

[斎　藤][改変]、おんちゅう[原作]



MIDI 音源用に作られた音楽データを演奏する音楽演奏ソフト。

「ミュージ郎 2」など現在市販されているほとんどの MIDI ソフトの音楽データをそのまま演奏することができ、標準 MIDI ファイルにも対応している。つまり、これ 1 本で、市販あるいは BBS にアップロードされた各種の MIDI 用音楽データを演奏させることができるわけだ。演奏中は、キー操作によってボリュームの調節などが可能だ。また、画像や歌詞を画面に表示することもできる。変わったところでは、キーボードをドラムセットのように使うドラム機能がある。音楽を聞くには MIDI 音源と MIDI インターフェイスが必要だ。しかし、これらを持っていなくても、FM 音源やビープ音を使って演奏することができる。もっとも、この場合はサウンドの質はそれなりに落ちてしまう。MIMPI 用の支援ツールとして、連続演奏やランダム演奏を可能にする JukeBox などが作られているので利用したい。

●バージョン:3.5b ●動作条件:PC-9801
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL1　日経 MIX:long2/pds4　マスターネット:テレソフト/OLS/PC-9801

MOREENV

MS-DOS 5-6 3.5-6

たなか・すすむ（田中　享）

子プロセスで起動する COMMAND.COM の環境領域を確保する常駐ソフト。

PATH をはじめ、常に設定が必要な環境変数はかなりの数にのぼる。そこで、あるソフトでだけ必要な環境変数は、そのソフトを起動するバッチファイルの最初で設定し、ソフト終了後に解除するようにするとよい。

しかし、こうしたバッチをファイラなどから子プロセスで起動しようとすると、「環境のためのメモリが足りません」というメッセージが表示されることがある。しかも、子プロセスのコマンドラインで、手で SET コマンドを使うとちゃんと設定できるのだ。

これは、システムが環境領域を拡大できる状態にあるのに、バッチの管理領域がそれを邪魔しているために起こる問題だ。

MOREENV を常駐させると、それ以後 COMMAND.COM が起動されるたびに 1024 バイト（変更可）の環境領域が自動的に確保される。つまり、バッチファイル自体はなにも変更することなく、安心して環境変数を設定することができるというわけだ。

●バージョン:3.01 ●動作条件:MS-DOS（Ver.3.2 以降）
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FGALST/LIB8

MS

MS-DOS 5-6 3.5-8

K-CRAFT（笠松　勝徳）

メモリの利用状況を表示するツール。

メインメモリ/UMB/EMS/XMS/BMS の各メモリがどのように使われているかが表示される。たとえば、メインメモリや UMB の場合、各メモリブロックの開始アドレス、サイズ、オーナー名、パラメータ、フックされたベクタなどが表示される。これを見れば、どんな常駐ソフトがどういう順番で組み込まれているのかがわかるわけだ。

EMS については、EMS マネージャのバージョンやページフレームのセグメントとともに、ハンドル番号、ハンドル名、使用ページ数、使用サイズなどが表示される。XMS や BMS も同様だ。

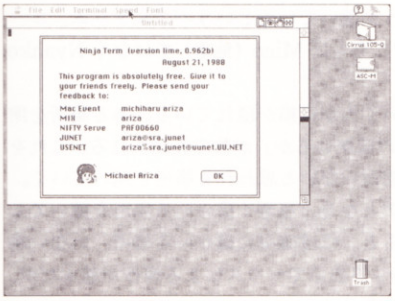
このほか、デバイスやバッファの使用状況や、オープンされているファイルに関する情報など、メモリに関するさまざまな情報を表示してくれる。変わりだねとしては、常駐ソフトやデバイスドライバがフックしているベクタについて、「Int67h : LIM EMS」のようにひとつずつ解説してくれる機能がある。解説データを自分で作成することも可能だ。

●バージョン:3.14 ●動作条件:MS-DOS ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FGALST/LIB8

NinjaTerm

MAC 5-9 3.5-11

有座　道春



ダントツの人気を誇る日本語通信ソフト。国内の Macintosh ユーザーのほとんどが使っているのではないかと思われる。

機能はシンプルで、基本的なテキストの送受信のほかには、XMODEM によるファイル転送、バックスクロールの機能がある程度だ。もっとも、より高度なファイル転送はそれぞれのプロトコル対応のデスクアクセサリ（rzDA など）を併用すればいい。また、Autolg-J というデスクアクセサリと併用すれば、オートログインも可能になる。

MultiFinder 上で使う場合には、あらかじめ NinjaTerm にデスクアクセサリを直接組みこんでおく必要がある。Font/DA Mover で「開く」のボタンを押す際に Option キーを押すと、Font/DA 以外のファイルもファイル選択ダイアログに表示されるので、NinjaTerm を選択してデスクアクセサリを組み込めばよい。表示されるウィンドウサイズは、横方向は固定だが、縦方向はサイズボックスをドラッグして変更することができる。

●バージョン:0.96.2 ●動作条件:Macintosh
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL13　アスキーネット:pool mac　日経 MIX:listings.mix/mix

NOTEDISK

98N 5-2 3.5-2

Benjamin（清水　理史）、H.Haru（長谷　春礼）

98 ノートの RAM ドライブ用メモリの未使用領域を、RAM ディスクとして使えるようにするデバイスドライバ。

NOTEDISK によってできる RAM ディスクの容量は 70K バイトから 278K バイト程度（機種や製造時期などにより異なる）と少ないが、内容は電源を切ってもバッテリによって保持されており、RAM ドライブよりも高速にアクセスできるので、よく使うツール類を入れておくとよい。

NTDSKEXT というツールを併用すると、NOTE メニューの領域などを NOTEDISK に割り当てることができ、容量が 8K バイト～32K バイトほど増加する。また、レジューム用の RAM を RAM ディスクとして使用する NVDISK というデバイスドライバもある。

ただし、RAM ドライブ用の RAM の使われていない領域を用いるという「裏技」的な使い方をしているので、十分注意して使用する必要がある。たとえば、RAM ドライブを 2DD 互換として使うと、NOTEDISK による RAM ディスクの内容が破壊されてしまう。

●バージョン:1.6 ●動作条件:PC-9801N、NS、NV、NS/E、NC ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3
NIFTY-Serve:FGALST/LIB8　アスキーネット:pool msdos　日経 MIX:long2/pds5

NSCTRL

98N 5-2 3.5-2

dotera（池上　芳実）

画面表示などをキー操作によって変更する 98 ノートシリーズ用（NS/E、NC では機能制限あり）の常駐ソフト。

液晶画面の反転、バックライトのオン／オフ、階調表示の切り替え、内蔵モデムの電源オン／オフ、内蔵ハードディスクのモーター停止、ブザー音量調節など様々な設定を行なうことができる。

バッテリを長持ちさせるためには、明るい場所ではバックライトを消して使い、内蔵モデムを使用しないときは電源を切る。内蔵ハードディスクのモーターも、一度アクセスしたあとはしばらく回り続けるので、使わないときには積極的に停止させるとよい。

こうした設定は NOTE メニューを呼び出しても行なえるが、はなはだ面倒だ。NSCTRL を使えば「CTRL ＋ GRPH ＋ 1 文字」というキー操作によって即座に設定を変更できる。

また、キー操作ではなく、オプション付きで NSCTRL を実行することによって設定を変更することもできる。こちらの方法は、バッチファイル中で設定を変更したいときに使うとよい。

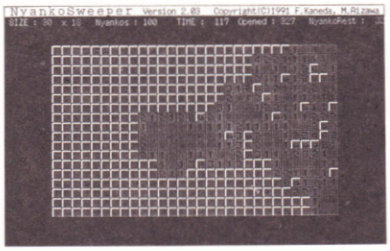
●バージョン:1.52 ●動作条件:PC-9801NS、NV、NS/E、NC ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3
NIFTY-Serve:FNEC98/LIB1　アスキーネット:pool msdos　日経 MIX:long2/pds4

1992

NSweep

98 5-2 3.5-2

Mackun[原作]、相沢　雅陽（ヤン）[移植]



画面上に伏せられている場所を、猫に当たらないように開いていくというパズルゲーム。ルールはMS-Windows用のMine Sweeperと同じだが、こちらはMine（地雷）ではなくNyanko（猫）が使われているだけにコミカルな印象を与える。

最初はすべての場所が伏せられており、そのうちのいくつかに猫が隠れている。ある場所を開き、そこに猫がいなかった場合には、「その周りに何匹の猫がいるか」が数で表示される。これをもとに、猫がいると思われる場所にはマークを付け、猫がいないと思われる場所を開いていく。

猫のいる場所にすべてにマークを付けられればクリアとなる。運悪く猫のいる場所を開いてしまえば猫の鳴き声がしてゲームオーバーだ。慣れてくると、ほぼ確実に猫がいる場所、いない場所を周りの数字から見分けられるようになる。グラフィック表示でマウスによる操作が基本だが、テキスト表示でキーボードによる操作も可能になっている。

●バージョン:2.03 ●動作条件:PC-9801 ●登録先　NIFTY-Serve:FFMUSER/LIB5、FGALAM/LIB5

OSAKA

MS-DOS 5-6 3.5-7

JJ1MYA（関　勝成）

OSAKAちうフィルタがあるちうわけや。フィルタちうのは、標準入力（通常はキーボード）から入力した文字に「なんらかの処理」を行なって標準出力（通常は画面）へ出力するソフトのことや。実際には、リダイレクト（<）を使ってファイルから読み込むことが多いちうわけや。

ではOSAKAは一体どのような処理をするのやろうか…とここまでの文章を読めばおわかりかと思うが「標準語から関西弁への変換を行なう」のである。

実際には、osaka.dicという辞書に、

あなた　　→ あんさん
ありません → おまへん

など約260の単語が羅列してあり、この辞書に基づいて言葉を置き換えているだけなのだが、単語の変換のセンスが絶妙だ。真面目に書かれたドキュメントも、OSAKAを使えば漫才の世界。

このほかにも「現代思想辞書」や「岐阜弁」やらなんやらの辞書が作られとる。ほならまたお目にかかりまひょ。

●バージョン:1.0 ●動作条件:MS-DOS
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL10　NIFTY-Serve:FGALAM/LIB6　アスキーネット:pool msdos

PACKBACK

MS-DOS 5-6 3.5-8

山崎　和夫

ハードディスクのバックアップツール。アーカイバと組み合わせて使う。

バックアップをとりたいディレクトリから下のディレクトリへと下降していき、LHAなどのアーカイバ（選択可能）を内部から起動することによって、各ディレクトリごとにファイルを1つにまとめ、フロッピーディスクにコピーする。ファイルをそのままフロッピーにコピーするのと比べて少々時間はかかるが、圧縮されるためフロッピーの枚数を少なく抑えることが可能だ。

また、専用のフォーマットのディスクを使う方式（オーシャノグラフィなど）と比べて、一部分だけをリストア（復元）する作業などが手軽に行なえる。

PACKBACKにはリストアのための機能は特に用意されてなく、手作業で行なうことになる。部分リストアならば、必要なファイルが入っているアーカイブファイルを展開するだけだ。また、PACKRESTというリストア用のツールが作られており、全リストアを行なうときにはこれを利用するとよい。

●バージョン:2.27 ●動作条件:MS-DOS
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FGALBT/LIB4　アスキーネット:pool msdos

PC98JAN

98 5-2 3.5-2

nonchan soft（松井　則文）

コンピュータと一対一で対決する麻雀ゲーム。

表示の一部に利用者定義可能文字（外字）を使用しているが、起動時に外字ファイルを読み込まないので、あらかじめなんらかの方法で外字を設定しておく必要がある。通常は16色アナログ表示を行なうが、起動後の設定によって白黒液晶画面用のモノクロ表示にすることも可能。

ルールは一般の2人麻雀と同じだ。ゲーム中に使用するキー（A～N、1～5）は、常に画面に表示されるているので操作は難しくない。TIMEがマイナスになるか、8局が終了すればゲームオーバーとなり、そのゲームの得点推移がグラフ表示される。

特別機能として、配牌直後の手牌の交換や表ドラの交換、ラス牌の交換が可能だ。

また、仕事中にPC98JANをしていたら上司が近づいてきた…というときのために、パニック機能を備えており、qキーを押すことによってDIRコマンドの出力らしき画面（pc98j2.pnc）が表示される。

●バージョン:0.91 ●動作条件:PC-9801（VM以降）●登録先　PC-VAN:QLD/OSL4　NIFTY-Serve:FGALAM/LIB5

PCM

98 5-2 3.5-2

CR-X

Macintoshなどでサンプリングされた PCM/ADPCMデータを PC-9801で再生するツール。

特別なハードを必要としない（ビープ音を利用）にもかかわらずリアルな再生が行なわれる。複数のデータを連続して再生することも可能だ。

Macintoshだけでなく、FMTOWNSやX68000、サウンドオーケストラ用のデータを再生することもできる。こうしたデータは、サンプリング周波数、ヘッダの有無、PCMかADPCMかなど、各機種によって形式が微妙に異なっており、正常な再生を行なうためには、データの形式と周波数をオプションで指定しなければならない。

しかし、実行時にいちいちオプションを設定するのは面倒なので、データの先頭にオプションを埋めこんだり、拡張子に対するオプションを環境変数や設定ファイルで定義できるようになっている。また、他の形式のデータをMacintosh用のデータに変換してファイルに出力する機能も備えている。

●バージョン:1.01 ●動作条件:PC-9801 ●登録先　NIFTY-Serve:FGALAV/LIB4

PRT

98 5-2 3.5-2

TOYO（豊嶋　久道）

テキストファイルをさまざまな書式で印刷するためのツール。

通常の印刷のほかに、縮小印字や縦書き、2段組み、袋綴じ印刷、両面印刷なども可能で、ログファイルやプログラムのソースファイル、ドキュメントなどの印刷に重宝する。プリンタはPC-PR系、NM系、ESC/P系のものが利用できる。

操作はメニュー選択方式で、まず「ファイル」メニューを選択すると、カレントディレクトリのファイルが一覧表示される。ここでは、カーソルキーを使ってカーソルを移動させ、SPACEキーで印刷したいファイル（複数可）を選択するなど、ファイラを使うのと同じ感覚で操作することができる。

続いて「スタイル」メニューで、1行文字数や1ページ行数、文字間隔や改行幅、マージンなどの印刷スタイルを設定し、「印刷」メニューで実際の印刷を行なう。

なお、機能拡張版であるPRT++がシェアウェアとして配布されており、装飾印刷などが可能になっている。

●バージョン:4.32d ●動作条件:PC-9801
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FGALAP/LIB6　アスキーネット:pool msdos

QK!

MS-DOS 5-6 3.5-8

ESTO（小木曽　陽一）

MS-DOSの文字表示を高速化する常駐ソフト。ほとんどのMS-DOSマシン(int 29hをサポートしている機種)で動作する。

QK!はメモリに常駐して、MS-DOSの文字出力ファンクションコールを、高速なint 29hにバイパスする。これによって、MS-DOSのDIRコマンドやTYPEコマンドをはじめ、MS-DOS汎用に作られた各種ソフトの文字表示がかなり高速化される。

同種の常駐ソフトとして、同じ作者によるQKもある。両者の違いは、QKがリダイレクトやCTRL-S/CTRL-Cなどをチェックして処理するのに対し、QK!のほうはチェックを省いて高速化をはかっている点だ。

つまり、QK!を常駐させていると、画面表示をリダイレクト(>)してファイルに記録したり、パイプ(|)を使って他のコマンドへの入力とすることができなくなるので注意してほしい。

xscriptと組み合わせる場合、QK!をxscriptより前で常駐させてはならない。文字出力が保存されなくなるからだ。

●バージョン:1.02 ●動作条件:MS-DOS ●登録先　NIFTY-Serve:FGALST/LIB7　アスキーネット:pool msdos

QKN

98 5-2 3.5-2

KINN

画面に表示された画像に加工を加えるツール。グラフィックの表面／裏面の画像に対してさまざまな効果を加えたり、関連ツールを起動することができる。

カーソルキーやファンクションキーなどで操作するビジュアルモードと、コマンドラインでオプションを指定する方法がある。

画像に対する加工は、画像情報を失わない（いつでも元に戻せる）ものと、失ってしまうものに大別することができる。前者としては、ガラス加工、KN加工、回転、画像ロール、衛星加工などが用意されており、後者としてはカット、コピー、拡大、縮小が用意されている。また、どのように画像を変換したかの記録（加工ログ）をとり、終了時にそれらの加工を逆順にたどる（元の画像を復元する）バッチファイルを作成する機能がある。

この機能を利用すると、複雑に加工（画像情報を失わないもの）した画像をアップロードし、見せたい人にだけバッチファイルを渡すという使い方が可能だ。

●バージョン:0.10F ●動作条件:PC-9801（16色表示可能機種）●登録先　NIFTY-Serve:FQLD1/LIB2、FQLD2/LIB5

Quick-VAN

98 5-6 3.5-8 & J3100 5-6 3.5-8 & IBM 5-6 3.5-8

KAISER、TAMOYAN、paku、s.kasai

ファイル転送プロトコルQuick-VAN対応のファイル転送ツール。

Quick-VANは、PC-VANで採用されているファイル転送のプロトコルで、ライブラリシステムでのアップロード／ダウンロードに使用することができる。

古典的なプロトコルであるXMODEMに比べて転送効率が飛躍的に向上しており、受信中に回線が切断されたような場合にファイルの途中から転送を再開できる、受信するファイル名を指定する必要がないなどの便利な機能を備えている。

しかし、通信ソフト自体にQuick-VANによるファイル転送機能を持つものはほとんどない。そこで、転送の際にはこのソフトのようなQuick-VAN対応のファイル転送ツールを通信ソフトのなかから起動することになる。

起動には、通信ソフトのMS-DOSコマンド実行機能を利用するが、一部の市販ソフトやフリーソフトウェアの通信ソフトには、こうしたファイル転送ツールを自動的に起動する機能があるのでその手間が省ける。

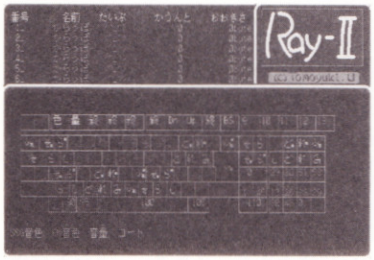
●バージョン:1.10 ●動作条件:PC-9801、J-3100、IBM PC ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL1

1992

RayII

98 5-2 3.5-2

ともゆき



FM 音源を利用したキーボード演奏／再生とグラフィック表示を行なう AV ソフト。FM 音源がない場合にはビープ音で代用できる。

簡単な使い方は、98 のキーボードを鍵盤とみなして演奏するというものだ。(3 音までの) 和音が出せ、音量や音色も変化させることができる。また、演奏を記録しておいて後で再生したり、データファイルに保存することも可能。指使いに自信のない人は、先に音程だけを間違えないように入力しておき、後でリズムをつけていくワンキー機能を使うとよい。

グラフィック機能では、音楽に同期させて画面を切り替えたり、画面の一部を転送することによって簡単なアニメーションを行なうことも可能だ。グラフィックの圧縮／展開は、付属の MU というツールによって高速に行なわれる。

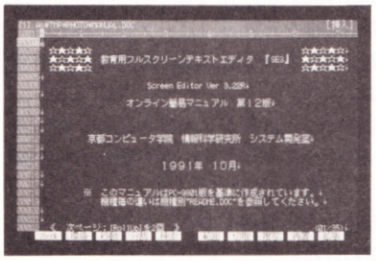
このほか、ミュージックマクロランゲージ (MML) で書かれた曲データと Ray 用のデータのコンバートを行なう M2R/R2M などが付属している。

●バージョン:2.01 ●動作条件:PC-9801 ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL4　NIFTY-Serve:FGALAV/LIB4、LIB8

SE3

98 5-2 3.5-2　98N 5-2 3.5-2　J3100 5-4 3.5-4　DOS/V 5-6 3.5-8

京都コンピュータ学院 JURO（芦達　剛）



情報処理教育用に開発されたスクリーンエディタ。フリーソフトウェアとして公開されたため、現在では数多くの人に使われている。高速・高機能ながらサイズが 22K バイト弱（圧縮されている）とコンパクトで、ノート型パソコンで使うにはうってつけだ。

操作は、MIFES や Vz エディタなどと同じくオーバーラップ型のウィンドウ内のメニューを選択する方式で、複雑なキー操作を覚える必要はない。同時に編集できるファイルは 2 つ、1 行は 255 バイトまで、1 つのファイルは 32767 行までという制限があるが、普通にテキストファイルを編集している限りではあまり問題にはならないだろう。編集中の内容をすべてメモリに展開するオンメモリエディタだが、EMS に対応しているため巨大なファイルも扱うことができる。

オリジナルの PC-9801 版のほか、液晶画面に対応した 98 ノート版、IBM PC/AT 版、DOS/V 版、FMTOWNS 版などさまざまな機種に移植されている。

●バージョン:3.22（PC-9801 カラー版、PC-9801 モノクロ版、J-3100 カラー版、J-3100 モノクロ版）、3.23（DOS/V カラー版、DOS/V モノクロ版）●動作条件:PC-9801、J-3100、DOS/V
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL8　NIFTY-Serve:FGALAP/LIB5　アスキーネット:pool msdos

SIM

未

T.Tanaka

98 で IBM PC 用のソフトを動作させる常駐ソフト（シミュレータ）。ある種のポップアップソフトや、カーソルキーやファンクションキーを使ったソフトの一部が 98 で動作するようになる。

利用者定義可能文字（外字）を使って IBM PC と同じ文字セットを表示できるほか、日本語表示も可能。これらは、実行中に切り替えることができる。日本語入力 FP を使った漢字の入力も可能だが、ソフトによっては対応できないものもある。

SIM だけでは処理しきれないソフトについては、実行ファイルに修正（パッチ）を加える必要がある。具体的には、付属のツールを使って、DIF ファイルの情報をもとに実行ファイルを直接書き換える。DIF ファイルを自分で作るのはたいへんだが、各種ソフト用の DIF ファイルが、PC-VAN（NEC98）などにアップロードされているので利用するとよい。

このほか、キー操作によるリセット、スクリーンセーバ、キーボードロックなどの機能も備えている。

●バージョン:10x ●動作条件:PC-9801
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FSEGA/LIB4　アスキーネット:pool msdos

Space Destroyer

98 5-3 3.5-3

Ascomoid

8方向スクロールタイプのシューティングゲーム。

太陽系最強の戦闘システム「ANUBIS」の試作機を駆って、敵艦隊の旗艦を破壊に向かう。起動直後のデモ画面が凝っているので、ゲームを始める前にしばし見入っているのもいいだろう。

襲いかかる敵の攻撃を上下左右にかわしつつ、弾を撃って敵を破壊する。敵の攻撃を受けるとシールドが少しずつ減少していき、シールドがなくなるとゲームオーバーだ。やられることなく一定時間攻撃に耐えると、次の面へ移動する。また、ある敵を倒すとパワーアップアイテムが出現する。これを取ると、武器がレーザーや自動追尾弾に変化したり、画面上の敵を一瞬のうちに破壊する、シールドが回復する、ボーナス点が入るなど、さまざまなパワーアップが行なわれる。

通常はキーボードを使って操作するが、FM音源ボードに接続するジョイスティックにも対応している。

●バージョン:0.64 ●動作条件:PC-9801（16色表示可能機種）
●登録先　PC-VAN:98CLUB/OSL8　NIFTY-Serve:FCGAMEP/LIB3　アスキーネット:pool msdos

SPEAK

98 5-7 3.5-8 & IBM 5-7 3.5-8 & PS/55 5-7 3.5-8

KAISER

Macintoshなどでサンプリングされた PCMデータを PC-9801や IBM PCで再生するツール兼常駐ソフト。特別なハードを必要とせずに、リアルな再生が行なわれる（ビープ音を利用）。

単なる PCMデータの再生ならば、他のデータ形式にも対応した PCM（CR-X氏作）を利用することもできるが、SPEAKの特徴は常駐モードにある。

常駐モードでは、98や IBM PCの味気ないベル音の代わりに、あらかじめ読み込んでおいた PCMデータを再生することができる。つまり、チャイム音などをサンプリングしたデータを指定しておけば、ベル音の代わりにチャイムが鳴るわけだ。

また、画面に表示される文字列に対して PCMデータを再生する機能もある。エラーメッセージが表示されたら「だめでーす」と言わせることができるわけだ。

こうした PCMデータはかなりサイズが大きいので、常駐モードでは EMSにデータを保持する機能を使うとよい。

●バージョン:1.4 ●動作条件:PC-9801、IBM PC/AT、PS/55
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FGALAV/LIB4　アスキーネット:pool msdos
日経 MIX:long2/pds3

SSe

98 5-2 3.5-2

Duke

自転する地球が画面に表示されて動き回るスクリーンセーバ。

CRTに長時間同じ画面を表示させていると、画面にその画像が残ってしまうことがある。この現象を「焼きつき」というが、これを防ぐのがスクリーンセーバだ。

一定時間キー入力や文字出力がないときに自動的に起動して、画面をたえず変化する画像に切り替える。キーを押せば元の画面に戻る。ただし、復元されるのはテキスト画面だけで、グラフィック画面に表示されていた画像は元に戻らないので注意。

また、画面に常に現在時刻を表示する機能も備えている。

スクリーンセーバが起動するまでの時間や、現在時刻を表示するかどうかは、起動時のオプションで設定することができる。常駐後に設定を変更することも可能だ。

なお、テキスト画面だけを利用したスクリーンセーバ SShが付属している。こちらは、画面に表示するメッセージ（顔）をユーザーが設定することが可能だ。

●バージョン:0.3 ●動作条件:PC-9801 ●登録先　NIFTY-Serve:FLABO/LIB1

suna

98 5-2 3.5-2

たいにゃん

画面に「砂の嵐」を表示するジョークソフト。

98のディスプレイ画面が、放送終了後のTVのような画面（砂の嵐）に変身する。また、FM音源に対応しており、FM音源内蔵機種やFM音源ボードを入れた98では、リアルなノイズ（?）を聞くことができる。なにか文字を入力すると元の画面に戻る。

もともと、見る人を驚かすためだけに作られたジョークソフトなのだが、画面が常に変化しているのでスクリーンセーバとして使うこともできるだろう。

CRTにずっと同じ画面を表示させていると、輝度の高い部分が画面に残ってしまう「焼きつき」の原因となる。これを防ぐのがスクリーンセーバだ。

sunaは常駐ソフトではないから、単体ではキー入力がないときに自動的に起動することはできない。そこで、KI-Shellのように、「一定時間キー入力がないときに他のソフトを自動的に起動する機能」を持つ常駐ソフトと組み合わせる必要がある。

●バージョン:　●動作条件:PC-9801 ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL6　アスキーネット:pool msdos

Super Depth

未

alty（森　栄樹）、tacox（二木　康夫）

戦艦を駆って敵を破壊するシューティングゲーム。

最初の面は、昔なつかしい潜水艦ゲーム。戦艦を操作して潜水艦が打ち出す機雷を避けながら爆雷を落としていく。この面をクリアすると海上面となり、迫り来るヘリコプターや戦闘機相手にミサイルで応戦する。さらに場面は宇宙へと移動し、宇宙戦艦となった自機を操作して迫り来るUFOをたたき落とすのだ。その先には、「お約束」の巨大ボスが待っている。

魚の形をした敵を倒すとパワーアップアイテムが出現する。これを取ることによって、スピードアップ、爆雷、ミサイルの数や威力が増すなど、さまざまなパワーアップが行なわれる。

通常はキーボードを使って操作するが、FM音源ボードに接続するジョイスティックにも対応している。

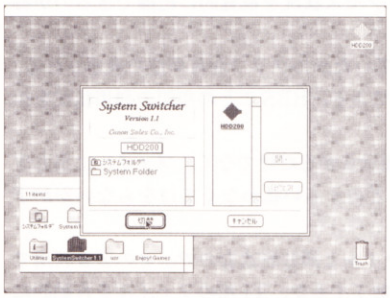
全12面をクリアすると、登場キャラが1つずつ紹介される感動モノのエンディングとなる。これはぜひとも見ておきたい。

●バージョン:1.00 ●動作条件:PC-9801（16色表示可能機種）
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL5　NIFTY-Serve:FGALAM/LIB4　アスキーネット:pool msdos

SystemSwitcher

MAC 5-8 3.5-10

Canon Sales Co.,Inc.



Macintoshで、日本語と英語など複数のシステムを切り替えるツール。同じディスクに登録された複数のシステムを切り替えることができる。

Macintoshの英語システムは、いくつかのBBSに最新版のSystem7.0.1が登録されており、日本語システムと切り替えて使いたいと思っている人も多いだろう。ハードディスクが2台あれば、1台に日本語システム、もう1台に英語システムをインストールすればよいのだが、1台しか持っていない場合はこのSystemSwitcherを使ってシステムフォルダを切り替える。

起動すると、現在開かれているディスク内のシステムフォルダが一覧表示される。切り替えたいシステムの入っているフォルダを選んで、リスタートまたは終了を選択すると、次からは選んだシステムが起動する。

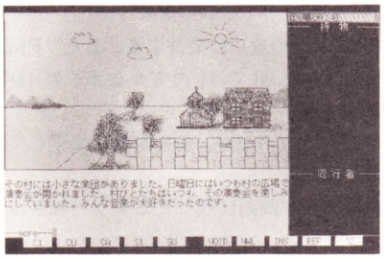
また、一覧表示の上のディスク名はポップアップメニューになっており、システムフォルダの再検索、システムのバージョンを表示といったコマンドを選択できる。

●バージョン:1.1 ●動作条件:Macintosh
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL13　アスキーネット:pool mac　日経MIX:listings.mix/mix/mac

TADL

98 5-2 3.5-2　MAC 5-9 3.5-11

project.a チーム



テキストタイプのアドベンチャーゲーム。オープニングなどいくつかの場面では絵も表示される。98版とMac版（HyperCardのスタック）が作られている。

谷山浩子さんら日経MIXのgame会議有志がストーリー、シナリオ、音楽、イラスト、コーディング、デバッグなどを分担し、パソコン通信を使って合作した。

音楽好きな人々が住むのどかな村に突然現われた魔法使いが、村から音楽を奪って女の子の夢の中に宮殿を立てて棲みついてしまう。木々は実をつけず花は枯れ、作物も次々にダメになっていく村を救うため、まじない師の力を借りて夢の中へ冒険の旅に出る…というストーリーだ。

TADLの面白さは本筋から離れた部分に凝っていることで、たとえば最初の場面である「木の森」「まんがの森」の木の枝には、スタッフの好きな本が生えている。これを手に取って読むと、アシモフ、新井素子、クリスティ、ドイル…などの作品に登場する人物と会話ができるのだ。

●バージョン:第1版●動作条件:PC-9801、Macintosh（HyperCard1.**でのみ動作）
●登録先　PC-VAN:SPASOCOM/OSL1　NIFTY-Serve:FCGAMEP/LIB3　アスキーネット:pool msdos、pool mac　日経MIX:long2/pds2、listings.2/mac88

tEDIT

MS-DOS 5-6 3.5-8

神谷　貫一（菜根）

縦書きで文章を作成、編集する簡易縦書きエディタ。

パソコンの世界では、印刷に縦書きの機能はあっても、画面は横書き表示というのがほぼ常識だが、tEDITは縦書き表示のまま文章を入力、編集できる。また、画面イメージどおりにファイルにセーブしたりプリンタで印刷することも可能だ。

MS-DOS汎用で動作するが、PC-9801やJ-3100、FMRなど幾つかの機種を自動判別するため、特殊キー等が使える。また日本語入力FPの自動オン／オフ制御も行なう。さらに98では利用者定義可能文字（外字）を利用して縦書き用の括弧や句読点、改行マークを表示している。

1行の文字数、画面行数、文字色などの設定は、起動後のメニューで設定するのは面倒なので、環境設定ファイル（tedit.cnf）に記述しておくとよい。

また、複数の短い文書を一連の文書として扱う、テキストデータベースの機能も備えている。

●バージョン:2.5D ●動作条件:MS-DOS汎用●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL6

Tf

98 5-3 3.5-3

BANT-iT

アクセス時間や電話料金、接続先のBBSなどが書かれたファイルをもとに、電話料金などの集計を行なうツール。結果はグラフ表示されるので、アクセス状況を視覚的に把握できるのが特徴だ。

たとえば、何日の何時から何時間どのBBSに接続していたかのグラフが月単位で表示される。同様にして、アクセス回数や接続時間の棒グラフも表示できる。BBSごとの年間の利用状況を折れ線／割合グラフで表示させてみるのも楽しい。

電話料金に関しては、BBSごとの料金表やグラフを表示させるだけでなく、ファイルに出力することも可能。NTTから請求書が送られてくる前に、どのくらい払わなくてはならないかが予想できる。

WTERMのアクセス記録ファイルは、Tfが扱うファイルと同じ形式なので、そのまま利用できる。他の通信ソフトの場合は、アクセス記録の形式を加工するか、Tf用のファイルを自動的に作成する常駐ソフトTMLOGを利用するとよい。

●バージョン:3.30 ●動作条件:PC-9801（16色表示可能機種）
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL1　NIFTY-Serve:FGALTM/LIB8　アスキーネット:pool msdos

The GOLF 倶楽部

98 5-3 3.5-3

PONDA

ゴルフのスコア管理ツール。簡単なスコアの分析も行なう。

基本的な機能はスコアカードの管理だ。氏名、コース名、日付とともにその日のスコアを入力する。氏名やコース名は一度登録してしまえば、あとはカーソルキーでそれを選択するだけでよい。

スコアは、各ホールのヤード数、パー、実際のスコア、パット数を入力するようになっている。詳しい分析をするためにはこれらをすべて入力しなければならないが、面倒な場合は合計のスコアやパット数のみ入力すればよい。

スコアの分析は、すべてのコースがパー72とは限らない（狭いコースでは70だったりする）ため、パーをどれだけオーバーしたか（オーバー数）が基準となる。分析を指示すると、各ホールごとやトータルのオーバー数やパット数が計算される。分析するカードを絞りこむ（条件指定）ことができるので、あるコースのスコアだけ指定して苦手なホールを調べるといった使い方も可能だ。

●バージョン:　●動作条件:PC-9801 ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL6

TransIt

98 5-2 3.5-2　IBM 5-7 3.5-8

株式会社アスキー

ファイル転送プロトコル TransIt 対応のファイル転送ツール。

TransIt は、アスキーネットで採用されているファイル転送のプロトコルで、ライブラリシステムでのアップロード／ダウンロードなどに使用することができる。古典的なプロトコルである XMODEM と比べ、スライディング・ウィンドウ方式を採用しているため転送効率がよい、複数ファイルを一度に転送できる、受信側がファイル名をいちいち指定する必要はないなどの特徴がある。

しかし、アスキーネットがダウンロードのみサポートしている、ZMODEM プロトコルに比べると転送効率は悪いので、現在では主にアップロードに限って使われている。

通信ソフト自体に TransIt によるファイル転送機能をもつものは少ない。そこで、このような TransIt 対応のファイル転送ツールを通信ソフトの中から起動することになる。

起動には、通信ソフトの「MS-DOS のコマンドを実行する」機能を利用する。

●バージョン:2.00 ●動作条件:PC-9801、IBM PC ●登録先　アスキーネット:pool msdos

TRTEXT

98 5-3 3.5-3

槌田　博

翻訳の支援を行なうソフト。

原文の単語や熟語を、辞書に従って対応する言葉に置きかえるだけだが、接尾語や活用語尾にも対応しているため、翻訳の際の苦労をかなり軽減してくれる。

たとえば、英語基本辞書（eng.dic）を使って、「My name is Bush.」を翻訳させると結果は「私の 名前 =_Bush.」となる。be 動詞や to、for のように、単純なわりに訳すのが難しい単語はそのまま表示され、ユーザーの解釈にまかせている。

キーボードからの入力だけでなく、ファイルから原文を読み込んだり、結果をファイルに出力することも可能だ。

TRTEXT は、単語や熟語が書かれた辞書ファイルと、活用変化が書かれたファイルを用意すれば、どんな言語にも対応する。辞書は単なるテキストファイルなので、ユーザーが自由に単語を追加することができる。

実際、英語辞書のほかにも、フランス語、エスペラント語、インドネシア語などの辞書が作られている。

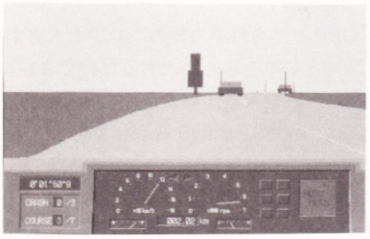
●バージョン:4.31 ●動作条件:PC-9801 ●登録先　NIFTY-Serve:FGALAP/LIB8

＊英語辞書のアーカイブのtrteng. 1zhは、5インチユーザー版では7番、3.5インチユーザー版では8番に収録されています。

TURBO Freeway

98 5-2 3.5-2

FKS（深澤　肇）



車の運転席から見た風景が画面に表示されるドライブシミュレーションゲーム。ゴールまでのタイムを競う。

対向車などは矩形の組み合わせで表示される。立体交差あり、路面の傾斜ありと結構リアルだ。全部で7コースが用意されており、のどかな田園風景から、夕暮れどき、そして満天の星空、海沿いの砂丘などバラエティに富んだ景色が楽しめる。

運転する車として、初心者用AT車、ギアチェンジが必要なマニュアル車、エンジン特性がピーキーな競技車が用意されている。何人かでタイムを競うと燃えるゲームだ。

●バージョン:1.15 ●動作条件:PC-9801（16色表示可能機種）
●登録先　PC-VAN:QLD/OSL4　NIFTY-Serve:FGALAM/LIB4　アスキーネット:pool msdos

TWINS

98 5-3 3.5-3

羊男（増谷　正夫）

ホバータンクを駆って敵を破壊する対戦型シューティングゲーム。人間同士の対戦プレイが可能で、1人でプレイするときには、コンピュータが相手となる。

画面は左右に分かれており、それぞれの中央に自分の機体（ホバータンク）が表示されている。また、画面下には各機体のエネルギーゲージが表示されている。

2人で対戦するときはキーボードの左右に分かれて操作を行なう。それぞれの機体を上下左右（斜めも可）に移動させ、相手に対して攻撃を行なうのだ。また、FM音源ボードに接続するジョイスティックを使って操作することも可能だ。

敵の攻撃が自機に命中するとエネルギーが減少し、0になると破壊されてしまう。勝負は5ラウンド行なわれ、先に3勝したほうが勝ちだ。

TWINSでは、起動時にオプションでゲームのスピードを0～1000の数値で調整する（小さいほど速くなる）。マシンのスピードで難易度が大きく変わるための配慮だが、386マシンでは150程度が適当なようだ。

●バージョン:1.10 ●動作条件:PC-9801（16色表示可能機種）
●登録先　NIFTY-Serve:FCGAMEP/LIB3　アスキーネット:pool msdos

uuex/uudx

MS-DOS 5-7 3.5-8

AssistantIO

バイナリファイルをテキストファイルへ変換、またその逆の変換を行なうツール（バイナリ―テキストコンバータ）。

BBSの電子掲示板やメールでは、バイナリファイルを直接扱えないことが多い。そこで、バイナリ―テキストコンバータを利用して、テキストファイルに変換（エンコード）して送るという方法をとる。受け取る側は、通信ソフトのログ機能を使って受信したテキストファイルから、元のファイルを復元（デコード）する。

uuex/uudxは、UNIXで広く使われているuuencode/uudecodeタイプのバイナリ―テキストコンバータだ。uuexでエンコード、uudxでデコードを行なう。高速モデムを利用する場合にはishよりも転送効率がよいので、最近ではMS-DOSでも使われるようになった。

uuexは、電子掲示板の行数制限などに合わせて、変換の際に複数のテキストファイルに分割することが可能（マルチボリューム）。また、uudxでは、復元の際にuuexによって変換されたデータ以外の余計なデータが入っていても復元できる。

●バージョン:1.41（uuex）、2.6（uudx）●動作条件:MS-DOS
●登録先　アスキーネット:pool msdos　日経MIX:listings2/main88

VEDAMENU

VEDA（上田　広行）

メニュー操作によって各種アプリケーションを起動するメニューソフト。

1画面に12個、2ページ切り替えで計24個のメニューを表示できる。メニューからさらにサブメニューを開けるので、足りなくなることはないだろう。

このほか、デジタル時計、カレンダー、CPUの種類やカレントドライブの容量などの情報が表示されている。

メニューを選択するには、カーソルキーを使ってカーソルバーを移動させ、SPACEキーでそのメニューを実行する。メニューの前に表示されている文字を直接入力して実行することも可能だ。

アプリケーションの実行は、VEDAMENU起動用のバッチファイル（menu.bat）を直接書き換えるという方式で行なわれるので、VEDAMENUがメモリを圧迫するすることはない。各メニューの内容を設定するには、データファイル（vedamenu.dat）をエディタなどを使って編集する必要がある。

このほかにも、スクリーンセーバ、オートリトラクト、スケジューラやアラームなどの機能を備えている。

●バージョン:2.83g ●動作条件:PC-9801 ●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FGALBT/LIB7

VMAP

c.mos（兵藤　嘉彦）

メモリの利用状況を表示するツール。

メインメモリ、UMB、EMS、XMSの各メモリ容量と、それらがどのように使われているかが表示される。

たとえば、メインメモリやUMBの場合、各メモリブロックの開始アドレス、サイズ、オーナー名、フックされたベクタなどが表示される。これを見れば、どんな常駐ソフトがどういう順番で組み込まれているのかがわかるわけだ。

EMSについては、ハンドル番号、使用ページ数、使用サイズ、ハンドル名が表示される。また、XMSについてはHMAとEMBのメモリサイズなどが表示される。

●バージョン:2.01 ●動作条件:MS-DOS
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FGALST/LIB8　アスキーネット:pool msdos

WTERM

H.INOUE（井上　博嗣）、TOMTOM（関口　潔）

カラフルなウィンドウ表示が特徴の通信ソフト。

オートダイヤルやテキストファイルの送受信はもちろん、オートログイン、バックスクロール、外部のプロトコル対応ソフトの自動起動、EMS対応など、機能は市販の通信ソフトにひけをとらない。

ドキュメントの丁寧さも特筆もの。オートダイヤルでは、ある番号にダイヤルし続けるだけでなく、選択した複数の番号に順番にダイヤルする機能（マルチダイヤル）をもっている。

ウィンドウからの選択で操作できるなど初心者向けの配慮がある一方、強力なマクロで上級者の要求にも応える仕様になっている。

●バージョン:8.72（PC-9801版）、1.22（J-3100版）、1.10（DOS/V版）
●動作条件:PC-9801、J-3100、DOS/V
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL1　NIFTY-Serve:FGALWT/LIB3　アスキーネット:pool msdos
日経MIX:long3/4soft

XLD4HS

98 5-3 3.5-3

Mery、Manami

Q4フォーマットの画像データを高速に画面表示するローダ。

Q4フォーマットはPC-VANとNIFTY-ServeのQLD系のSIGやフォーラムで使われている16色画像のフォーマット。その特徴は、LHAなどの圧縮機能付きアーカイバを必要としないほどの圧縮が行なわれることにある。実際、Q4フォーマットの画像をLHAでアーカイブしてみても、圧縮率は100%のままでそれ以上圧縮することはできない。

Q4フォーマット用の代表的ローダとしてはXLD4がある。8色化、モノクロ化、200ライン化などの便利な機能をもっているが、画像の展開処理に時間がかかるのが難点。そこで、8色化などの機能を省いて軽量高速化を計ったのがXLD4HSだ。描画速度は、XLD4の約2倍にも達する。

このほか、ワイルドカードによる連続描画時にキー／マウスボタンの入力を待つ、アナログRGB情報をファイルに出力する、バックグラウンド表示用に輝度を落として表示するなどの機能を備えており、EMSにも対応している。

●バージョン:0.44.2G ●動作条件:PC-9801（16色表示可能機種）
●登録先　PC-VAN:QLD/OSL1　NIFTY-Serve:FQLD/LIB1

xscript

98 5-3 3.5-3

Oka（岡　俊行）、Yamashin[改変]

MS-DOSの文字出力を保存し、さかのぼって見ることができる常駐ソフト。

簡単に言えば、通信ソフトのバックスクロール機能がMS-DOSで常時使えると思えばよい。

たとえば、大量にファイルがあるディレクトリでDIRコマンドを使うと、表示されるファイル名は次々にスクロールして画面から消えていってしまう。しかし、xscriptを常駐させていれば、いつでもキー操作（CTRL＋↑）によって、その内容をさかのぼって見ることができる。

また、文字列を検索したり、指定した範囲の文章を切り取って入力する（ペースト機能）ことも可能だ。こうしたコマンドの出力だけでなく、通常のアプリケーションの出力も、MS-DOSの機能を利用していれば、さかのぼって見ることができる。

しかし、高速に文字を出力するため、MS-DOSを介さずに直接文字を出力しているワープロやエディタなどでは、その出力をxscriptでさかのぼって見ることはできない。

●バージョン:1.50iD1 ●動作条件:PC-9801
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FLABO/LIB2　日経MIX:long3/4soft

XTR

MS-DOS 5-7 3.5-9

Nαδα（村上　真雄）

テキストファイルの整形を行なうテキストフォーマッタ。

1行の文字数が揃っていないなど、見栄えに気を使わずに書いた文章でも、XTRを使うと指定の文字数できれいに行末が揃った文章に整形できる。1バイト文字と2バイト文字が混在している場合は、句読点の後に適当な空白を挿入して行末を調整する。もちろん禁則処理も行なう。

特徴的な機能としては、「・」などで始まる行は箇条書きと判断して2行目以降を字下げする、「項目＋TAB＋説明」のような文章は自動的に項目は左寄せ、説明は右寄せするといったオートインデント機能がある。こうした機能は実行時にオプションで指定するが、環境変数XTRに設定しておくことも可能だ。

文章中にコマンドを埋め込めむことによって、特定部分のセンタリングなど細かい整形をすることができる。さらに、指定の文字を別の文字に変換する機能や、MIFESやVzエディタで編集中のファイルを直接整形するマクロなど、豊富な機能が用意されている。

●バージョン:1.50d ●動作条件:MS-DOS
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL3　NIFTY-Serve:FGALAP/LIB6　アスキーネット:pool msdos
日経MIX:long3/4soft

YooEdit

MAC 5-9 3.5-11

Yooichi Tagawa

ASLEdit＋と評判を二分する高速な日本語エディタ。デスクアクセサリ版とアプリケーション版が用意されている。

複数ファイルの編集や表示ができるのは当然だが、YooEdit ではさらにファイルの 2 分割表示が可能。カーソルが上下矢印に変化したところでドラッグすればよい。同じテキストの異なる場所を見ながら編集作業が行なえるわけだ。

ウィンドウの横幅にあわせて本文が折り返されるほか、右マージンを設定することができ、入力中の自動ラッピングや、選択したテキストの再整形が可能だ。

このほかにも、検索、置換、オートインデント、フォントの切り替えなどエディタに必要な機能はだいたい揃っている。

また、Macintosh のエディタにしては珍しく、WordStar ライクなコントロールキーによる操作がサポートされている。

ダイヤモンドカーソルを使ったカーソル移動などが行なえるため、MS-DOS のエディタに慣れた人でも違和感なく操作することができるだろう。

●バージョン:0.95.2（アプリケーション版、DA 版共に）●動作条件:Macintosh ●登録先　PC-VAN:MAC/OSL1　NIFTY-Serve:FMACUS/LIB1　アスキーネット:pool mac　日経 MIX:listings2/mac88/DA

ZMA

98 5-7 3.5-9 & J3100 5-7 3.5-9 & IBM 5-7 3.5-9

T.Tamaki

ファイル転送プロトコル ZMODEM 対応のファイル転送ツール。YMODEM や XMODEM によるファイル転送も可能だ。

ZMODEM は、アスキーネットや日経 MIX で採用されているファイル転送プロトコルで、古典的な XMODEM プロトコルと比べ、転送速度の飛躍的な向上を果たしている。また、複数のファイルを一気に転送できる（バッチ）、中断した位置から転送を再開できる（レジューム）などの優れた特徴をもつが、通信ソフト自体に ZMODEM によるファイル転送機能をもつものは少ないため、ZMA などの ZMODEM 対応のファイル転送ツールを、通信ソフト中から起動することになる。

起動には、通信ソフトの「MS-DOS のコマンドを実行する」機能を利用する。もっとも、WTERM や EasyTERM などのフリーソフトウェアの通信ソフトは、こうしたファイル転送ツールを自動起動する機能を持っているので、それを利用するとよい。

また、ZMA 自身を通信ソフトとして使う簡易ターミナル機能がある。ダウンロードのためにアクセスするにはこれで十分だ。

●バージョン:0.08.00 ●動作条件:PC-9801、J-3100、IBM PC
●登録先　NIFTY-Serve:FGALWT/LIB4　アスキーネット:pool msdos

アストロウォーズ II

未

TAKA

4 方向スクロールタイプのシューティングゲーム。

自機を上下左右に操作して、敵機のミサイルを避けながらミサイルを発射して敵を倒していく。

ミサイルが命中して敵機が爆発している間に、さらに別の敵機をやっつけるとボーナスが付く。これを連続すればボーナスはさらに高くなっていく。

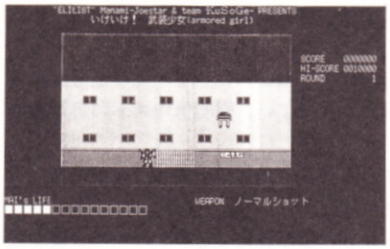
このゲームには、スピード調節のためのオプションがある。高速な機種では「SLOW」、遅い機種を使っている場合には「FAST」を付けて起動するとよい。

●バージョン:　●動作条件:PC-9801
●登録先　PC-VAN:QLD/OSL4　NIFTY-Serve:FCGAMEP/LIB3　アスキーネット:pool msdos

いけいけ! 武装少女

98 5-3 3.5-3

"ELILIST" Manami-Joestar & team KuSoGe-



固定画面タイプのシューティングゲーム。

プレーヤーは武装少女（アーマードガール）ニルヴァーナ・マイになり、悪の組織「ゲドー」から地球を守るために戦う。

1面から5面まであり、一定数の敵を破壊するか一定時間が経過するとボスキャラが登場、これを倒せば1面クリアとなる。

敵の攻撃を受けるとライフが減り、0になるとゲームオーバーだ。ある種の敵を破壊するとパワーアップアイテムが現われ、これを取るとパワーアップする。

ドキュメントにも書いてあるが、クソゲーである。スカしたボスが最高。

●バージョン: ●動作条件:PC-9801 ●登録先 PC-VAN:QLD/OSL4 NIFTY-Serve:FGALAM/LIB4

似非キース

未

hironon（野村 広）、Woody RINN

MAG/MAKIフォーマットの画像データを作成するグラフィックエディタ。「鮪ペイントシステム（MPS）」の親戚筋にあたる。

基本的なグラフィックエディタの機能に加え、特定色のマスク、スクリーントーン、自動的に薄くなっていく筆、グラデーション、エアブラシ、重ね塗り、ぼかしなどの機能を使って凝った操作も可能。

操作にはマウスを使用する（マイクロソフト仕様のマウスドライバが必要）。

対応しているファイル形式は、MAG、MAKIなど4種類。もちろん、画面に表示した画像をそのまま編集することもできる。

●バージョン:1.47 ●動作条件：PC-9801（16色表示可能機種）●登録先 PC-VAN:98CLUB/OSL8 NIFTY-Serve:FGALAV/LIB6

柿木将棋

98 5-3 3.5-3

柿木 義一

人間同士やコンピュータとの対戦が可能な将棋ゲーム。

先手／後手それぞれを人／コンピュータ／通信から選択できる。香落ち／角落ちなどの手会い割りも可能だ。

コンピュータの棋力は5～6級（レベル設定可）。

通信というのは、モデム（またはリバースケーブル直結）によって他のパソコンと接続して対戦する機能。離れた人同士で将棋を楽しむことができる。もちろん、パソコン同士を通信で対戦させることも可能だ。

また、詰め将棋（最大15手）を解くこともできる。

盤面は、内蔵している盤面作成用エディタで編集する。解き終わると詰め手数と解答までの時間、正解手順が表示される。

このほか、BBSのボードやメールを介して行なう通信対局の支援機能がある。これは通信機能とは異なり、棋譜の管理や盤面ファイルの作成を行なうものだ。

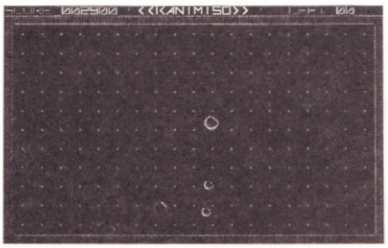
1日1手のようにインターバルが長くなる通信対局で、棋譜がわからなくなってしまうのを防ぎ、ボードに書く（あるいはメールする）ための盤面ファイルを作成することができる。

●バージョン:1.34 ●動作条件:PC-9801 ●登録先 NIFTY-Serve:FSHOGI/LIB2

蟹味噌

98 5-3 3.5-3

alty（森　栄樹）



青玉を操作して赤玉をやっつける、というちょっと変わったアクションゲーム。

襲いかかってくる赤玉をやっつけるには、青玉を操作して上下左右に加速（あるいは減速）させながら赤玉に衝突させ、赤玉を激しく壁にぶつける。逆に青玉が激しく壁にぶつかるとやられてしまう。

操作はキーボードのほか、FM 音源ボードに接続したジョイスティックを利用することも可能。

全部で 60 面が用意されていて、先に進むにつれ、重力場などの新しい要素が登場するので飽きがこない。

●バージョン:1.10 ●動作条件:PC-9801（VM 以降）
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL6　アスキーネット:pool msdos

株価管理

98 5-3 3.5-3

カバラ（小島　裕一）

個人用の株式投資分析ソフト。株価の入力／管理とグラフによる分析が行なえる。

株価情報データベースをアクセスするような機能は持っていないため、新聞や雑誌に掲載されている株価や出来高を人間が入力しなければならない。

1 銘柄につき 115 日分のデータを入力でき、1 つの管理ファイルでは 100 銘柄まで扱える。もちろん複数の管理ファイルを使えばこれ以上の銘柄を扱うことも可能。株価のほか、コメントや保有株数などの情報をメモとして残すことができる。

グラフ機能では、入力した銘柄別に株価チャートを表示する。グラフのスケーリングは自動的に行なわれ、グラフ上に高値／安値、株購入価格線／移動平均線などさまざまな情報を表示させることが可能だ。また、このグラフをそのまま印刷することもできる。

さらに、「株式管理」用ポイントアンドフィギュアやエディタなどの外部プログラムを定義ファイルで設定しておくことにより、オプションメニューから一発で起動できる機能を持っている。

●バージョン:2.10 ●動作条件：PC-9801（16 色表示可能機種）
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL6　NIFTY-Serve:FGALAP/LIB8

「株価管理」用ポイントアンドフィギュア

98 5-3 3.5-3

北島　貴三夫

株価分析用チャートのひとつであるポイントアンドフィギュアを表示するソフト。

このソフトは単独で使用することもできるが、本来は「株価管理」の定義ファイルに登録して、「株価管理」のオプションメニューから起動することを想定して作られたアドインソフトだ。表示に使う銘柄データは「株価管理」のものをそのまま使用する。

起動すると、最初の銘柄のポイントアンドフィギュアが表示される。カーソルキーによって他の銘柄に切り替えることができる。

ポイントアンドフィギュアは、ローソク図が株価のグラフを時間経過に忠実に描くのに比べて、株価の値動きだけに注目してグラフ化するもので、相場の上昇／下降の傾向を分析するのに有利といわれている。判定基準には、2 ポイントリバーサルと 3 ポイントリバーサルの 2 種類があるが、このソフトでは両者を同時に表示する。

「株価管理」用のアドインソフトとしては、このほか、手持ち銘柄の損益額を一覧表示する「株価管理」用ポートフォリオなどが同じ作者によって作られている。

●バージョン:1.03 ●動作条件：PC-9801（16 色表示可能機種）
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL6　NIFTY-Serve:FGALAP/LIB8

クアトロ

98 5-4 3.5-4

蓬

人間同士やコンピュータと対戦するパズルゲーム。

順番に盤を回転させてボールを落とし、先に自分の5つのボールをゴールさせたプレーヤーが勝ちとなる。

4人までのプレイが可能だが、燃えるのは一対一の対戦だ。相手は、人間／コンピュータ／用意されたメンバーから選ぶことができる。

プレーヤーは順番に、自分のボール（色分けされている）を盤中央に置き、SPACEキーで盤を4分の1ずつ回転、RETURNキーでボールを下に落とす。

盤にはゴールに通じる穴が4カ所開いているから、落としたときに自分のボールがそこを通るように回転させるわけだ。

もちろん、下手に回転させると相手のボールやジョーカーボールを落としてしまう。ジョーカーボールを落とした人は1回休みとなる。

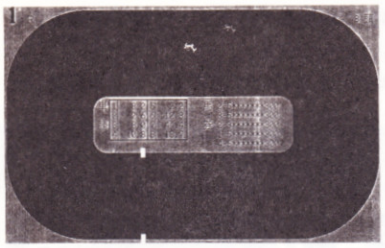
盤の中央が他のボールで塞がっている場合は、新しいボールを置くことができず、盤の回転も2分の1単位となる。この制限をうまく利用して、相手が自由に盤を回転できないようにするのが勝利への近道だ。

●バージョン:1.00 ●動作条件:PC-9801（16色表示可能機種、MS-DOS Ver.2.0以降）
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL6　NIFTY-Serve:FCGAMEP/LIB3

競馬中継

98 5-4 3.5-4

S.Suzuki



競馬シミュレーションゲーム。与えられた資金を元手にして、予想とオッズを頼りに投票所で馬券を買う。

出走時間になると競馬場の画面に切り替わってレース開始だ。

馬がゴールして着順が確定すると、単勝、連勝の配当とプレーヤーへの払戻金、持ち金が表示される。

12レースを終えるか、レース途中に資金がなくなると、その日の成績が表示されてゲームオーバーとなる。

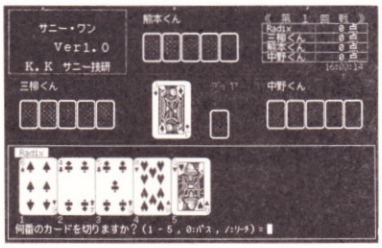
手堅く本命を押さえていくか、それとも一発勝負の大穴ねらいで一攫千金を狙うかはあなた次第だ。

●バージョン:1.0 ●動作条件:PC-9801
●登録先　PC-VAN:QLD/OSL4　NIFTY-Serve:FGALAM/LIB5　アスキーネット:pool msdos
日経MIX:long2/pds

サニー・ワン

98 5-4 3.5-4

渡辺　よしえ、三柳　正文



ページ・ワンによく似たトランプゲーム。コンピュータが3人分を担当し、ユーザーとの4人でプレイを行なう。

手持ちのカード（最初は5枚）のうち、場のカードと同じスート（マーク）か同じ数字のものを捨てることができる。出せるカードがないときは（パス）、手持ちのカードが1枚増える。一番早くカードがなくなった者が勝ちだ。また、手持ちのカードの数字の合計が場のカードの数字と一致すると、「ロン」を宣言して直ちに上がることができる。

単純なルールながら戦略もあり、ハマりやすいこと請け合いだ。

●バージョン:1.0 ●動作条件:PC-9801
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL6　NIFTY-Serve:FGALAM/LIB4　アスキーネット:pool msdos

書見台

未

吉永　成利

Macintoshで電子ブックを見るためのソフト。

ソニーのデータディスクマン用に各社が出版している電子ブックを、MacintoshのCD-ROMドライブを使って閲覧、検索することができる。当然、動作させるにはCD-ROMドライブとそのドライバが必要だ。

「前引き／逆引き」「総合検索」「目録検索」という3種類の異なる検索方法をサポートしている。

前引き／逆引きは、見出し語を検索してその前後を表示するという方式で、通常の辞書を見るのと同じ感覚で扱える。

総合検索は、複合検索、前方／後方一致、条件検索を行なう方式で、検索条件に合致する項目だけを表示する。

目録検索は、画面に表示された目録をたどって本文を表示していく方式だ。

表示は「見出し順本文表示」と「そのまま表示」を選択することができる。画像をもつ本では画像も表示される。

一部の電子ブックを除いて、本文や画像のコピーが可能だ。

●バージョン:0019 ●動作条件:Macintosh ●登録先　日経 MIX:mac.long/3bin

タッチ・タイピング練習ソフト

98 5-7 3.5-9

KISO（木曽　文彦）、吉羽　要直

タッチ・タイピングを行なえるように訓練するソフト。

タッチ・タイピングは、キーボードを見ることなく入力を行なう方法で、慣れるといちいちキートップを見るのに比べてずっと速く入力できるようになる。

このソフトは、表示される文字を間違わずに素速く打ち込む練習をするためのものだ。画面にはキーボードと、どのキーはどの指で打つのかが示されている。練習文が表示されると同時に、打つべきキーが画面上に丸印で指示され、打ち間違えると先に進まないしかけになっている。

練習分をすべて入力し終わると、正解率とスピード、間違いが多かった文字が表示され、最近の上達の様子がグラフで表示される。成績はファイルに保存されるので、粘り強く練習を続けよう。

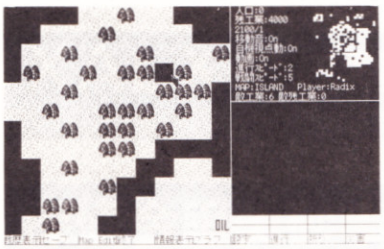
練習用のデータはいくつか付属しているが、よく使うコマンド名やあいうえお順でローマ字／カナの入力を行なうという簡単なものだ。データは単なるテキストファイルなので、本格的な文章を練習したいときには、エディタなどを使ってデータを作ればよい。

●バージョン:3.0 ●動作条件:PC-9801 ●登録先　NIFTY-Serve:FGALAP/LIB8

富国強兵

98 5-4 3.5-4

小機ゆたんぽ



都市開発防衛シミュレーションゲーム。操作にはマウスを使用する（NEC仕様のマウスドライバが必要）。

まず、油田に製油所を作り、そのまわりに住宅、役所、消防署、工場、発電所などを建てていく。

また、敵国の爆撃機の空襲に備えて基地を作り、迎撃機や戦闘機を配備しなければならない。町が発展して一定の人口に達したらゲームクリアだ。

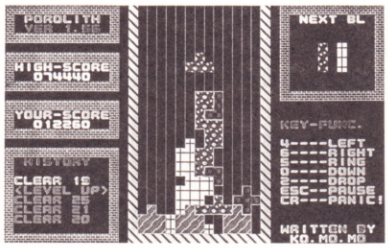
付属している5つのマップで遊ぶだけでなく、マップエディタを使って地形を自分で設定したり、ほとんどすべてのルールを再設定することができる。

●バージョン:1.03 ●動作条件:PC-9801（16色表示可能機種）
●登録先　PC-VAN:QLD/OSL4　NIFTY-Serve:FCGAMEP/LIB3　アスキーネット:pool msdos

ぽろりす☆

98 5-7 3.5-9　J3100 5-7 3.5-9

Ko.Mo.Mo（片倉　義昌）



ブロックの面積に着目した、オリジナリティ溢れる落下型アクションパズルゲーム。

同じ模様（色）のブロックをつなげていって、ある一定面積以上になるとそのブロックが消える。それに支えられていた他のブロックは落下するので、うまくいくと連鎖反応で次々にブロックを消すことができる。

また、ある点数をこえるとスペシャルキャラが登場する。これは、落下した場所の模様と同じブロックをすべて消してしまうというありがたいキャラだ。

ブロックの形状や一部のルールなどはカスタマイズすることができる。

●バージョン:1.56 ●動作条件:PC-9801、J-3100、他
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL6　NIFTY-Serve:FCGAMEP/LIB3　アスキーネット:pool msdos

鮪ペイントシステム

未

Woody RINN

MAGフォーマットの画像データを作成するグラフィックエディタ。「似非キース（PST）」の後継ともいえる。

使いやすいウィンドウシステムを搭載し、組み合わせて選ぶ独特の描画機能をはじめ、マスクやルーペなど市販ソフトに勝るとも劣らないできばえだ。操作にはマウスを使用する（マウスドライバは内蔵）。

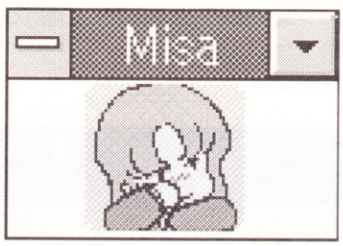
描画機能は、ペンの形や動作を組み合わせて指定する。ペン形状（太さ）、ペン先（ブラシ、重ね塗りなど）、動作（自由曲線、ボックスなど）を組み合わせることによって、さまざまな表現が可能になる。

●登録先：本ソフトウェアを発展させたものが1992年7月に株式会社シー・ラボから「マルチペイント」として市販され、本ソフトウェアは、現在大手BBSからは削除されています。

美砂

WINDOWS 5-7 3.5-9

koma、Mamanota



Windows版の未沙ちゃんローダー。MS Windows 3.0上で動作する。

起動すると、次で紹介している「未沙ちゃんローダー」のように、ウィンドウ内にかわいい女の子が登場し、眠そうな目であくびをしたりする。

バックグラウンドで動作するので、Windowsの画面が制止しているのが耐えられない向きには、お勧めの1本。

かなりしっかりしたドキュメントがオンラインヘルプとして供給されており、全ソースファイルおよびビットマップアイコンのリソースも付属している。

●バージョン:3.00 ●動作条件:MS-Windows（Ver.3.0）
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL6　NIFTY-Serve:FIBMPRO/LIB5　アスキーネット:pool windows

未沙ちゃんローダー／未沙ちゃんびゅーあー

98 5-4 3.5-4

黒蕎麦システム開発、うみちゃん（井口　裕史）

グラフィック画面にアニメーションを表示する常駐ソフトとツール。

付属のデータファイルを指定して実行すると、画面の片隅で女性が微笑みかけたり、金魚が泳いだりする。

常駐ソフトの未沙ちゃんローダーは、画像を表示したままでもMS-DOSのコマンドやアプリケーションを実行できる。そっけないDOS画面やエディタのバックにアニメーションで華を添えると楽しい。

ただし、通信ソフトなどと併用すると文字化けしたりする可能性がある。そんなときは未沙ちゃんローダーの常駐をいったん解除してから、通信ソフトなどを実行しなければならない。

複数の未沙ちゃんローダーを常駐させて、複数のアニメーションを同時に表示させることもできる。ただし、他の処理が遅くなってしまうので2～3個程度にしておいたほうがいいだろう。

非常駐版が未沙ちゃんびゅーあーで、起動するとアニメーションを表示し、キー入力があると終了する。

●バージョン:2.03（未沙ちゃんローダー）、2.51（未沙ちゃんびゅーあー）●動作条件:PC-9801
●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL5　NIFTY-Serve:FGALAV/LIB8　アスキーネット:pool msdos

理想の女性

98 5-4 3.5-4

丹羽　信夫、低レベルソフトウェア研究所

各人の理想の女性の名前を表示するジョークソフト。

作者の丹羽信夫さんは、月刊ASCIIに低レベルソフトウェア研究所のページをもつことでも知られる。このAITE2も低レベルソフトウェアのひとつだ。

起動すると、男性の名前の入力を求めてくる。入力すると、一瞬のうちにその人の理想の女性の名前と現在どこにいるかが表示される。

たとえば「出井一君の理想の相手は倉持悦子さんで、その女性は北海道にいます」といった具合。

説明によると「相性を計算し、理想の女性を表示します。文字の曲率をガウスの方法を改善したアルゴリズムにより、超高速に計算して相性を割り出しているので、同じ名前でも漢字とひらがなでは相性がかわってきます。また、第2水準にない旧漢字の場合、新字体を使うと一般に相性計算の精度が20%ほど低下します」とのこと。

AITE2を終了するには、名前を入力するかわりに「/E」を入力すればよい。

●バージョン:　●動作条件:PC-9801●登録先　PC-VAN:NEC98/OSL6　NIFTY-Serve:FGALAM/LIB7

■以下の2本については、事情によりソフトウェア名と作者名の紹介のみにとどめさせていただきます

XALXの紋章98

未

まいまい

探偵今里美砂事件簿#1

未

まいまい、他

■執筆

大池　浩一

■編集協力

矢作　晃

石島　鉄朗

秀作フリーソフトウェア100選
5インチユーザー版

1992年10月1日　初　版　発　行
1993年4月30日　初版第6刷発行
定価5,800円(本体5,631円)
編　者　ネットワーカーマガジン編集部
発行者　藤井章生
編集人　遠藤　諭
発行所　株式会社アスキー
〒107-24　東京都港区南青山6-11-1スリーエフ南青山ビル
振　替　東京4-161144
TEL (03) 3486-7111 (大代表)
出版営業部TEL (03) 3486-1977 (ダイヤルイン)
編集部TEL (03) 3797-6232 (ダイヤルイン)

●本書は著作権法上の保護を受けています．本書の一部あるいは全部について，株式会社アスキーから文書による許諾を得ずに，いかなる方法においても無断で複写，複製することは禁じられています．ただし，付属ディスクに収録したフリーソフトウェアについては，各ソフトウェアの配布規定に従って再配布することができます．
●本書の内容に関するご質問は，小社第一雑誌編集部まで，封書(返信用切手同封) にてお送りください．電話によるお問い合わせはお受けしておりません．また，本書の範囲を超えるご質問にはお答えできない場合もありますので，あらかじめご承知おきください．
●落丁本，乱丁本は，お手数ですが，小社出版事業部までお送りください．送料小社負担にてお取り替えいたします．

編　集　　春田佳紀
デザイン　　杉山剛大
印　刷　　共同印刷株式会社

ISBN4-7561-0535-1　　Printed in Japan

●1304202

■バックアップ用ディスクのフォーマットと、LHAの解凍についての補足説明

本文5ページのバックアップにおけるフォーマットの仕方、および本文10ページのLHAの解凍について、少々説明不足な部分がありましたので、補足説明させていただきます。

●バックアップ用ディスクのフォーマットの仕方について

本文4ページの説明にある通り、本書には2HCフォーマットおよび2DD／9セクタフォーマット（3.5インチユーザー版のみ）のディスクが含まれています。このディスクのバックアップをとるためには、バックアップ先のディスクも同じフォーマットがされていなければなりません。

PC-9801で上記のフォーマットをするためには、下表に示す通りオプションを付加してFORMATコマンドを起動してください。

★ディスクごとのフォーマット方法の対応表（MAC用ディスクを除く）

■5インチユーザー版

ディスク番号	内容	フォーマット種別	入力コマンド
1〜3	PC-9801用	2HD	FORMAT B:
4	PC-9801&J-3100用	2HC	FORMAT B: /5
5〜7	各機種用	2HC	FORMAT B: /5

■3.5インチユーザー版

ディスク番号	内容	フォーマット種別	入力コマンド
1〜3	PC-9801用	2HD	FORMAT B:
4	PC-9801&J-3100用	2HC	FORMAT B: /5
5〜9	各機種用	2DD／9セクタ	FORMAT B: /9

＊入力コマンドは、Bドライブの未使用ディスクをフォーマットする場合。
2HDフォーマットの場合は、コマンド入力後2DDか2HDかを聞いてきますので、2HDを選択してください。

上記の方法でディスクをフォーマットした後、5ページの説明の通りDISKCOPYコマンドでバックアップを作り、大切に保存しておいてください。

●LHAの解凍について

LHAの解凍は、オリジナルディスクの状態のままで、

A＞lha213⏎　　（Aドライブにオリジナルディスクがある場合）

と入力したのでは、オリジナルディスクが書込み禁止の状態になっているため、解凍することができません。また、たとえ書込み禁止を解除しても、ディスクの空き容量が足りないため、エラーメッセージが出てしまいます。

そこで、以下の①②のどちらかの方法により解凍してください。

①LHA213.EXEを他のディスクにコピーし解凍する

AドライブにLHA213.EXEの入ったオリジナルディスクを入れ、Bドライブに容量の十分残っているフォーマット済みのディスクを入れたうえで以下のように入力します。

A＞copy a:lha213.exe b:⏎

これで、BドライブにLHA213.EXEがコピーされました。
そこで、以下のように入力してBドライブに移動し、

A＞b:⏎

本文10ページの例に従って

B＞lha213⏎

としてください。これで、LHAがBドライブに解凍されます。

②LHA213.EXEを他のディスクに解凍させる

AドライブにLHA213.EXEの入ったオリジナルディスクを入れ、Bドライブに容量の十分残っているフォーマット済みのディスクを入れたうえで以下のように入力します。

A＞lha213 b:⏎

これで、LHAがBドライブに解凍されます。

ASCII

1

秀作
フリーソフトウェア 100選

5インチユーザー版

ASCII

maxell
MINI-FLOPPY DISK

SUPER RDII

Super
Reliable & Durable
Tribo·tech

100% Certified & Tested

2

秀作
フリーソフトウェア 100選

5インチユーザー版

ASCII

maxell
MINI-FLOPPY DISK

SUPER RDII

Super
Reliable & Durable
Tribo·tech

100% Certified & Tested

3

秀作
フリーソフトウェア 100選

5インチユーザー版

ASCII

maxell
MINI-FLOPPY DISK

SUPER RDII

Super
Reliable & Durable
Tribo·tech

100% Certified & Tested

4

秀作
フリーソフトウェア 100選

5インチユーザー版

ASCII

maxell
MINI-FLOPPY DISK

SUPER RDII

Super
Reliable & Durable
Tribo·tech

100% Certified & Tested

5

秀作
フリーソフトウェア 100選

5インチユーザー版

ASCII

maxell
MINI-FLOPPY DISK

SUPER RDII

Super
Reliable & Durable
Tribo·tech

100% Certified & Tested

6

秀作
フリーソフトウェア 100選

5インチユーザー版

ASCII

maxell
MINI-FLOPPY DISK

SUPER RDII

Super
Reliable & Durable
Tribo·tech

100% Certified & Tested

7
秀作
フリーソフトウェア
100
5インチユーザー版
ASCII
maxell
MINI-FLOPPY DISK
SUPER
RDII
Super
Reliable & Durable
Tribo·tech
100% Certified & Tested

8
秀作
フリーソフトウェア
100選
5インチユーザー版
ASCII
MF2-DD
SUPER
maxell

9
秀作
フリーソフトウェア
100選
5インチユーザー版
ASCII
MF2-DD
SUPER
maxell

4
秀作
フリーソフトウェア
100選
3.5インチユーザー版
ASCII
MF2-HD
maxell
SUPER

5
秀作
フリーソフトウェア
100選
3.5インチユーザー版
ASCII
MF2-DD
maxell
SUPER

6
秀作
フリーソフトウェア
100選
3.5インチユーザー版
ASCII
MF2-DD
maxell
SUPER

1
秀作
フリーソフトウェア
100選
3.5インチユーザー版
ASCII
MF2-HD
maxell
SUPER

2
秀作
フリーソフトウェア
100選
3.5インチユーザー版
ASCII
MF2-HD
maxell
SUPER

3
秀作
フリーソフトウェア
100選
3.5インチユーザー版
ASCII
MF2-HD
maxell
SUPER

10
秀作
フリーソフトウェア
100選
3.5インチユーザー版
ASCII
MF2-DD
maxell
SUPER ASCII
11
秀作
フリーソフトウェア
100選
3.5インチユーザー版
ASCII
MF2-DD
maxell
SUPER ASCII
7
秀作
フリーソフトウェア
100選
3.5インチユーザー版
ASCII
MF2-DD
maxell
SUPER ASCII
8
秀作
フリーソフトウェア
100選
3.5インチユーザー版
ASCII
MF2-DD
maxell
SUPER ASCII
9
秀作
フリーソフトウェア
100選
3.5インチユーザー版
ASCII
MF2-DD
maxell
SUPER ASCII